アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事

図 面 リ ス ト

図面 No.	図 面 名 称	図面 No.	図 面 名 称	図面 No.	図 面 名 称
M-01	図 面 リ ス ト	A-01	建築改修工事特記仕様書(1)	E-01	電気設備改修工事特記仕様書
M-02	機械設備工事　特記仕様書(1)	A-02	建築改修工事特記仕様書(2)	E-02	パフォーマンスゾーン 改修 電灯設備(１)　１階平面図
M-03	機械設備工事　特記仕様書(2)	A-03	建築改修工事特記仕様書(3)	E-03	パフォーマンスゾーン 改修 電灯設備(２)　１階平面図
M-04	案内図・配置図	A-04	仕上表	E-04	照明器具姿図【改修】
M-05	パフォーマンスゾーン　改修　空調換気設備　機器表(1)	A-05	漆喰工事材料配合・施工手順図(参考図)	E-05	電灯分電盤結線図 (L-1-1) ほか
M-06	パフォーマンスゾーン　改修　空調換気設備　機器表(2)	A-06	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝＢ２階平面図	E-06	パフォーマンスゾーン　改修　動力設備（１）　１階平面図
M-07	パフォーマンスゾーン　改修　空調換気設備　機器表(3)	A-07	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝＢ１階平面図	E-07	パフォーマンスゾーン　改修　動力設備（２）　１階平面図
M-08	パフォーマンスゾーン　改修　空調設備　配管系統図	A-08	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ１階平面図	E-08	パフォーマンスゾーン　取外し・再取付　弱電設備（１）　１階平面図
M-09	パフォーマンスゾーン　改修　空調設備　B2階配管平面図	A-09	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ立面図(1)	E-09	パフォーマンスゾーン　取外し・再取付　弱電設備（２）　１階平面図
M-10	パフォーマンスゾーン　改修　空調設備　B1階配管平面図(1)	A-10	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ立面図(2)	E-10	パフォーマンスゾーン　撤去　電灯設備(１)　１階平面図
M-11	パフォーマンスゾーン　改修　空調設備　1階配管平面図(1)	A-11	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ立面図(3)	E-11	パフォーマンスゾーン　撤去　電灯設備(２)　１階平面図
M-12	パフォーマンスゾーン　改修　空調設備　1階配管平面図(2)	A-12	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ断面図(1)	E-12	パフォーマンスゾーン　撤去　動力設備（１）　１階平面図
M-13	パフォーマンスゾーン　改修　空調換気設備　1階ﾀﾞｸﾄ平面図(1)	A-13	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ断面図(2)	E-13	パフォーマンスゾーン　撤去　動力設備（２）　１階平面図
M-14	パフォーマンスゾーン　改修　空調換気設備　1階ﾀﾞｸﾄ平面図(2)	A-14	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ １階天井伏図(１)(改修前･後)		
M-15	パフォーマンスゾーン　改修　空調設備　機械室配管詳細図	A-15	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ １階天井伏図(２)(改修前･後)	K-01	仮 設 計 画 図 （ 参 考 図 ）
M-16	パフォーマンスゾーン　改修　中央監視システム図	A-16	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ １階天井伏図(開口補強)(１)(改修後)		
M-17	パフォーマンスゾーン　改修　幹線系統図・取合回路図	A-17	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ １階天井伏図(開口補強)(２)(改修後)		
M-18	パフォーマンスゾーン　改修　中央管理点入出力一覧表	A-18	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ１階収蔵庫１　移動書架･自立固定棚詳細図		
M-19	パフォーマンスゾーン　改修　自動制御設備　計装図	A-19	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ２階 法チェック図(参考図)		
M-20	パフォーマンスゾーン　改修　自動制御設備　機器表・盤寸法表	A-20	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ１階 法チェック図(参考図)		
M-21	パフォーマンスゾーン　改修　自動制御設備　B2階平面図	A-21	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ １階 法チェック図(参考図)		
M-22	パフォーマンスゾーン　改修　自動制御設備　1階平面図(1)	A-22	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ ２階 法チェック図(参考図)		
M-23	パフォーマンスゾーン　改修　自動制御設備　1階平面図(2)				
M-24	パフォーマンスゾーン　撤去　空調換気設備　機器表(1)				
M-25	パフォーマンスゾーン　撤去　空調換気設備　機器表(2)				
M-26	パフォーマンスゾーン　撤去　空調設備　配管系統図				
M-27	パフォーマンスゾーン　撤去　空調設備　B2階配管平面図				
M-28	パフォーマンスゾーン　撤去　空調設備　B1階配管平面図(1)				
M-29	パフォーマンスゾーン　撤去　空調設備　1階配管平面図(1)				
M-30	パフォーマンスゾーン　撤去　空調設備　1階配管平面図(2)				
M-31	パフォーマンスゾーン　撤去　空調換気設備　1階ダクト平面図 (1)				
M-32	パフォーマンスゾーン　撤去　空調換気設備　1階ダクト平面図 (2)				
M-33	パフォーマンスゾーン　撤去　空調設備　機械室配管詳細図				
M-34	パフォーマンスゾーン　撤去　中央監視システム図(1)				
M-35	パフォーマンスゾーン　撤去　中央監視システム図(2)				
M-36	パフォーマンスゾーン　撤去　中央管理点入出力一覧表				
M-37	パフォーマンスゾーン　撤去　自動制御設備　計装図(1)				
M-38	パフォーマンスゾーン　撤去　自動制御設備　計装図(2)				
M-39	パフォーマンスゾーン　撤去　自動制御設備　機器表・盤寸法表				
M-40	パフォーマンスゾーン　撤去　自動制御設備　B2階平面図				
M-41	パフォーマンスゾーン　撤去　自動制御設備　1階平面図(1)				
M-42	パフォーマンスゾーン　撤去　自動制御設備　1階平面図(2)				

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	図面リスト
縮　　尺	A1:N.S (A3:N.S)
図 面 番 号	全　78　葉ノ内第　01　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

工事名称　アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事

特記仕様書

Ⅰ.工事概要

1.工事場所　　船橋市金堀町５２５番ほか

2.工期　　令和　８年　２月２７日まで
（工期内に完成検査を行い、引渡しを完了すること。）

3.建物概要

建　物　名　称	構　造	階　　数	延べ面積　(m2)	消防法施行令別表第一	施設の分類	備考
パフォーマンスゾーン	RC造一部SRC・S造	地上2階, 地下1階	4,331.677		特定の施設	

（施設の分類中の特定の施設、一般の施設とは耐震安全性の分類を示す。）

4.工事内容（●印の付いたものを適用する。）

建物別及び屋外	工　事　種　別							
工　事　種　目	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ							屋　外
● 空気調和設備	● 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	● 一式
● 換気設備	● 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 排煙設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
● 自動制御設備	● 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 衛生器具設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
● 給水設備	● 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	● 一式
● 排水設備	● 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 給湯設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 消火設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 厨房設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
● ガス設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 排水処理設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
○ 雨水利用設備	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式
● 撤去工事	● 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	○ 一式	● 一式	● 一式
○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○

5.指定部分引渡し　● 無　　○ 有　対象部分（　　）
指定部分工期　令和　年　月　日

6.設備概要（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種類	設　備　概　要
空調方式	●ボイラー　○冷温水発生器　○冷凍機
主要熱源機器	●ＧＨＰ　○ＥＨＰ　○水蓄熱　○
自動制御方式	○電気式　○電子式　●デジタル式
給水方式	○高置水槽方式　●受水槽方式　○加圧給水方式　○水道直結方式
排水方式	建物内の汚水と雑排水（○合流式　●分流式　）
	ポンプ排水　●有（　○汚物　●雑排水　●湧水　）　○無
	建物外放流先　(1) 汚水　○直放流下水管　○
	(2) 雑排水　○直放流下水管　○
消火設備の種類	●屋内消火栓設備　●スプリンクラー設備　○泡消火設備
	○連結散水設備　○連結送水管　○不活性ガス消火設備（○　　）

Ⅱ.工事仕様

1.共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修の下記仕様書等のうち、●印の付いたものを適用する。
- ●公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準仕様書」という。）
- ●公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「改修標準仕様書」という。）
- ●公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）（令和4年版）（以下「標準図」という。）

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は(65/78)図、建築工事の特記仕様書は(43/78)図による。

2.特記仕様

(1) 章、項目及び特記事項共に、●印の付いたものを適用し、○印のものは適用しない。

(2) 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、その判断の基準、配慮事項を満たすものとする。
ただし、特定調達品目の使用が困難な場合には、監督職員と協議するものとする。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
●一般共通事項	● 官公署その他への届出手続等 ● 工事実績情報の登録	工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署などへの必要な手続等は受注者が代行し、遅滞なく行う。 本工事の最終請負代金(消費税込)が、500万円以上となる場合には、工事実績情報システム（CORINS）に基づき工事実績データを作成する。また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センターに所定の手続により登録するとともに、登録内容確認書の写しを提出する。 (1) 工事受注時　契約締結後10日以内 (2) 登録内容の変更時　変更契約締結後10日以内 (3) 工事完成時　工事完成後10日以内 なお、変更登録時は、工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。 また、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督職員に提示しなければならない。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。
	● 電気保安技術者 ● 条件明示項目	● 自家用電気工作物 ○ 工事を施工しない日・時間帯 （　　） ● 資材置き場及び駐車場所 ● 敷地内　○ 敷地外　（ ○ 無償　○ 有償　） ○ 改修工事の部分使用 下記部分について、部分使用するので協力すること。 部分使用箇所　（　　） ● 本工事は週休2日制ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ工事である。工事の実施にあたっては週休2日制ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ工事実施ﾏﾆｭｱﾙ(営繕工事)に基づき行うこと。 ○ 本工事は（仮称）週休2日制促進工事である。工事の実施にあたっては週休2日制促進工事実施ﾏﾆｭｱﾙ(営繕工事)に基づき行うこと。 ● 本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。 ｉ）作業不能日数：１０日間 ⅱ）上記ｉ）は、環境省が公表する関東地方_千葉県_船橋地点におけるWBGT値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去５年分（令和　年～令和　年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（３日）を除く。）において、８時から１７時の間にWBGT値が３１以上となった時間を算定し、日数に換算したもの５年分を平均したもの。 ⅲ）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する関東地方_千葉県_船橋地点におけるWBGT値が３１以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））がｉ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。
	● 安 全 対 策	受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施することを目的とする「工事関係者連絡会議」を設置すること。 発注者が行う審査、検討、安全点検等に協力すること。
	○ 適 用 区 分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 風圧力　風速（Vo=　　m/s） 地表面粗度区分　（○ Ⅰ　○ Ⅱ　○ Ⅲ　○ Ⅳ ） 積雪荷重　建設省告示第1455号における区域　別表（　）
	● 建 設 副 産 物 の 処 理 等	1)「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」を準用し、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各１部提出すること。 また、計画の実施状況(実績)については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各１部提出するとともに、これらの記録を工事完成後五年間保存しておくこと。 ◎作成対象工事 「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が１００万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。 2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」　に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」　を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を１部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」を作成し、１部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提示し確認を受けること。 3)　建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票の Ｄ 票及び Ｅ 票を提示すること。 また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認票等）を提示すること。 土砂等に係る条例を遵守し、また、「建設発生土管理基準」及び「建設副産物に係る処理基準及び再生資材の利用基準」に従い適正に処理を行うこと。 なお、この基準は次のものに適用する。 ○ 埋立て或いは、工事間利用等をする建設発生土の管理 ○ 公共工事以外から搬入される土砂等の管理 （１）指定（Ａ）（工事間利用）の場合 発生する建設発生土のうち、下記に示す発生土については、工事間利用を図り指定地に搬出するものとする。 ア　搬出先（相手先工事名、工事場所等） ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事 ＿＿＿＿＿市＿＿＿＿町地先 イ　土質及び処分量　：　第＿＿種建設発生土＿＿＿＿m3 ウ　搬出時期　：　令和＿＿年＿＿月～令和＿＿年＿＿月 （２）指定（Ａ）（その他）の場合 建設発生土（＿＿＿＿m3）は、＿＿＿＿ 市 ＿＿＿ 町地先に搬出するものとする。 （３）指定（Ｂ）の場合 建設発生土（＿＿＿＿m3）は、片道運搬距離 ＿＿＿ kmに搬出するものとする。

	数　量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備　考
○ 路盤廃材	＿＿ t	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	

	数　量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備　考
○ コンクリート塊（無筋）	＿＿ t	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ コンクリート塊（有筋）	＿＿ t	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ アスファルト塊	＿＿ t	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ その他がれき類	＿＿m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ 廃プラスチック	＿＿m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
● 金属くず	14.1m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	17.0km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ その他くず類	＿＿m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
● 廃石膏ボード	0.3 m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	17.0km	●中間処理場 ○最終処分場	
● 混合廃棄物	9.1 m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	17.0km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ 建設汚泥	＿＿m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ カッター汚泥	m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
● 木くず	0.3 m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	17.0km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ ガラスくず	m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	＿＿km	●中間処理場 ○最終処分場	
● 石綿含有廃棄物	10.6m^3	＿＿都市 ＿＿町地先	17.0km	●中間処理場 ○最終処分場	
● 廃蛍光管	35kg	＿＿都市 ＿＿町地先	17.0km	●中間処理場 ○最終処分場	
○ スクラップ控除	＿＿ t		＿＿km	●有価物処理	

上記　２建設発生土　３路盤廃材　４建設廃棄物等の数量については積算のための参考数量とし、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。
工事発注後、事情により上記の指定処理により難い場合は監督職員に報告するものとする。
その他特記事項
①発注者に引渡しを要するもの（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
②特別管理産業廃棄物
○ 無 ○ 有　品目名（＿＿＿＿）－処理方法（＿＿＿＿＿＿＿＿）
③現場において再利用を図るもの（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

章	項　　目	特　　記　　事　　項
	● 環 境 対 策	受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と円滑な工事施工を図ること。 受注者は、施工計画書“環境対策”内に、下記の項目について記載するものとする。 ・ 大気汚染対策　・ 騒音、振動対策　・ 水質汚濁対策 ・ 地盤沈下対策　・ 防塵対策　・ 一般廃棄物対策　・ 交通障害対策 ・ その他（　　） 建設機械は、排ガス対策車及び低騒音型を使用すること。 特定粉じん排出等作業（法定外建築物・作業を含む）は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施工する。 本工事で使用する軽油については、ＪＩＳ規格軽油を使用すること。 受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。
	● 環境への配慮	(1) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律に基づく特定調達物品等に関する判断の基準は、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和7年1月)」による。 (2) 環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材(材料および機材を含む）の梱包及び容器は、可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄時の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。 (3) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。 ①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ②接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。 (4) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは、次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。 ①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
	● 機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図書に定める品質及び性能を有するもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。同等とするものは、JIS・JAS・BL・評価名簿及び標仕に規定する方法で品質・性能が確認されたものとする。 (2) 標準仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、材料製造所の指定する工法とする。
	● ワンデーレスポンス	船橋市ワンデーレスポンス実施マニュアルに基づき実施するものとする。
	● 石綿含有建材の調査	● 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 貸与資料　（　　） ○ 分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法

材料名	定性分析方法	定量分析方法
	(JIS A 1481-1)または(JIS A 1481-2)	(JIS A 1481-3)、(JIS A 1481-4)または(JIS A 1481-5)
＿＿＿＿	○＿＿（箇所）	○＿＿（箇所）

サンプル数
採取箇所　○ 図示による　○＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

章	項　　目	特　　記　　事　　項
	○ 技能士の適用	○ 配管施工(配管工事)　○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付け) ○ 熱絶縁施工(保温工事)　○ 冷凍空気調和機器施工(冷凍空調機器の据付)
	● 室 内 空 気 中 の 化 学 物 質 の 濃 度 測 定	室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン(用途が学校の場合は、パラジクロロベンゼンを含む)の濃度を測定し、監督職員に報告すること。 測定はパッシブ型採集機器により行う。 測定時期　● 工事着手前　● 施工終了時 測定対象室　○ 図示　○（　　） 測定箇所数　○ 図示　○（　　）
	○ 中間検査	本工事は中間技術検査の対象である。 中間技術検査は、船橋市工事技術検査規程、船橋市工事技術検査要綱、船橋市工事技術検査基準等に基づき実施する。 ○ 中間検査を実施する　（回数：　回） 実施時期： 中間検査の範囲　（　　）
	● 社内検査	受注者は、監督職員と協議のうえ、次の各号により社内検査を行なわなければならない。 (1) 社内検査に従事する者（以下「社内検査員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査の事前に社内検査を行い、検査時にその結果を所定の様式により提出しなければならない。 (2) 社内検査員は、当該工事に従事していない社内の者とする。 (3) 社内検査は、契約図書及び関係図書に基づき、安全、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。 (4) 社内検査員の資格は５年以上の現場経験を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。
	○ 施設点検	本工事完成(「工事目的物の引渡し」を行った日)後、1年目及び2年目に関係者(建築課、工事監理事務所、施設管理者、受注者)による施設点検(不具合の有無を確認し、その処理について協議)を行うので、当課から依頼があり次第施設点検に立会い協力するものとする。
	● 施設の運営	施設の運営に支障のないように工事を行うこと。 (1) 工事仮設物、搬入物は事前に許可をとり、運営に支障のある場所に置かないこと。 また、管理を怠らないよう注意すること。 (2) 作業終了後は清掃を丁寧に行うこと。

章	項　　目	特　　記　　事　　項
	● 提出書類	受注者は、提出書類を船橋市請負工事提出書類様式集に基づいて、監督職員に提出しなければならない。
	● 完成図書等	完成図一式を「船橋市営繕工事電子納品の手引き」により提出する。
	● CADデータ	・設計図CADデータ　：　● 貸与する　○ 貸与しない 貸与する設計図CADデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。
	● 施工図等の取扱	施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	● 工事写真	国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「営繕工事写真撮影要領（令和5年版）」による。
	● デジタル工事写真の小黒板情報電子化	デジタル工事写真の小黒板情報電子化については令和５年３月１日付け国営建技第１４号による。
	● 工事用電力・水・その他	● 本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続等の費用はすべて受注者の負担とする。 工事用水　構内の施設　○ 利用できない　● 利用できる（ ○ 有償　● 無償 ） 工事電力　構内の施設　○ 利用できない　● 利用できる（ ○ 有償　● 無償 ）
	● 工事用仮設物足場その他	構内につくることが　● できる　○ できない ○ 別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 （ ○ 建築工事　○ 電気設備工事　で設置する。） ● 本工事で設置とする。 「手引き先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手引き先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手引き握置方式又は(3)手引き先行専用足場方式により行う。
	● 監督職員事務所	○ 設けない　● 設ける
	● 保険の付保及び事故の補償	受注者は、本工事着手前に、工事目的物や工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険（建設工事保険・土木工事保険・組立保険・火災保険等）、工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険（請負業者賠償責任保険等）に必ず加入しなければならない。 なお、第三者への保険については、対人賠償はひとりにつき２億円、一事故につき５億円、対物賠償は一事故につき３億円を最低填補限度額とすること。 また、建設機械器具に生じる損害を填補する保険（動産総合保険・機械保険等）、運送中の工事材料や建設機械器具等に生じる損害を填補する保険（貨物海上保険・運送保険等）工事作業員の身体傷害を填補する保険（法定外労災補償・労働災害総合保険・傷害保険等）等には、必要に応じ加入すること。
	● 過積載による違法運行の防止	受注者は、工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。 (1) 積載重量制限を超えて土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (2) さし枠装着車、不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。 (3) 過積載車輌、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受ける等過積載を助長することのないようにすること。 (4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。
	● 創意工夫等の実施	受注者は、自ら立案実施した創意工夫（事故防止対策における安全活動含む）及び技術力に関する、または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、事前に施工計画書に記述すると共に、実施状況の説明資料として工事完了時までに所定の様式により提出することができる。
	○ 他工事との取り合い	別表　工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議すること。
	○ 運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したものを機械室に設ける。
	● 機材の承諾図	機械設備工事機材承諾図様式集(令和4年版)によるほか、監督職員との協議による。
	● 総 合 調 整	● 本工事　○ 別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） ● 風量調整　○ 水量調整　● 室内空気の温湿度の測定　● 騒音の測定 ● 室内気流及びじんあいの測定　○ 飲料水の水質の測定（16項目・4か所）
	● 耐 震 措 置	耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版（独立行政法人建築研究所監修）による。 (1) 機器の据付け及び取付け 設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。 設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設 重要機器	特定の施設 一般機器	一般の施設 重要機器	一般の施設 一般機器
上層階、屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水　槽　類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6
地階・１階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水　槽　類	1.5	1.0	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
・水槽類にはオイルタンクを含む。
・重要機器は次のものを示す。
○ 給水機器　（　　）
○ 排水機器　（　　）
○ 換気機器　● 空調機器　● 熱源機器　○ 防災設備
○ 監視制御設備　○ 危険物貯蔵装置　○ 火を使用する設備　○ 避難経路上に設置する機器

(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	機械設備工事　特記仕様書(1)
縮　　尺	A1:N.S (A3:N.S)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 02　号

船橋市建設局都市整備部公園緑地課

章	項目	特記事項
● 空気調和設備	○ ダクト	○ 低圧ダクト （ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分） ○ アングルフランジ工法　○ スパイラルダクト ） とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
	○ 風量測定口	取り付け箇所は図示による。
	○ チャンバー	(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。
	○ ダンパー	(1) 防煙ダンパー　復帰方式（ ○ 遠隔　○　　） (2) ピストンダンパー　復帰方式（ ○ 遠隔　○　　）
	● 配管材料（凡例による）	(1) 温水管　● 一般配管用ステンレス鋼鋼管（圧縮・ブレス接合） (2) 冷却水管　○ (3) 油　管　○ (4) 蒸気管　給気管　○　（凡例による） 還　管　○ (5) 高温水管　○ (6) 膨張管、空気抜き管、膨張タンクよりボイラ等への補給水管　○ (7) ドレン管　● 硬質ポリ塩化ビニル管 (8) 冷媒管　● 断熱材被覆銅管
	● 弁　類	JIS 又は JV （ ● 5K　● 10K(図示部分) ） 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○ 鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ ステンレス鋼管に使用する弁類は、ステンレス製とする。 ○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。 ○ ファンコイルユニットには、 ○ 流量調整弁　を設置する。
	○ 温度計	取付け箇所は図示による。
	○ 圧力計	取付け箇所は図示による。
	○ 瞬間流量計	取付け箇所は図示による。 なお、瞬間流量計（ ○ 固定型　○ 着脱型）はビトー管式とし、止水コック付とする。
	○ 絶縁継手	図示の位置に取付ける。
	● 保温及び消音内貼り	○ 還りダクトの保温　範囲は（ ○ 図示による　○　　） ○ 外気ダクトの保温　範囲は（ ○ 図示による　○　　） ○ 膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は、標準仕様書第２編 3.1.4 の温水管の項による。 ● 冷媒管の保温外装は別表-1による。
● 換気設備	○ ダクト	○ 低圧ダクト （ ○ コーナーボルト工法（長辺の長さが 1500 mm以下の部分） ○ アングルフランジ工法　○ スパイラルダクト ） とする。 ○ 高圧1ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 ○ 厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より1ランク厚いものを使用する。
	○ 風量測定口	取付箇所は図示による。
	○ ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
	○ 排気ダクトのシール	○ 浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統　○ 厨房系統　○
	○ チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
	○ 保温（凡例による）	○ 全熱交換ユニット用の外気ダクト （ ○ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。○　　） ○ 多湿箇所のダクトの保温要 （ ○ 保温の厚さ25mm、範囲は図示による。○　　） ○（ ○ 厨房　○ 湯沸室　○　　）の保温要（保温の仕様及び範囲は図示による。）
○ 排煙設備	○ ダクト	○ 亜鉛鉄板　○ 普通鋼板（厚1.6mm）
	○ 排煙口の形式	○ 図示による。
	○ 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式）	○ ワイヤー式　○ 電気式(遠隔操作　○ 不要　○ 要)
● 自動制御設備	● システム構成その他	図示による。
	● 電気計装用配線	使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線又はＥＭケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。
○ 衛生器具設備	○ 一般事項	陶器及び付属品の仕様は器具表による。また、衛生陶器色は監督職員との協議による。
	○ 自動水栓の電源供給方式	○ AC100V　○ 電池式　○自己発電
	○ 和風大便器の耐火カバー	○ 設ける(ピット内は除く。)　○設けない
	○ 浴室ユニット	仕様は別図による。
● 給水設備	● 配管材料（凡例による）	(1) 一般配管　● 一般配管用ステンレス鋼鋼管（圧縮・ブレス接合） (2) 地中埋設配管　○ (3) 給水引込管　○ 引き込みは水道事業者の指定により、量水器以降の地中配管は、（ ○　　）とし、他の部分は(1)による。
	○ 水　栓	○ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○ 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 （ ○ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。）
	○ 量水器	○ 親メーター（ 貸与品 ）　（ ○ 直読式　○ パルス式 ） ○ 子メーター（ 買い取り ）（ ○ 直読式　○ パルス式 ）
	○ 量水器桝	○ 水道事業者指定品（ ○ 貸与品　○ 買取り ）　○ 標準図 MC 形
	● 弁　類	JIS 又は JV　● 水道直結部分（ ● 10K　○　　） ● その他の部分（ ● 5K　○　　） ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
	○ 管の埋設深さ	○ 管の上端より原則として、一般敷地は（　　cm ）構内道路は（　　cm ）以上とする。
	○ 水栓柱	○ 合成樹脂製　○ アルミニウム合金製　○ 人造石とぎ出し製　○ ステンレス製
	○ 建物導入部配管	標準図（建物導入部の変位吸収配管要領）の（ ○ (a)　○ (b)　● (c) ）による。
	○ 引込納付金等	○ 要 （ ○ 別途工事　○ 本工事 ）　○ 不要

章	項目	特記事項
● 排水設備	● 配管材料（凡例による）	(1) 屋内　汚水管　○　○ 雑排水管　●硬質ポリ塩化ビニル管 ○ 通気管　○ ポンプアップ排水管　○ (2) 屋外　第一桝まで　● 硬質ポリ塩化ビニル管 桝　間　○ ○ ○
	○ 洗面器等の排水管	洗面器に直結する排水管は、器具トラップより１サイズアップとする。
	○ インバート桝・ため桝	○ プラスチック桝 （ ○ 標準図による。　○　　） ○ コンクリート桝 （ ○ 標準図による。 ○ 本図面の施工要領図による。　○　　） ○
○ 給湯設備	○ 配管材料（凡例による）	○
	○ 弁　類	JIS 又は JV （ ○ 5K　○ 10K (図示部分) ） ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。
○ 消火設備	○ 配管材料（凡例による）	(1) 屋内消火栓　一　般　○ 地　中　○ (2) 連結送水管　一　般　○ 地　中　○ (3) スプリンクラー　一　般　○　配管用炭素鋼鋼管(白) 地　中　○
	○ 弁　類	仕切弁、逆止弁 ○10K　減圧弁 ○評定品又はこれと同等以上
	○ 屋内消火栓種別	○ 易操作性１号消火栓　○ １号消火栓　○ ２号消火栓
	○ 屋内消火栓開閉弁	○ １０ｋ
	○ 建物導入部配管	標準図(建物導入部の変位吸収配管要領) （ ○ (a)　○ (b)　○ (c) ） による。
	○ 不活性ｶﾞｽ消火設備	別図による。
	○ 泡消火設備	別図による。
○ 厨房設備	○ システム	○ ドライシステム　○
	○ 厨房用熱源	図示による。
	○ 機器の機能等	図示による。
● ガス設備	● ガス種別	● 都市ガス ○ 液化石油ガス
	● 配管材料	● 都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス　(1) 一　般　○ (2) 地　中　○
	○ 充てん容器	別途 （ ○ 50kg　○　　○　　） × 本
	○ メーター	○ 親メーター（貸与品） （ ○ 直読式　○ パルス式（パルス発信器は ○ 買い取り ） ○ 子メーター（買い取り）（ ○ 直読式　○ パルス式 ）
	○ ガス漏れ警報器	○ 本工事（図示による）　○ 別途工事 外部警報端子（○ 無　○ 有 ）
	○ 漏洩検知装置	○ 要　○ 不要
	○ 電気防食	○ 要　○ 不要
	○ 引込負担金等	○ 要（　○ 別途工事　○ 本工事 ）　○ 不要
	○ バルク貯槽	○ 横型　○ 竪型　（液化石油ガス貯蔵能力　　ｋｇ）
○ 排水処理設備	○ 仕様等	別図による。
	○ 設備方式	○ 排水再利用　○ 浄化槽　○ 厨房除害
○ 雨水利用設備	○ 仕様等	別図による。
● 撤去工事	● 撤去内容	大気汚染防止法、大気汚染防止法施行規則に該当する除去等がある場合は、法令等を遵守し適正な処理を行うこと。 ● 図示による。 ○
	● 支持金物等	ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。
	● 石綿含有品	石綿障害予防規則に該当する解体等がある場合は、法令等を遵守し適正な処理を行うこと。 石綿含有分析調査　○ 本工事　○ 別途 撤去方法　○ 図示による ●「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」による
	● 発生材の処理	● 金属類 （ ● 機器類 ○ ダクト　● 配管　○ その他金属類 ）の処理は （ ● 構外搬出適切処理　○　　）とする。 ○ 特別管理産業廃棄物 （ ○　　○　　）の処理は （ ○ 構外搬出適切処理　○ 別途 ）とする。 ● 石綿含有産業廃棄物 （ ○配管用成形保温材 ○ フランジ用ガスケット ）の処理は （ ● 構外搬出適切処理　○ 別途 ）とする。 ● 上記以外のもの （ ○　　○　　）の処理は （ ● 構外搬出適切処理　○ 別途 ）とする。
○ その他	○ 上ガス対策	○ なし ○ あり（ ○ 自然換気口　○ ガス抜き管　○ 強制換気装置　○ ガス検知器 ○ その他（　　））
		○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。

凡　例

名称	記号	仕様	備考
冷媒管	―― R ――	断熱材被覆銅管	JCDA 0009
ドレン管	―― D ――	屋内一般：硬質ポリ塩化ビニル管	
		屋外：硬質ポリ塩化ビニル管（露出はカラー）	
給水管	―― - ――	屋内一般：一般配管用ステンレス鋼鋼管（圧縮・ブレス接合）	
排水管	――――	ピット：硬質ポリ塩化ビニル管ＶＰ	(VP)JIS K 6741
		地中：硬質ポリ塩化ビニル管ＶＵ	(VP)JIS K 6741
		その他：排水・通気用耐火二層管	(VP)JIS K 6741
消火管	――――	配管用炭素鋼鋼管(白)	
ガス管	―― G ――	供給ガス会社規定による。	
矩形ダクト	――――	亜鉛鉄板製アングルフランジ工法ダクト（低圧）	
円形ダクト	――――	亜鉛鉄板製スパイラルダクト（低圧）	

※ 上記は新設配管・ダクトに適用する。

別表 -1

配管	施工場所	保温仕様	保温厚
⊙冷媒	・屋内露出	合成樹脂製カバー（保温外装）	液管： 10mm
	⊙屋外露出	ｽﾃﾝﾚｽ鋼板 （保温外装）	ガス管： 20mm
⊙給水・消火 ⊙排水・通気	・屋内露出	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温筒，鉄線，合成樹脂製カバー	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ
	・機械室・倉庫	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温筒，鉄線，原紙，ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	～80A ： 20mm
	⊙天井､PS､ｺﾝﾊﾟ内	ｸﾞﾗｽｳｰﾙｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温筒，ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ	～150A ： 25mm
⊙温水	⊙床下､暗渠・機械室	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒，粘着ﾃｰﾌﾟ，ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ，着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	～300A ： 40mm
	・屋外露出	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温筒，粘着ﾃｰﾌﾟ，ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ，ｽﾃﾝﾚｽ鋼板	ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ
			～80A ： 20mm
			100A～ ： 25mm

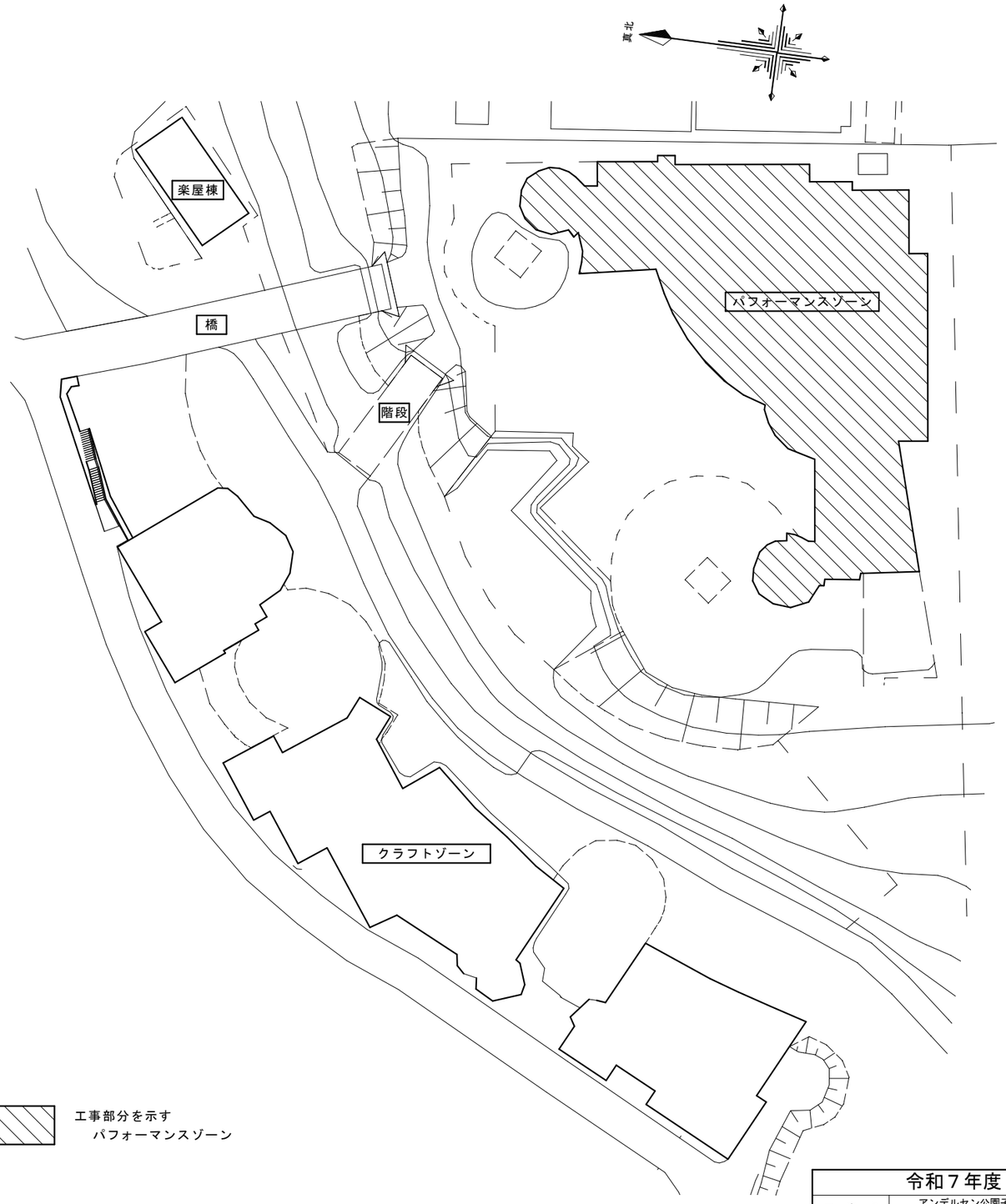
（・が有るものは、○印が付いたものを適用する。）

工事区分表

工事内容			施工区分 建築	電気	機械
開口部	鉄筋コンクリート、コンクリートブロックの　柱、梁、壁、床に設ける開口	解体、穴明け	⊙	・	・
		鉄筋補強	⊙	・	・
		スリーブ、型枠（補強筋無し）	・	⊙	⊙
		スリーブ、型枠（補強筋有り）	⊙	・	・
		埋戻し、穴埋め（補強筋無し）	・	⊙	⊙
		埋戻し、穴埋め（補強筋有り）	⊙	・	・
		設備配管のコア抜き	・	⊙	⊙
	軽量鉄骨下地天井、壁ボード類に設ける開口	開口補強	⊙	・	・
		切込み　（開口補強有り）	⊙	・	・
		切込み　（開口補強無し）	・	⊙	⊙
基礎	屋内 配電盤、制御盤、ｷｭｰﾋﾞｸﾙ 受水槽、タンク類等	躯体と一体のもの	⊙	・	・
		上記以外のもの	・	⊙	⊙
	屋上 テレビアンテナ、避雷針、高架水槽、クーリングタワー 消火水槽等	躯体と一体のもの	⊙	・	・
		上記以外のもの	・	⊙	⊙
	屋外 キュービクル、受水槽、タンク類等	鉄筋コンクリート製	⊙	・	・
		無筋コンクリート製、その他	・	⊙	⊙
点検口	架台、アンカーボルト		⊙	・	・
	床、壁、天井		⊙	・	・
	配管ピット、トレンチピット		⊙	・	・
			・	・	・
配管配線	機器付属の制御盤（接地とも）	一次側	・	⊙	・
		二次側	・	⊙	⊙
	熱感知器から連動制御盤を経て防火ダンパーに至る配線配管		・	⊙	・
	防火シャッターから熱感知器に至る配管		・	⊙	・
	防火シャッターから熱感知器に至る配線		・	⊙	・
	機器・器具への電気配線接続		・	⊙	・
	機器・器具への給排水管接続		・	・	⊙
その他	インサート、吊りボルト		⊙	⊙	⊙
	換気扇取付パネル		・	・	⊙
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・
			・	・	・

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	機械設備工事　特記仕様書(2)
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 03　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

案内図　S=1/3,000



工事部分を示す
パフォーマンスゾーン

子ども美術館パフォーマンスゾーン・クラフトゾーン　配置図　1/300

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	案内図・配置図
縮尺	A1:1/300・3000
図面番号	全 78　葉ノ内第 04 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

改修　空調換気設備　機器表（１）

記　号	名　　称	仕　　様	台　数	動　力			設置場所	備　　考
				φ	V	kW(W)		
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： マルチ標準型	1	3	200		屋外	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は建築工事
	（ 室 外 機 ）	冷房能力： 45.0kW + 45.0kW				1.16*2		
		暖房能力： 50.0kW + 50.0kW				0.55*2		
		ガス消費量： 77.0kW（冷房）　74.6kW（暖房）						
		付 属 品： 防振ゴム						
GHP-1-1	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 床置ダクト型	1	3	200	1.5	B2階 台車置場	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は建築工事
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房　28.0 kW　　暖房　31.5 kW						
		送 風 量： 4,030 m^3/h × 130 Pa（機外静圧）						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：4.0kg/h）						
		付 属 品： 防振架台、空調ﾄﾞﾚﾝﾄﾗｯﾌﾟ、前面閉塞ﾊﾟﾈﾙ						
GHP-1-2	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	1	1	200	(60)	B1階 インフォメーション	
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 4.5 kW　　暖房 5.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：1.3kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-1-3	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	2	1	200	(60)	B1階 ホール１	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは2台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 3.6 kW　　暖房 4.2 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.9kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-1-4	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	2	1	200	(60)	B1階 ギャラリー１	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは2台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 5.6 kW　　暖房 6.3 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.9kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-1-5	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	3	1	200	(60)	B1階 ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ（錫の兵隊1）	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは3台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 3.6 kW　　暖房 4.2 kW						化粧ﾊﾟﾈﾙは黒色とする。
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.8kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-2	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： マルチ標準型	1	3	200		屋外	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は建築工事
	（ 室 外 機 ）	冷房能力： 45.0kW + 56.0kW				1.16+1.24		
		暖房能力： 50.0kW + 63.0kW				0.55+0.74		
		ガス消費量： 83.9kW（冷房）　81.0kW（暖房）						
		付 属 品： 防振ゴム						
GHP-2-1	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 床置ダクト型	1	3	200	1.5	B1階 空調機械室	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は既設再利用
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房　28.0 kW　　暖房　31.5 kW						
		送 風 量： 5,060 m^3/h × 50 Pa（機外静圧）						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：4.4kg/h）						
		付 属 品： 防振架台、空調ﾄﾞﾚﾝﾄﾗｯﾌﾟ、前面閉塞ﾊﾟﾈﾙ						
GHP-2-2	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井埋込ダクト型	1	1	200	(120)	B1階 音響調光室	
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 4.5 kW　　暖房 5.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.9kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-2-3	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井埋込ダクト型	1	1	200	(125*2)	B1階 ダビングルーム	
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 9.0 kW　　暖房 10.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.9kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-2-4	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	4	1	200	(60)	B1階 語り聞かせの部屋	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは4台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 7.1 kW　　暖房 8.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.5kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-2-5	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井埋込ダクト型	1	1	200	(235*3)	B1階 ギャラリー１	
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 16.0 kW　　暖房 18.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：4.0kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						

注記　１）動力は50Hzとし、数値は参考とする。

２）特記無き事項は公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版に準ずる。

３）図示▭範囲を本工事とする。

記　号	名　　称	仕　　様	台　数	動　力			設置場所	備　　考
				φ	V	kW(W)		
GHP-3	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： マルチ標準型	1	3	200		屋外	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は建築工事
	（ 室 外 機 ）	冷房能力： 45.0kW + 45.0kW				1.16*2		
		暖房能力： 50.0kW + 50.0kW				0.55*2		
		ガス消費量： 77.0kW（冷房）　74.6kW（暖房）						
		付 属 品： 防振架台						
GHP-3-1	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	4	1	200	(60)	1階 ワークショップ準備室	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは4台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 3.6 kW　　暖房 4.2 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.7kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-3-2	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	2	1	200	(60)	1階 指導員室	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは2台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 3.6 kW　　暖房 4.2 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.7kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-3-3	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	4	1	200	(60)	1階 版画アトリエ	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは4台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 3.6 kW　　暖房 4.2 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.5kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-3-4	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	4	1	200	(60)	1階 談話・会議室	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは4台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 5.6 kW　　暖房 6.3 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.5kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-3-5	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（４方向）型	1	1	200	(60)	1階 データベース制作室	
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 4.5 kW　　暖房 5.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.9kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-3-6	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井カセット（２方向）型	2	1	200	(30)	1階 更衣室１，２	
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 2.8 kW　　暖房 3.2 kW						
		付 属 品： 防振吊金物、化粧ﾊﾟﾈﾙ、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-4	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： マルチ標準型	1	3	200		屋外	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は建築工事
	（ 室 外 機 ）	冷房能力： 85.0kW + 85.0kW				1.80*2		
		暖房能力： 90.0kW + 90.0kW				1.80*2		
		ガス消費量： 162.8kW（冷房）　145.2kW（暖房）						
		付 属 品： 防振ゴム						
GHP-4-1	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井埋込ダクト型	8	1	200	(125*2)	2階 展示室１	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは8台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 7.1 kW　　暖房 8.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.8kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-4-2	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井埋込ダクト型	6	1	200	(125*2)	2階 展示室２	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは6台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 9.0 kW　　暖房 10.0 kW						
		加 湿 器： 滴下気化式（有効加湿量：0.8kg/h）						
		付 属 品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-4-3	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井埋込ダクト型	2	1	200	(125*2)	2階 ギャラリー２	ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝは2台に1個
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 9.0 kW　　暖房 10.0 kW						
		付 属 品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						
GHP-4-4	ガスヒートポンプエアコン	型　　式： 天井吊型	1	1	200	(80*4)	2階 ホール３	
	（ 室 内 機 ）	能　　力： 冷房 16.0 kW　　暖房 18.0 kW						
		付 属 品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙﾘﾓｺﾝ						

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　空調換気設備　機器表（１）
縮　　尺	A1:N.S（A3:N.S）
図面番号	全　78　葉ノ内第　05　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

改修　空調換気設備　機器表（２）

記号	名称	仕様	台数	動力 φ	動力 V	動力 kW(W)	設置場所	備考
GHP-5	ガスヒートポンプエアコン	型　式： マルチ標準型	1	3	200		屋外	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は建築工事
	（室外機）	冷房能力： 85.0kW + 85.0kW				1.80*2		
		暖房能力： 90.0kW + 90.0kW				1.80*2		
		ガス消費量： 162.8kW（冷房）　145.2kW（暖房）						
		付属品： 防振ゴム						
GHP-5-1	ガスヒートポンプエアコン	型　式： 床置ダクト型	1	3	200	11.0*2	B2階 空調機室	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は既設再利用
	（室内機）	能　力： 冷房　160.0 kW　暖房　180.0 kW						
		送風量： 30,600 m³/h × 400 Pa（機外静圧）						
		加湿器： 滴下気化式（有効加湿量：25.4kg/h）						
		付属品： 防振架台、空調ﾄﾞﾚﾝﾄﾗｯﾌﾟ						
BH-1	温水発生機	型　式： 鋼板製　ガス焚真空式温水機（暖房１回路）	1	1	100	(250)	B2階 空調機室	ｺﾝｸﾘｰﾄ基礎は既設再利用
		定格出力： 58.1 kW						
		温水量： 90 L/min（温水出口 60 ℃　温水入口 50 ℃）						
		燃料消費量： 5.9 m³(N)/h（13A）						
		制御方法： ON-OFF						
PH-1	温水循環ポンプ	型　式： ラインポンプ	1	3	200	1.5	B2階 空調機室	
		能　力： 40φ × 90 L/min × 25 m						
		付属品： 圧力計×2						
TE-1	膨張水槽	型　式： 密閉ダイヤフラム式	1				B2階 空調機室	
		タンク容量： 20 Lit						
		膨張水量： 6 Lit						
HEX-1	全熱交換形換気扇	型　式： 天井埋込形	1	1	200	(112)	1階 データベース制作室	
		能　力： 150 φ × 200 m³/h × 60 Pa						
		付属品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-2	全熱交換形換気扇	型　式： 天井埋込形	2	1	200	(154)	B1階 インフォメーション	※１台のみ本工事
		能　力： 150 φ × 300 m³/h × 70 Pa					1階 指導員室	
		付属品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-3	全熱交換形換気扇	型　式： 天井埋込形	4	1	200	(225)	B1階 ホール、語り聞かせの部屋	※２台のみ本工事
		能　力： 200 φ × 400 m³/h × 70 Pa					1階 館長室・事務室	
		付属品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ					1階 版画アトリエ	
HEX-4	全熱交換形換気扇	型　式： 天井埋込形	3	1	200	(320)	B1階 ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ（錦の兵隊1）	
		能　力： 200 φ × 500 m³/h × 110 Pa					2階 展示室２	
		付属品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-5	全熱交換形換気扇	型　式： 天井埋込形	1	1	200	(320)	1階 ワークショップ準備室	
		能　力： 250 φ × 600 m³/h × 70 Pa						
		付属品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-6	全熱交換形換気扇	型　式： 天井埋込形	4	1	200	(440)	1階 談話・会議室	※２台のみ本工事
		能　力： 250 φ × 700 m³/h × 100 Pa					2階 展示室１	
		付属品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-7	全熱交換形換気扇	型　式： 天井埋込形	2	1	200	(490)	B1階 エントランスホール	
		能　力： 300 φ × 900 m³/h × 160 Pa					B1階 ギャラリー	
		付属品： 防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
FS-1	送風機	型　式： ラインファン	1	3	200	0.9	B2階 空調機械室	サーモ発停
	（空調機械室）	能　力： #4 × 6,300 m³/h × 110 Pa						FE-1と連動（電気工事）
		付属品： 防振吊金物						
FS-2	送風機	型　式： ラインファン	1	3	200	1.5	B2階 空調機械室	サーモ発停
	（電気室）	能　力： #4 × 6,700 m³/h × 360 Pa						FE-2と連動（電気工事）
		付属品： 防振吊金物						

記号	名称	仕様	台数	動力 φ	動力 V	動力 kW(W)	設置場所	備考
FS-3	送風機	型　式： ラインファン	1	3	200	0.4	B2階 ＥＶ機械室１	サーモ発停
	（ＥＶ機械室１）	能　力： #3 × 3,800 m³/h × 100 Pa						FE-3と連動（電気工事）
		付属品： 防振吊金物						
FS-4	送風機	型　式： 消音ボックス付ラインファン	2	3	200	0.27	B1階 ＥＶ機械室２	サーモ発停
	（ＥＶ機械室２）	能　力： #3 × 1,000 m³/h × 260 Pa						FE-4と連動（電気工事）
		付属品： 防振吊金物						
FS-5	送風機	型　式： ラインファン	1	3	200	0.15	B2階 空調機械室	サーモ発停
	（消火ポンプ室）	能　力： #3 × 300 m³/h × 60 Pa						FE-5と連動（電気工事）
		付属品： 防振吊金物						
FS-6	送風機	型　式： ラインファン	1	3	200	2.4	B2階 空調機械室	FE-6と連動（電気工事）
	（サービスヤード）	能　力： #6 × 13,100 m³/h × 270 Pa						
		付属品： 防振架台						
FS-7	送風機	型　式： 消音ボックス付ラインファン	1	3	200	0.15	B1階 空調機械室	FE-7と連動（電気工事）
	（ダビングルーム）	能　力： #3 × 400 m³/h × 120 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-1	排風機	型　式： ラインファン	1	3	200	0.9	B2階 空調機械室	
	（空調機械室）	能　力： #4 × 5,500 m³/h × 160 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-2	排風機	型　式： ラインファン	1	3	200	1.5	B2階 空調機械室	
	（電気室）	能　力： #4 × 6,700 m³/h × 360 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-3	排風機	型　式： ラインファン	1	3	200	0.4	B2階 ＥＶ機械室１	
	（ＥＶ機械室１）	能　力： #3 × 3,800 m³/h × 100 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-4	排風機	型　式： 消音ボックス付ラインファン	2	3	200	0.27	B1階 ＥＶ機械室２	
	（ＥＶ機械室２）	能　力： #3 × 1,000 m³/h × 200 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-5	排風機	型　式： ラインファン	1	3	200	0.15	B2階 空調機械室	
	（消火ポンプ室）	能　力： #3 × 300 m³/h × 50 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-6	排風機	型　式： ラインファン	1	3	200	2.4	B2階 空調機械室	
	（サービスヤード）	能　力： #6 × 13,100 m³/h × 290 Pa						
		付属品： 防振架台						
FE-7	排風機	型　式： 消音ボックス付ラインファン	1	3	200	0.15	B1階 空調機械室	
	（ダビングルーム）	能　力： #3 × 400 m³/h × 110 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-8	排風機	型　式： 中間ダクトファン（消音型）	2	1	100	(80)	1,2階 女子便所	※１台のみ本工事
		能　力： #2 × 800 m³/h × 70 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-9	排風機	型　式： 中間ダクトファン（消音型）	2	1	100	(80)	1,2階 男子便所	※１台のみ本工事
		能　力： #2 × 900 m³/h × 90 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-10	排風機	型　式： 中間ダクトファン（消音型）	2	1	100	(270)	B1階 男子便所、女子便所	
		能　力： #3 × 1,200 m³/h × 190 Pa						
		付属品： 防振吊金物						
FE-11	排風機	型　式： 消音ボックス付ラインファン	2	1	100	(270)	2階 展示室１	
		能　力： #3 × 2,100 m³/h × 60 Pa					2階 収蔵庫３	
		付属品： 防振吊金物						

注記　１）動力は50Hzとし、数値は参考とする。

２）特記無き事項は公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版に準ずる。

３）図示[　　]範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　空調換気設備　機器表（２）
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 06　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

改修機器表（３）

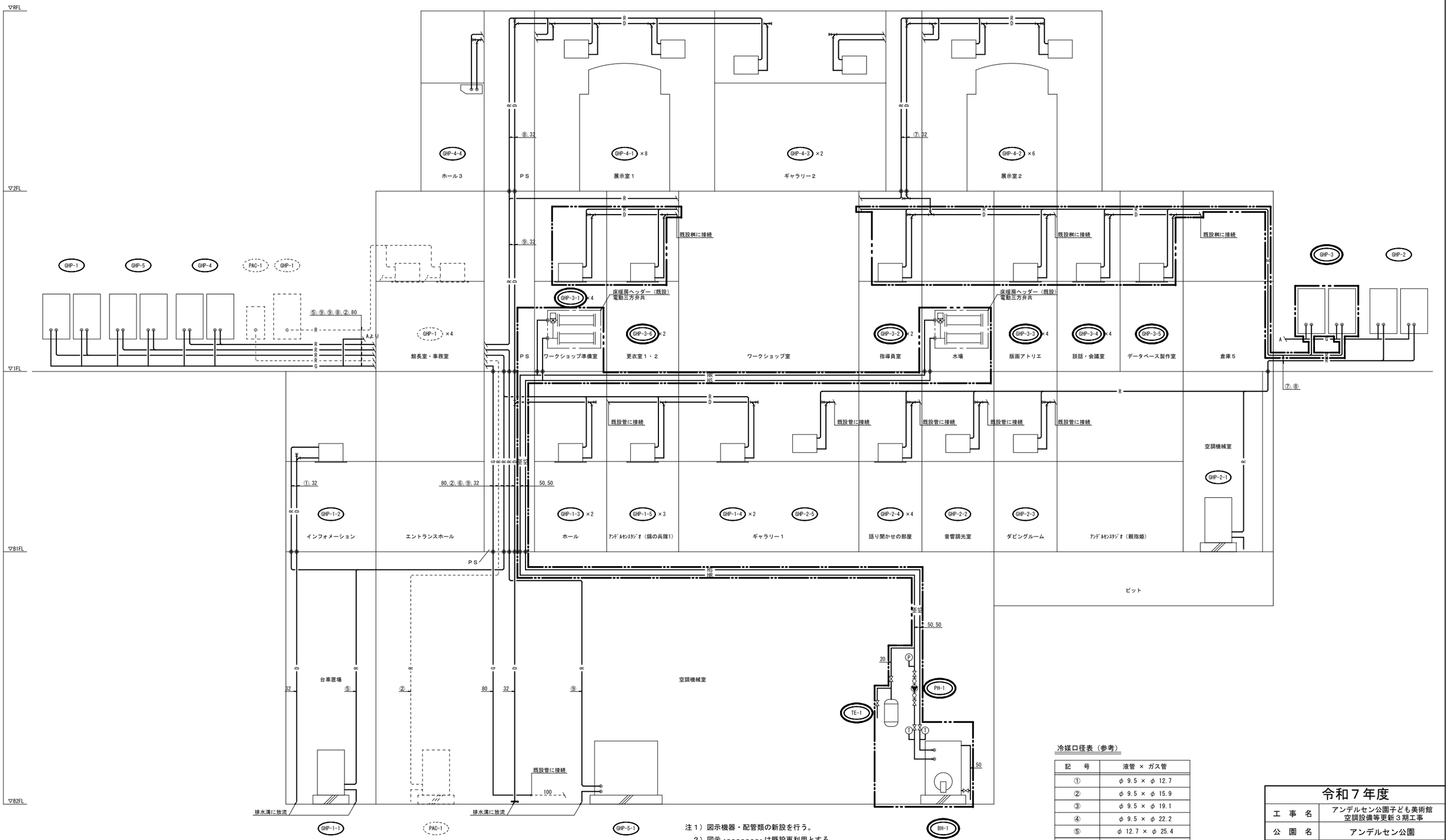
記号	名称	仕様	台数	動力 φ	動力 V	動力 kW(W)	設置場所	備考
FE-12	排風機	型　式：中間ダクトファン（消音型）	1	1	100	(25)	B1階 身障者便所	
		能　力：#2 × 400 m³/h × 60 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-1	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	1	1	100	(16)	1階 倉庫３	
		能　力：100 m³/h × 30 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-2	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	4	1	100	(25)	B1階 倉庫１	※３台のみ本工事
		能　力：200 m³/h × 50 Pa					1階 更衣室1,2、ツールボックス	
		付属品：防振吊金物						
V-3	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	2	1	100	(42)	1階 倉庫４	
		能　力：300 m³/h × 70 Pa					1階 版画アトリエ	
		付属品：防振吊金物						
V-4	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	2	1	100	(74)	B1階 ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ（鍋の兵隊2）	ﾌｪｰｽは黒色とする。
		能　力：400 m³/h × 120 Pa					2階 収蔵庫３	
		付属品：防振吊金物						
V-5	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	2	1	100	(74)	1階 倉庫２、倉庫５	
		能　力：500 m³/h × 60 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-6	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	1	1	100	(92)	2階 収蔵庫２	
		能　力：600 m³/h × 80 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-7	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	1	1	100	(13)	1階 シャワー室１	
		能　力：100 m³/h × 20 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-8	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	3	1	100	(25)	1階 身障者用便所、シャワー室２	※２台のみ本工事
		能　力：200 m³/h × 30 Pa					2階 身障者用便所	
		付属品：防振吊金物						
V-9	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	1	1	100	(74)	1階 女子便所	
		能　力：300 m³/h × 100 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-10	排風機	型　式：天井埋込型換気扇（低騒音型）	1	1	100	(74)	1階 男子便所	
		能　力：400 m³/h × 80 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-11	排風機	型　式：壁付換気扇（電気式）	1	1	100	(33)	1階 外部倉庫	
		能　力：300φ × 1,000 m³/h						
		付属品：ＳＵＳ製ウェザーカバー（防虫網付）						
V-12	排風機	型　式：有圧換気扇	1	1	100		2階 ギャラリー1	既設再利用
		能　力：300φ						
		付属品：電動シャッター、SUS製ウェザーカバー（防虫網付）、バックガード						
V-13	排風機	型　式：有圧換気扇	2	1	100		2階 連絡通路	既設再利用
		能　力：250φ						
		付属品：電動シャッター、SUS製ウェザーカバー（防虫網付）、バックガード						

注記　１）動力は50Hzとし、数値は参考とする。

２）特記無き事項は公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）令和4年版に準ずる。

３）図示 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	改修　空調換気設備　機器表（３）
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 07　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



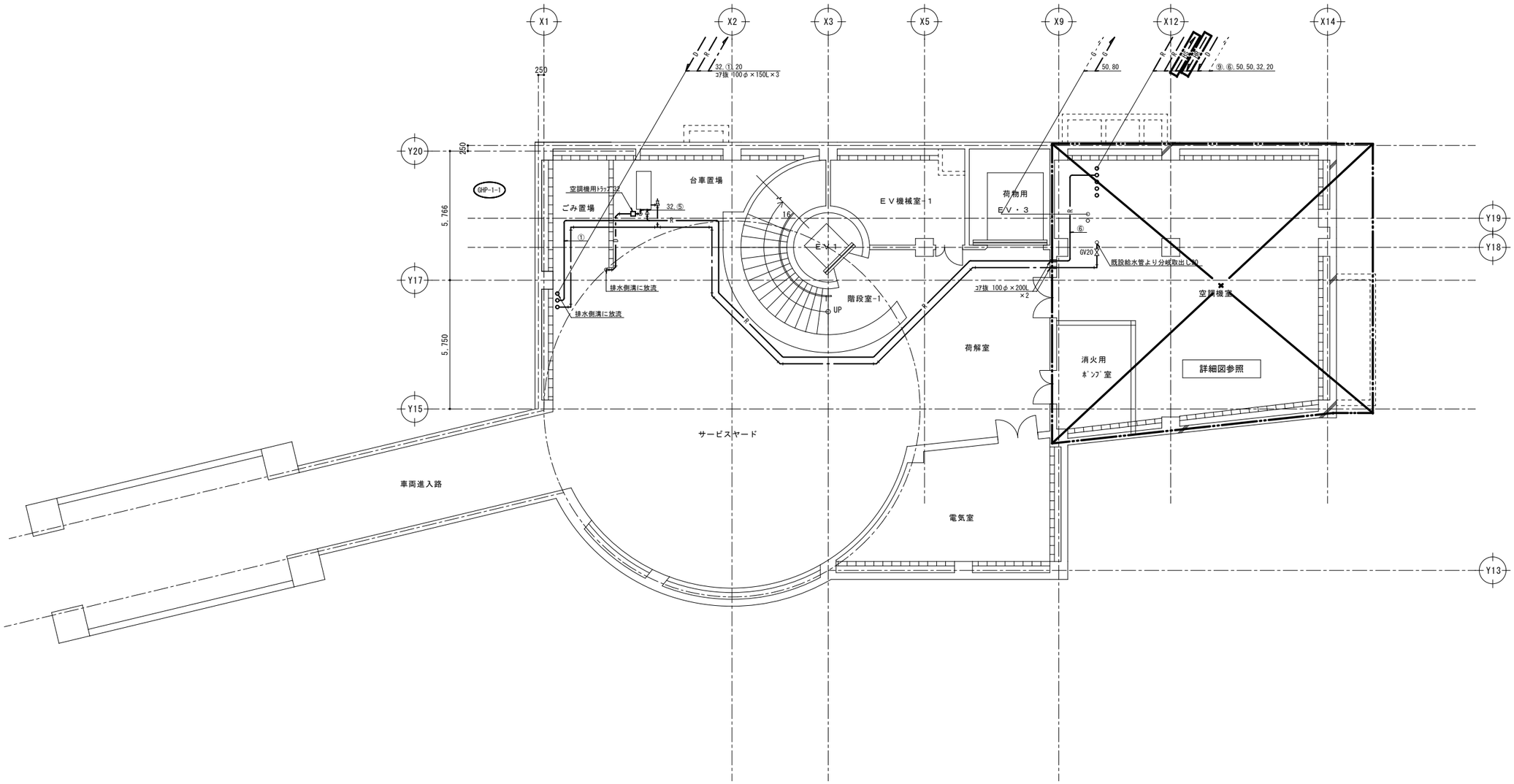
注１）図示機器・配管類の新設を行う。
２）図示 --------- は既設再利用とする。
３）図示 ◎ は区画貫通箇所を示し、貫通部の処理は国土交通大臣認定処理とする。（水平区画のみ図示）
４）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

改修　空調設備　配管系統図　　S=N.S

冷媒口径表（参考）

記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 改修　空調設備　配管系統図
縮　　尺	A1:N.S (A3:N.S)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 08　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



冷媒口径表（参考）

記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1

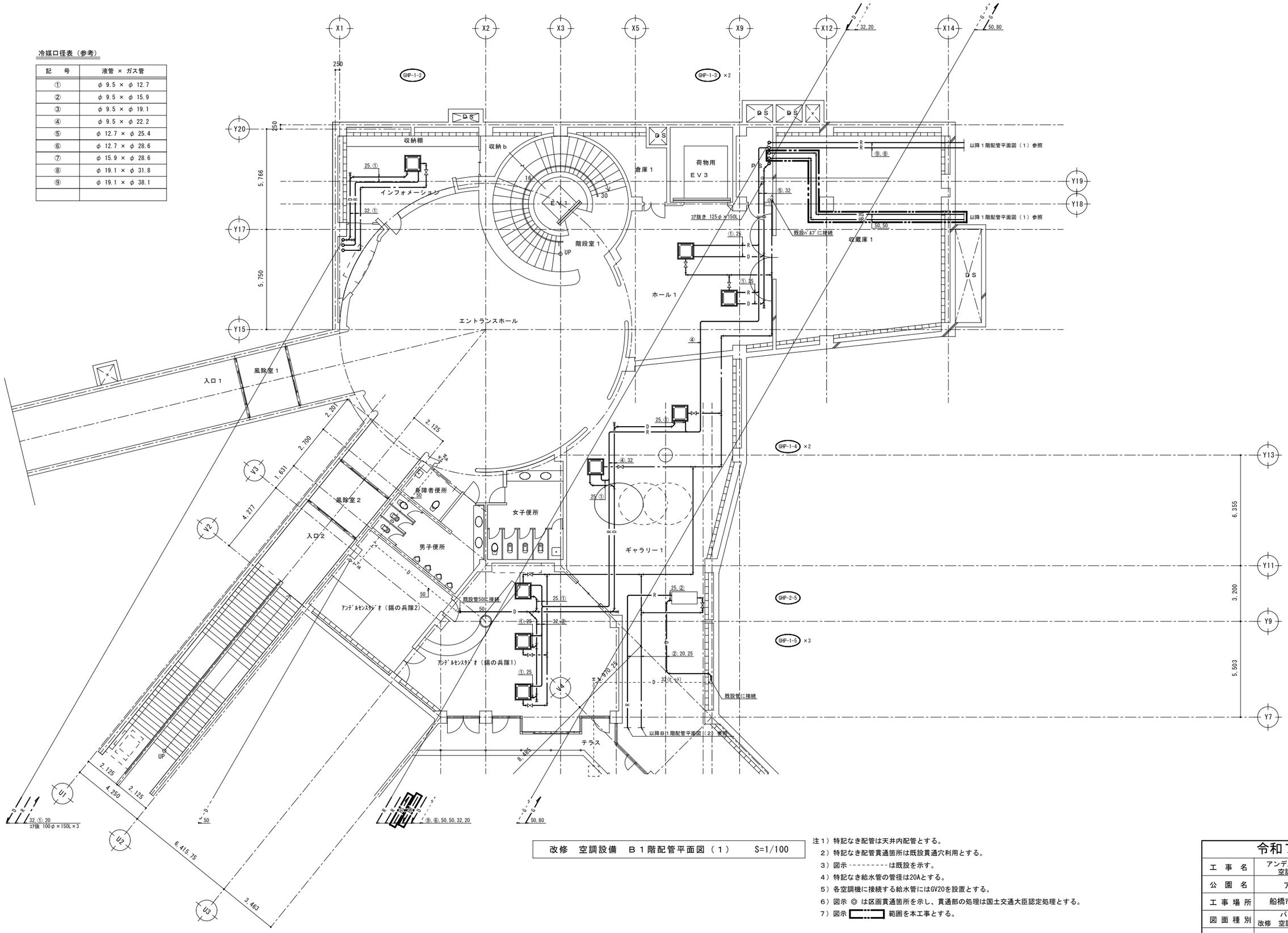
改修　空調設備　Ｂ２階配管平面図　　S=1/100

注１）特記なき配管は露出配管とする。
２）特記なき配管貫通箇所は既設貫通穴利用とする。
３）図示 ---------- は既設を示す。
４）特記なき給水管の管径は20Aとする。
５）各空調機に接続する給水管にはGV20を設置とする。
６）図示 ◎ は区画貫通箇所を示し、貫通部の処理は国土交通大臣認定処理とする。
７）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 改修　空調設備　B2階配管平面図
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 09　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

冷媒口径表（参考）

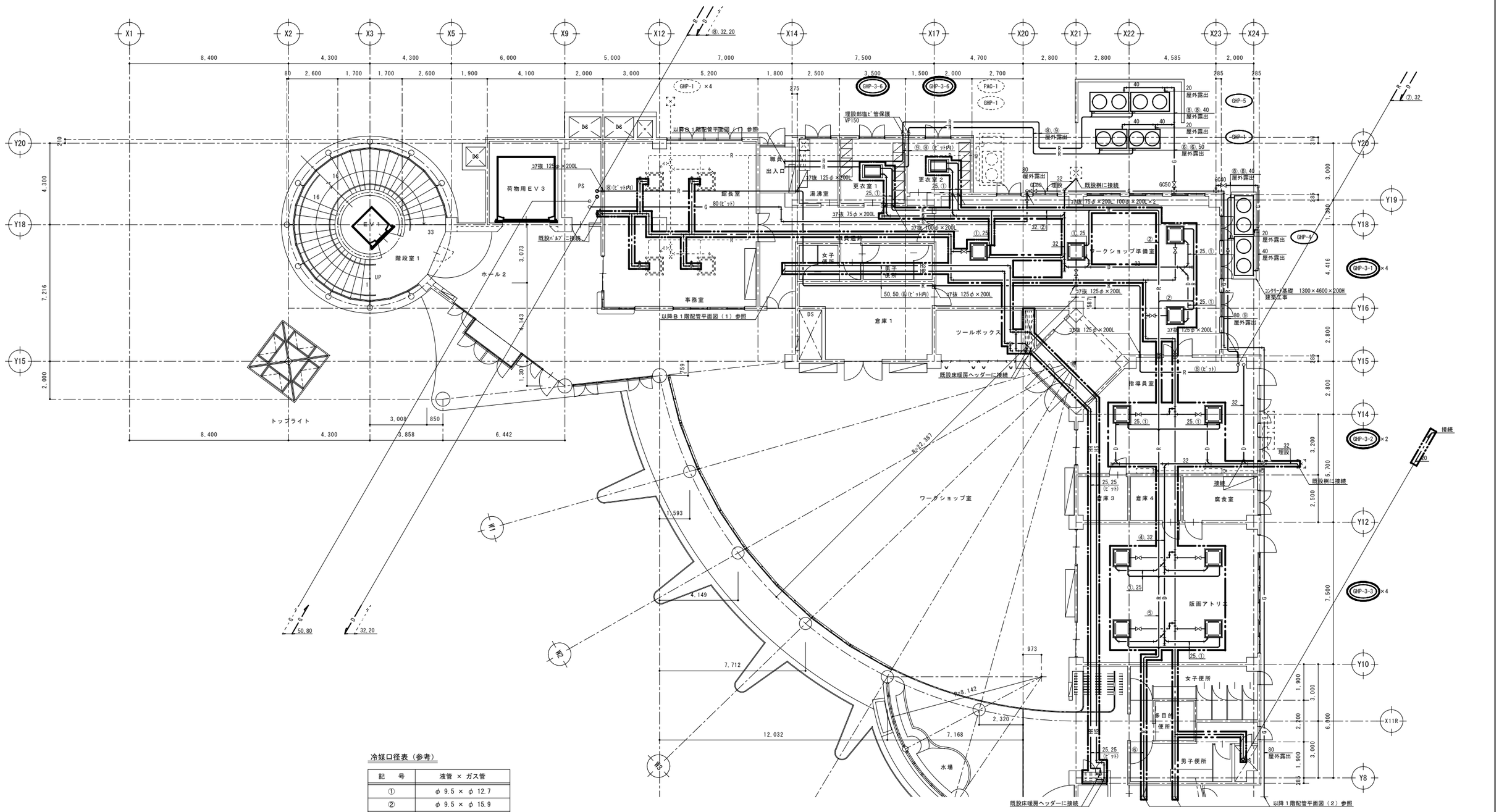
記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1



改修　空調設備　Ｂ１階配管平面図（１）　S=1/100

注１）特記なき配管は天井内配管とする。
２）特記なき配管貫通箇所は既設貫通穴利用とする。
３）図示 - - - - - - - - は既設を示す。
４）特記なき給水管の管径は20Aとする。
５）各空調機に接続する給水管にはGV20を設置とする。
６）図示 ◎ は区画貫通箇所を示し、貫通部の処理は国土交通大臣認定処理とする。
７）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 改修　空調設備　B1階配管平面図(1)
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 10　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



冷媒口径表（参考）

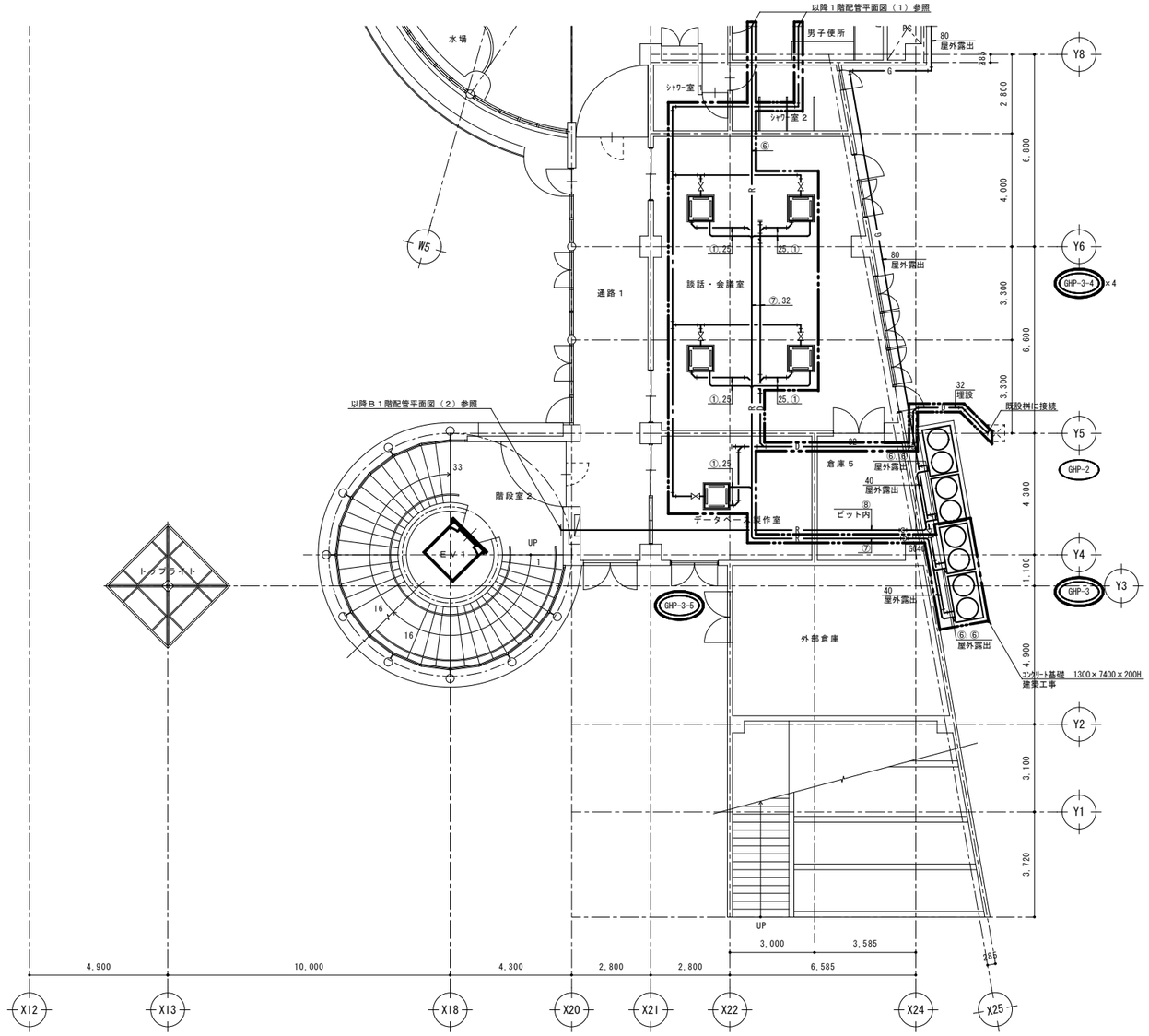
記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1

改修　空調設備　１階配管平面図（１）　S=1/100

注１）特記なき配管は天井内配管とする。
２）特記なき配管貫通箇所は既設貫通穴利用とする。
３）図示 - - - - - - - - - は既設を示す。
４）特記なき給水管の管径は20Aとする。
５）各空調機に接続する給水管にはGV20を設置とする。
６）図示 ◎ は区画貫通箇所を示し、貫通部の処理は国土交通大臣認定処理とする。
７）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　空調設備　1階配管平面図(1)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 11 号

船橋市建設局都市整備部公園緑地課



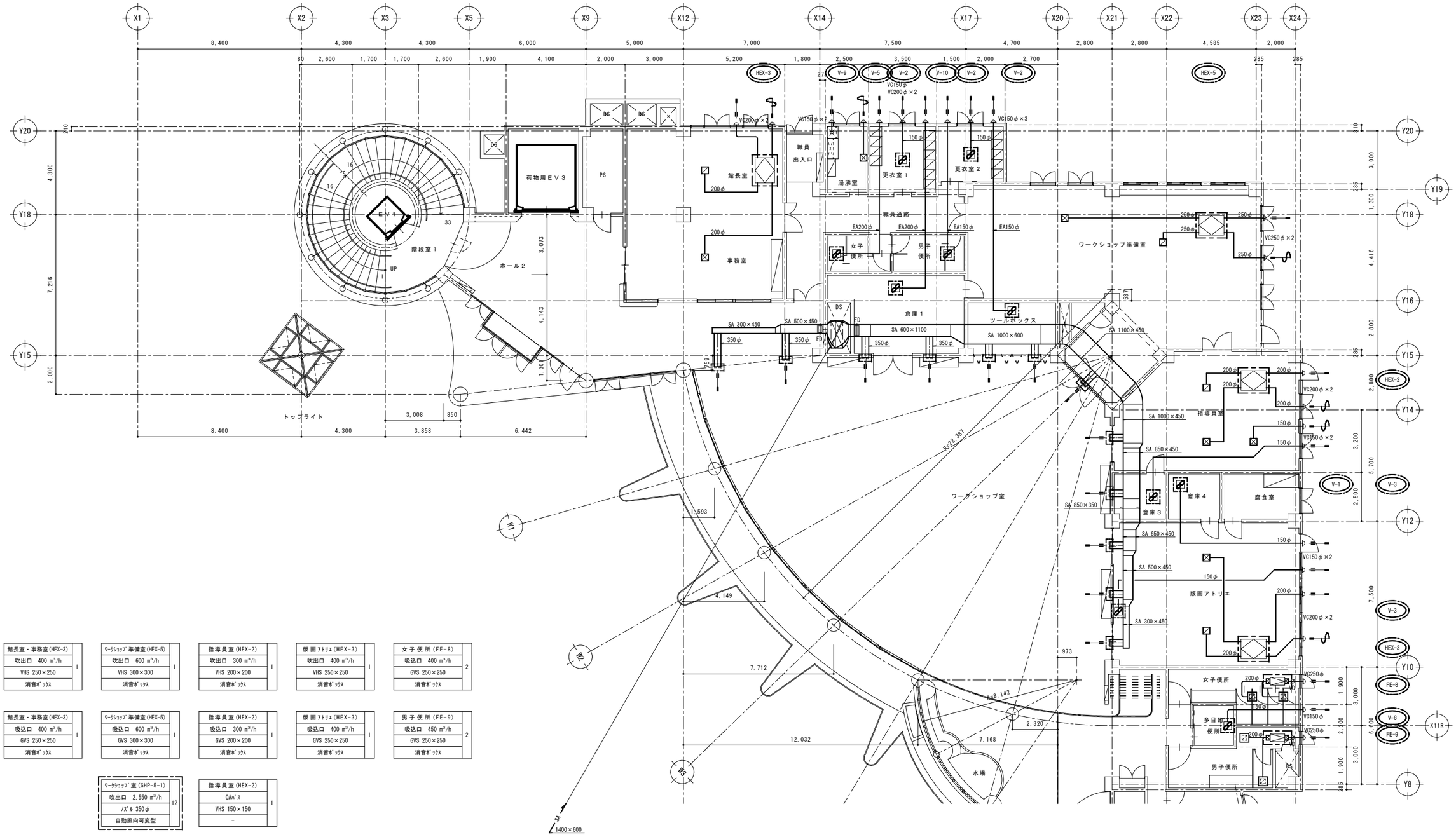
冷媒口径表（参考）

記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1

改修　空調設備　１階配管平面図（２）　S=1/100

注１）特記なき配管は天井内配管とする。
２）特記なき配管貫通箇所は既設貫通穴利用とする。
３）図示 - - - - - - - - - は既設を示す。
４）特記なき給水管の管径は20Aとする。
５）各空調機に接続する給水管にはGV20を設置とする。
６）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 改修　空調設備　1階配管平面図(2)
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 12　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



館長室・事務室(HEX-3)	
吹出口 400 m³/h	1
VHS 250×250	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ準備室(HEX-5)	
吹出口 600 m³/h	1
VHS 300×300	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

指導員室(HEX-2)	
吹出口 300 m³/h	1
VHS 200×200	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

版画ｱﾄﾘｴ(HEX-3)	
吹出口 400 m³/h	1
VHS 250×250	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

女子便所(FE-8)	
吸込口 400 m³/h	2
GVS 250×250	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

館長室・事務室(HEX-3)	
吸込口 400 m³/h	1
GVS 250×250	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ準備室(HEX-5)	
吸込口 600 m³/h	1
GVS 300×300	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

指導員室(HEX-2)	
吸込口 300 m³/h	1
GVS 200×200	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

版画ｱﾄﾘｴ(HEX-3)	
吸込口 400 m³/h	1
GVS 250×250	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

男子便所(FE-9)	
吸込口 450 m³/h	2
GVS 250×250	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ室(GHP-5-1)	
吹出口 2,550 m³/h	12
ﾉｽﾞﾙ 350φ	
自動風向可変型	

指導員室(HEX-2)	
OAﾍﾞｽ	1
VHS 150×150	
－	

改修　空調換気設備　１階ダクト平面図（１）　S=1/100

注１）図示 ┆┆ で示す機器・制気口の更新を行う。
２）機器更新に伴い、たわみ継手にて既設ダクトに接続とする。
３）特記なきダクトは既設再利用を示す。
４）特記なき制気口は取外し・再取付を行う。
５）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

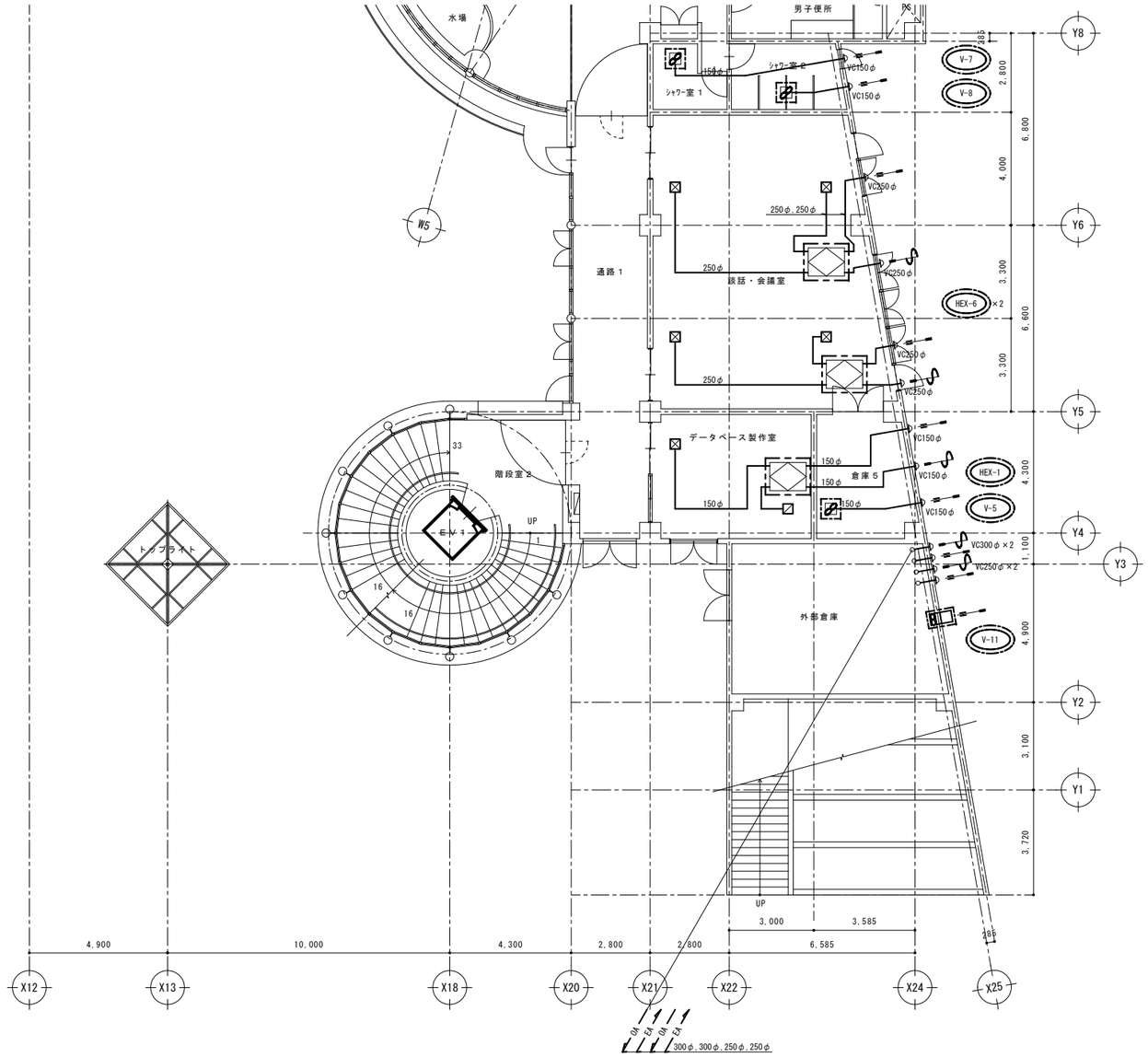
令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　空調換気設備　1階ﾀﾞｸﾄ平面図(1)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 13 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

談話・会議室(HEX-6)	
吹出口　700 m³/h	2
VHS 300×300	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ製作室(HEX-1)	
吹出口　200 m³/h	1
VHS 200×200	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

談話・会議室(HEX-6)	
吸込口　700 m³/h	2
GVS 300×300	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

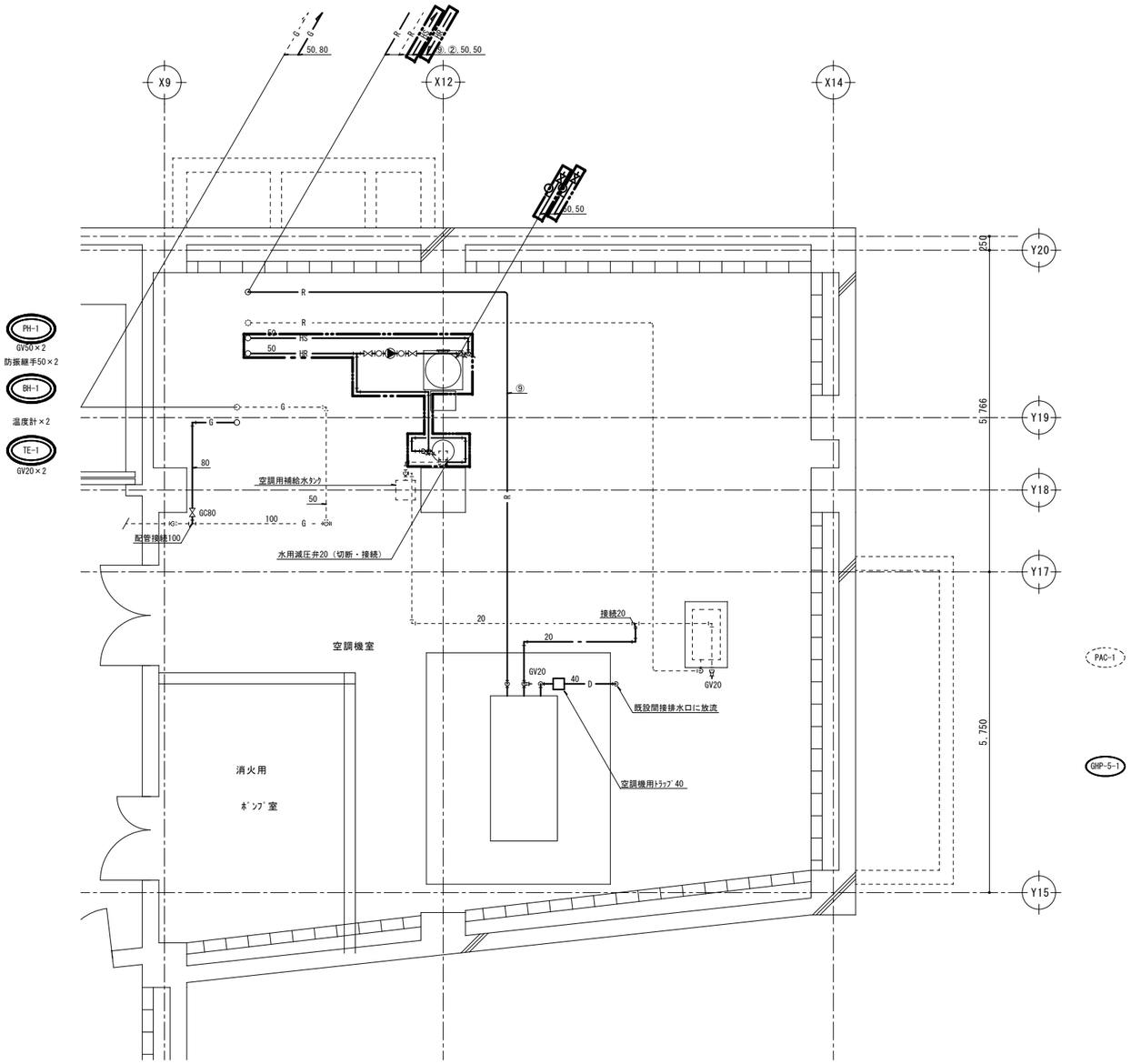
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ製作室(HEX-1)	
吸込口　200 m³/h	1
GVS 200×200	
消音ﾎﾞｯｸｽ	



改修　空調換気設備　１階ダクト平面図（２）　S=1/100

注１）図示 [ ] で示す機器の更新を行う。
２）機器更新に伴い、たわみ継手にて既設ダクトに接続とする。
３）特記なきダクトは既設再利用を示す。
４）特記なき制気口は取外し・再取付を行う。
５）図示 [ ] 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　空調換気設備　1階ﾀﾞｸﾄ平面図(2)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 14 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

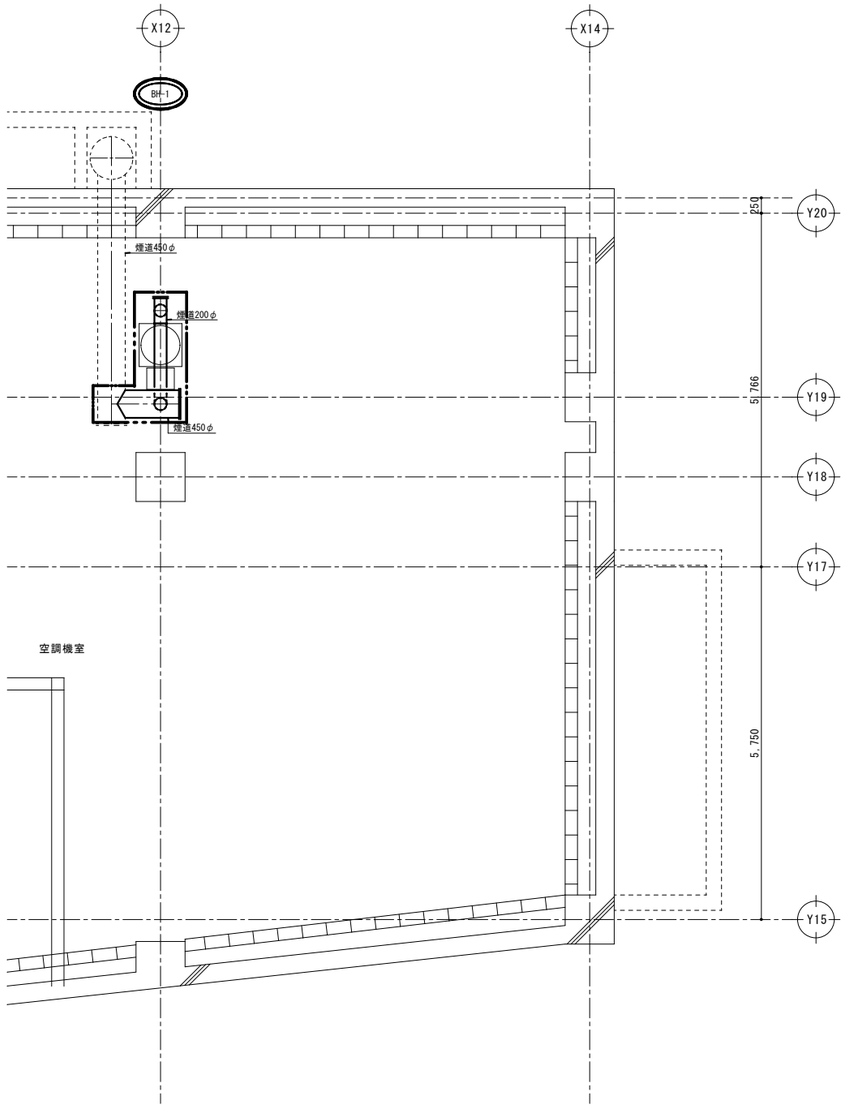


改修　Ｂ２階空調機械室配管詳細図　　S=1/50

注１）図示機器・配管類の新設を行う。
２）図示 - - - - - - - - - は既設再利用とする。
３）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

冷媒口径表（参考）

記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1

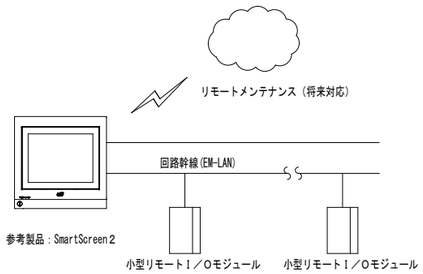


改修　Ｂ２階空調機械室煙道詳細図　　S=1/50

注１）図示煙道の新設を行う。
２）図示 - - - - - - - - - は既設再利用とする。
３）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

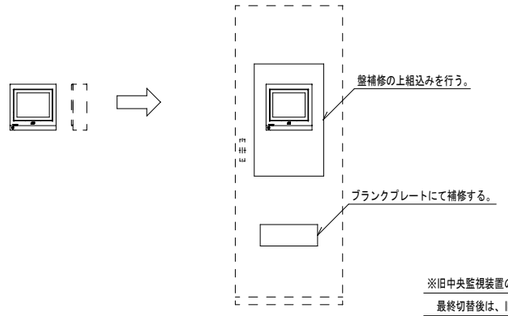
令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 改修　空調設備　機械室配管詳細図
縮　　尺	A1:1/50（A3:1/100）
図 面 番 号	全　78　葉ノ内第　15　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

システム構成



※旧中央監視装置の撤去まで事務室壁面に仮設置の上で運用とする。
最終切替後は、旧中央監視装置を撤去の上、新中央監視装置を既存盤面加工の上で組込みを行う。

中央監視装置（参考）



（仮設：事務所壁面設置）　（施工完了時）

※旧中央監視装置の撤去まで事務室壁面に仮設置の上で運用とする。
最終切替後は、旧中央監視装置を撤去の上、新中央監視装置を既存盤面加工の上で組込みを行う。

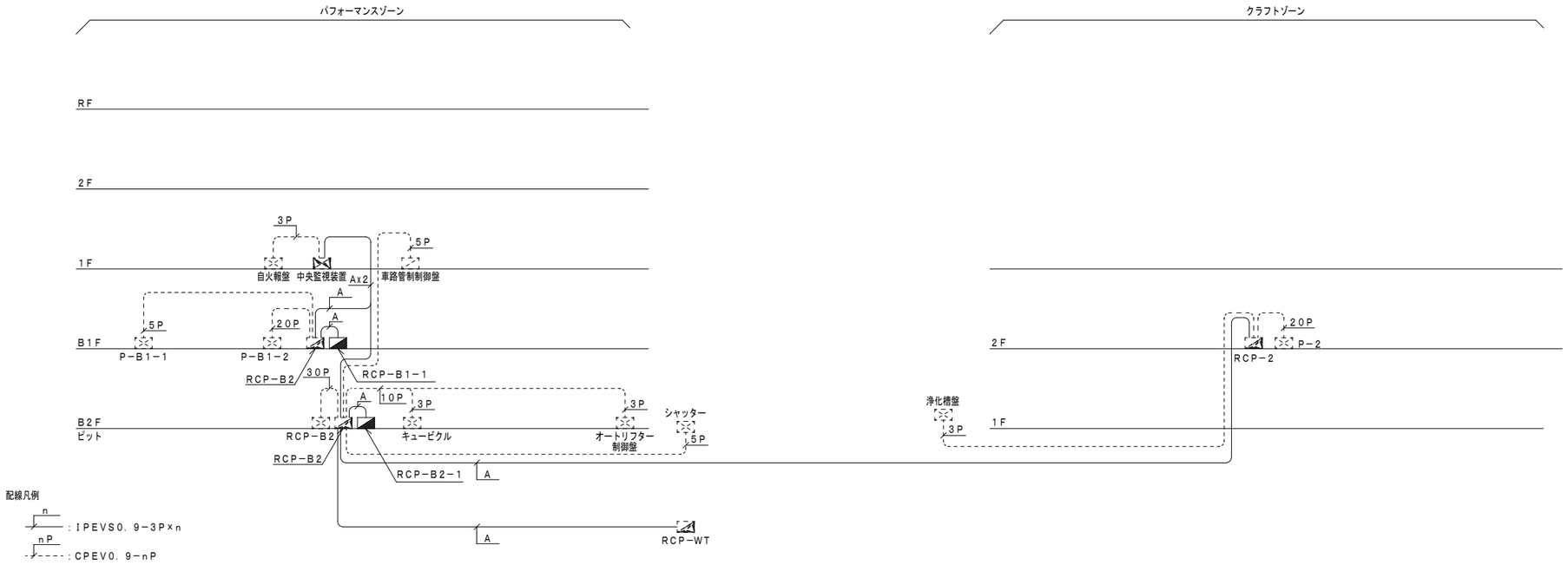
中央監視装置監視機能

機器名称	システム内容	機器仕様
ユーティリティ	１．ＬＣＤ輝度調整 ・ＬＣＤの輝度を４段階で設定できる。 ２．ホーム画面設定 ・ログイン時の初期表示画面を設定可能。 ３．ブザー鳴動時間帯設定 ・警報ブザーの鳴動時間帯を設定可能 ４．タッチ音制御 ・ミュート+３段階でタッチ音の大きさを切替ることができる。 ５．名称設定 ・名称を自由に編集することができる。	システム　定格電源電圧：ＡＣ１００～２４０Ｖ＋１０%／－１５% ５０／６０Ｈｚ　最大６６／１１６ＶＡ 定格電源電圧：ＤＣ２４Ｖ±１０%　最大１１６Ｗ 設置条件　：Ｄ種接地 周囲条件　：５～４０℃，２０～８０%ＲＨ（但し結露なきこと） 停電補償　：停電後４８時間補償（データメモリ及びカレンダ動作） リチウム電池 機器仕様　画面サイズ　：１０．４インチ 表示色　：６５５３６色 データ出力メディア：ＳＤカード（市販品の使用も可）
監視機能	１．Ｉ／Ｏ管理機能 ・各種画面からアクセスできるＩ／Ｏ詳細画面で各Ｉ／Ｏの詳細を確認することができる。 アナログ入力にはアナログ上下限監視、積算入力には積算偏差上限監視が利用可能。 ２．ソフトウェアインジケータ機能 ・画面上部に配置されたインジケータにより、システムの状態を包括的に把握することができる。 インジケータ：火災・停電・Ｉ／Ｏ警報・構成機器・通信断 ３．アナンシエータ機能 ・アナンシエータ（集合表示灯）画面に任意のオブジェクトを登録し、監視することができる。 アナンシエータ枚数：７枚 点数：３０点（縦５ｘ横６）／枚 ４．機器種別Ｉ／Ｏ一覧 ・空調／照明／一般操作／状態監視／警報監視／計測／計量／アナログ出力それぞれについて、 一覧画面で監視することができる。 ５．状態別Ｉ／Ｏ一覧 ・運転中／警報中／トラブル中／無効中となっているＩ／Ｏを一覧監視することができる。 ６．管理者カスタムＩ／Ｏ一覧 ・管理者が選択したＩ／Ｏを一覧監視することができる。 画面数：７枚 点数：３０点/枚 ７．セカンダリデバイス一覧 ・セカンダリデバイスの状態を一覧監視できる。 一覧から個々のデバイスを選択し、詳細設定を行うこともできる。	
制御機能	１．火災時制御機能 ・火災信号入力時、対象点登録したＩ／Ｏの一括停止を行う。 ２．停復電時制御機能 ・簡易監視ｼｽﾃﾑの有停／無停／無停+自家発電装置有　それぞれに応じた停復電時制御を行う。 ・停復電時制御・・・停電中のタイムスケジュールなどのコマンド出力抑制と不一致抑制 ・復電時抑制　・・・機器を現在あるべき状態に戻すための再起動 ・［有停］　・・・自身の電源断を停電、リスタートを復電とみなし、復電時抑制を実施 ・［無停］　・・・給電状態信号により、停電時制御と復電時制御を実施 ・［無停＋自家発電装置有］・・・給電状態信号及び自家発切替信号により商用給電状態に 基づいた停電時制御と復電時制御、および自家発切替時の順序投入制御を行う。 ３．カレンダ・スケジュール制御 ・年間カレンダにより５種類の特別日指定が可能。 カレンダ数：２００ ・各曜日と５種類の特別日それぞれに設定されたマスタスケジュールから、各日の 実行スケジュールが生成できる。 ・バイナリ点用（75スケジュール）／マルチステート点用（75スケジュール）／アナログ スケジュール（50スケジュール）の３種類のスケジュールが利用可能 ・スケジュールに登録された機器/設定点は実行スケジュールに従って自動的に 発停／設定が実施される。 ・スケジュールの動作回数：16回 ・１スケジュール当たりの登録点数：最大16点	

機器名称	システム内容	機器仕様
	４．汎用イベント連動機能 ・監視点の状態変化や警報発生、配管系統の運転状態や手動入力をトリガとして登録機器の 連動発停が可能 ・プログラム数：200プログラム ・入力：10点／プログラム ・出力：30点／プログラム ・複数プログラムを多段に連結し、より複雑な連動動作をさせることもできる。 ・消し忘れ防止のための空調一括停止操作、ＦＣＵと熱源・外調機の連動運転などに応用できる。 ５．警報外部移報出力機能 ・警報や故障の発生を本体背面の端子により、外部に接点出力できる。出力方式はメインテイン／ モーメンタリより選択可能で、出力禁止時間帯を設けることもできる。外部移報の対象と するかどうか、Ｉ／Ｏ毎に設定することができる。	
データ管理機能	１．データ収集機能 ・任意のＩ／Ｏのデータ蓄積を行う。 ・点数：200点 ・収集周期：1／10／30／60分 ・蓄積したデータはＳＤカードによりＣＳＶ形式で取出し可能。 ２．ヒストリカルトレンド機能 ・任意のアナログ点・デジタル点・積算点のトレンドグラフを表示 ・グラフ数：16グラフ ・登録点数：4点/グラフ ・データサンプリング周期：5分 ・表示期間：直近15日分 ３．運転時間積算機能 ・各機器に対し、運転稼働時間と投入回数積算を行うことができる。 ４．履歴管理機能 ・警報・操作・状態変化の履歴を時系列で表示可能（最大2500件）。 ・履歴はＳＤカードによりＣＳＶ形式で取出し可能。 ５．日月年報作成機能 ・任意のアナログ点の正時値、積算点の正時値、増分値を用いた日月年報を作成することができる。 本体画面上での表示の他、ＳＤカードによりＣＳＶ形式で取出し可能。 ・ページ数：10ページ ・登録点数：20点／ページ ・集計部データ：時／日／月データの最大・最小・平均値 ・保持期間：当日含む62日分（日報）、当月および前月（月報）、１年+２ヶ月（年報）	
小型リモート I/Oモジュール	・デジタル入出力・積算パルス入力・リモコンリレー出力・アナログ入出力・測温抵抗体入力 など、さまざまな入出力に対応した通信方式のＩ／Ｏモジュール。 ・建物内の各種設備に分散設置し、状態・警報監視・発停操作・計測・計量を行う。	電源　定格電圧　：１００～２４０Ｖ ＡＣ、５０Ｈｚ／６０Ｈｚ 消費電力　：１０ＶＡ以下 通信　ＢＡＣｎｅｔＭＳ／ＴＰ 通信速度　：９．６ｋｂｐｓ／１９．２ｋｂｐｓ／３８．４ｋｂｐｓ／ ７６．８ｋｂｐｓ 外形寸法　５０ｍｍ（Ｗ）ｘ１００ｍｍ（Ｈ）ｘ７５ｍｍ（Ｄ） 質量　０．２３ｋｇ

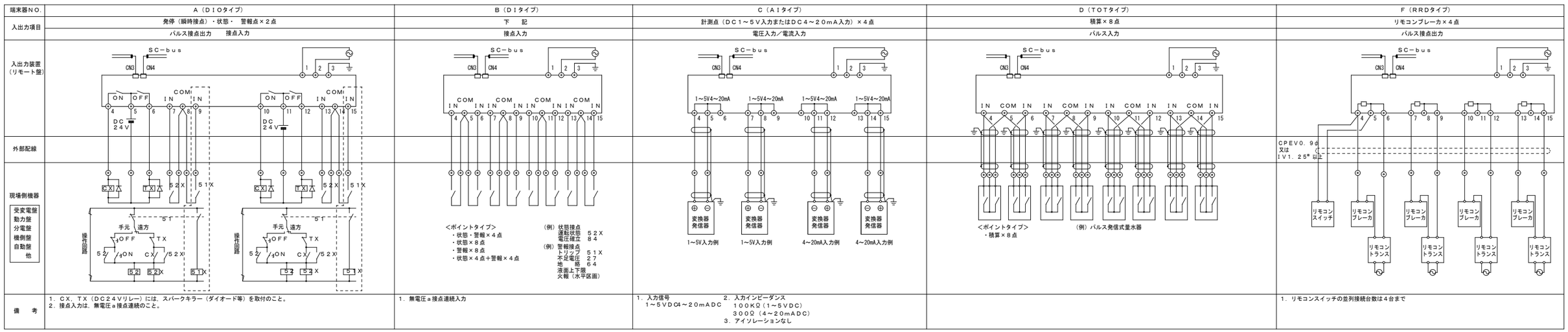
令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　中央監視システム図
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 16　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

幹線系統図



A：中央監視装置の最終切替まで新・旧システムを同時使用の為、回線幹線(EM-LAN)の布設を行う。

取合回路図



令和７年度	
工 事 名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公 園 名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 改修 幹線系統図・取合回路図
縮 尺	A1:N.S（A3:N.S）
図 面 番 号	全 78 葉ノ内第 17 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

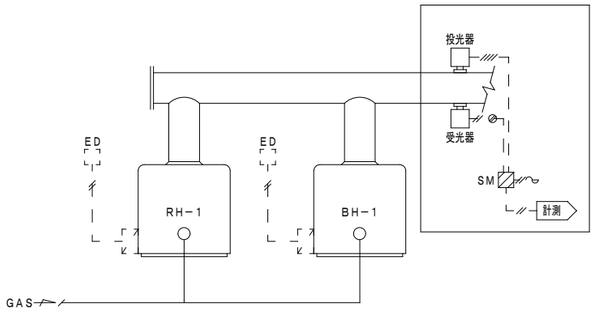
中央管理点入出力一覧表

記号	名称	リモート盤	動力盤	操作 設定	操作 切換	操作 発停	表示 状態	表示 COS故障	表示 トリップ故障	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他		計量	備考
	［パフォーマンスゾーン］															
	（受変電設備）															
	キュービクル　一括警報	RCP－B2	キュービクル							○						
	（熱源設備）															
BH－1	温水ボイラー	RCP－B2	機側盤				○			○						手元発停
	燻煙濃度監視	RCP－B2	本体										○			
PH－1	温水循環ポンプ	〃	〃				○		○							BH－1と連動（電気工事）
TE－1	膨張タンク	RCP－B1	本体							○×2						
	（空調設備）															
PAC－1	収蔵庫系統　パッケージ	RCP－B2	P－B2			○	○	○								
	室内温度	〃	――	○							○					
	室内湿度	〃	――	○								○				
	冷暖切換	〃	――		○											
GHP－1－1	B2F　台車置場	RCP－B2－1	本体			○	○			○						
GHP－1－2	B1F　インフォメーション	〃	〃			○	○			○						
GHP－1－3	B1F　ホール1	中央監視装置盤	〃			○	○			○						
GHP－1－4	B1F　ギャラリー1	RCP－B1－1	〃			○×2	○×2			○×2						
GHP－1－5	B1F　ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ（鍋の兵隊1）	〃	〃			○	○			○						
GHP－2－1	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統パッケージ	RCP－B1	本体			○	○	○								
	冷暖切換	〃	〃		○											
	還気温度	〃	〃	○							○					
	還気湿度	〃	〃	○								○				
GHP－2－2	B1F　音響調光室	RCP－B1－1	〃			○	○			○						
GHP－2－3	B1F　ダビングルーム	〃	〃			○	○			○						
GHP－2－4	B1F　語り聞かせの部屋	〃	〃			○×2	○×2			○×2						
GHP－2－5	B1F　ギャラリー1	〃	〃			○	○			○						
GHP－3－1	1F　ワークショップ準備室	中央監視装置盤	本体			○	○			○						
GHP－3－2	1F　指導員室	〃	〃			○	○			○						
GHP－3－3	1F　版画アトリエ	〃	〃			○	○			○						
GHP－3－4	1F　談話・会議室	〃	〃			○×2	○×2			○×2						
GHP－3－5	1F　データベース制作室	〃	〃			○	○			○						
GHP－3－6	1F　更衣室1	〃	〃			○	○			○						
GHP－3－6	1F　更衣室2	〃	〃			○	○			○						
GHP－4－1	2F　展示室1	〃	〃			○	○			○						
GHP－4－2	2F　展示室2	〃	〃			○	○			○						
GHP－4－3	2F　ギャラリー2	〃	〃			○×2	○×2			○×2						
GHP－4－4	2F　ホール	〃	〃			○	○			○						
GHP－5－1	ワークショップ室系統　パッケージ	RCP－B2－1	P－B2			○	○	○								
	室内温度	〃	――	○							○					
	室内湿度	〃	――	○								○				
	冷暖切換	〃	――		○											
	（換気設備）															
FS－1	空調機械室系統　送風機	RCP－B2	P－B2				○		○							BH－1，RH－1と連動（電気工事）
FE－1	〃　排風機	〃	〃				○		○							〃
FS－2	電気室系統　送風機	〃	〃				○		○							サーモ発停，FE－2と連動（電気工事）
FE－2	〃　排風機	〃	〃				○		○							〃
FS－3	EV機械室1系統　送風機	〃	〃				○		○							〃　FE－3と連動（電気工事）
FE－3	〃　排風機	〃	〃				○		○							〃
FS－4	EV機械室2系統　送風機	RCP－B1	P－B1－2				○		○							〃　FE－4と連動（電気工事）
FE－4	〃　排風機	〃	〃				○		○							〃
FS－5	消火ポンプ室系統　送風機	RCP－B2	P－B2				○		○							FE－5と連動（電気工事）
FE－5	〃　排風機	〃	〃			○	○	○								
FS－4	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統送風機	RCP－B1	P－B1－2				○		○							FE－4と連動（電気工事）
FE－4	〃　排風機	〃	〃			○	○	○								
FS－6	サービスヤード系統　送風機	RCP－B2	P－B2				○		○							FE－6と連動（電気工事）
FE－6	〃　排風機	〃	〃			○	○	○								
FS－7	ダビングルーム系統　送風機	RCP－B1	P－B1－2				○		○							FE－7と連動（電気工事）
FE－7	〃　排風機	〃	〃			○	○	○								

記号	名称	リモート盤	動力盤	操作 設定	操作 切換	操作 発停	表示 状態	表示 COS故障	表示 トリップ故障	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他		計量	備考
	（衛生設備）															
TW－1	受水槽　警報	RCP－WT	――							○×2						
PU－1	加圧給水ポンプユニット	〃	機側盤				○			○						
PD－1×2	雑排水ポンプ	RCP－B2	P－B2				○		○	（一括）						
	雑排水槽　警報	〃	〃							○						
PD－2×2	湧水ポンプ	〃	〃				○		○	（一括）						
	湧水槽　警報	〃	〃							○						
PD－3×2	湧水ポンプ	RCP－B1	P－B1－1				○		○	（一括）						
	湧水槽　警報	〃	〃							○						
PW－1	加圧給水装置	RCP－B2	機側盤							○						
	（電気設備）															
	車路管制制御盤　開閉表示・警報	RCP－B2	制御盤				○×2			○						
	シャッター　〃	〃	本体				○×2									
	警報	〃	制御盤													
	オートリフター制御盤　〃	〃	制御盤							○						
	［クラフトゾーン］															
	（熱源設備）															
BH－1	温水ボイラー	RCP－2	機側盤				○			○						
RH－1	温水循環ポンプ	〃	P－2				○		○							BH－1と連動（電気工事）
	燻煙濃度監視	〃	本体										○			
	（空調設備）															
GHP－1－1	（食）1F　調理室系統　ガスヒートポンプエアコン	RCP－2	本体			○	○			○						
GHP－1－2	（〃）〃　〃　〃	〃	〃			○	○			○						
GHP－1－3	（食）2F　研修室系統　〃	〃	〃			○	○			○						
GHP－2－1	（染）1F　染色作業室系統　〃	〃	〃			○	○			○						
GHP－2－2	（染）2F　機織作業室系統　〃	〃	〃			○	○			○						
GHP－3－1	（陶）1F　陶芸作業室系統　〃	〃	〃			○	○			○						
GHP－4－1	（木）1F　木工作業室系統　〃	〃	〃			○	○			○						
GHP－4－2	（木）1F　木工機械室系統　〃	〃	〃			○	○			○						
	（還気設備）															
FS－1	ボイラー室系統　送風機	RCP－2	P－2				○		○							BH－1と連動（電気工事）
FE－1	〃　排風機	〃	〃				○		○							〃
FS－1	窯場系統　送風機	〃	〃				○		○							手元発停
FE－1	〃　排風機	〃	〃				○		○							〃

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　中央管理点入出力一覧表
縮尺	A1:N.S（A3:N.S）
図面番号	全 78　葉ノ内第 18　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

1 冷温水発生器，ボイラー廻り制御　1ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン

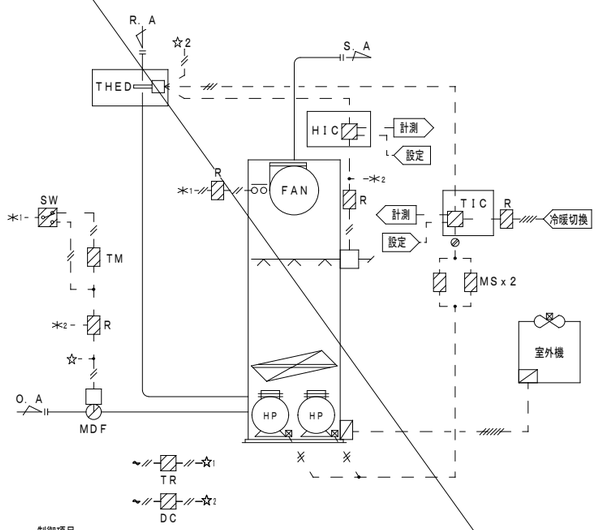


制御項目
1．煤煙濃度監視
2．地震時熱源機器停止
3．計測

□：更新新設

2 ヒートポンプパッケージ制御　1ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン

ＰＡＣ－１　Ｂ１Ｆ　収蔵庫

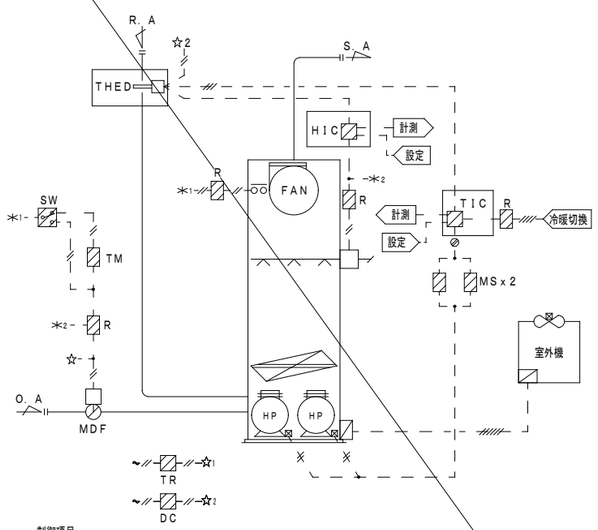


制御項目
1．還気温度制御
還気温度によりコンプレッサーのＯＮ－ＯＦＦ制御を行う。（２段）
2．還気湿度制御
還気湿度により加湿器のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。
3．ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気ダンパを開とし予冷／予熱を行う。
4．空調機停止時のインターロック制御
（対象：ダンパ／加湿器）

□：更新新設

3 ヒートポンプパッケージ制御　1ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン

ＧＨＰ－２－１　Ｂ１Ｆ　ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統

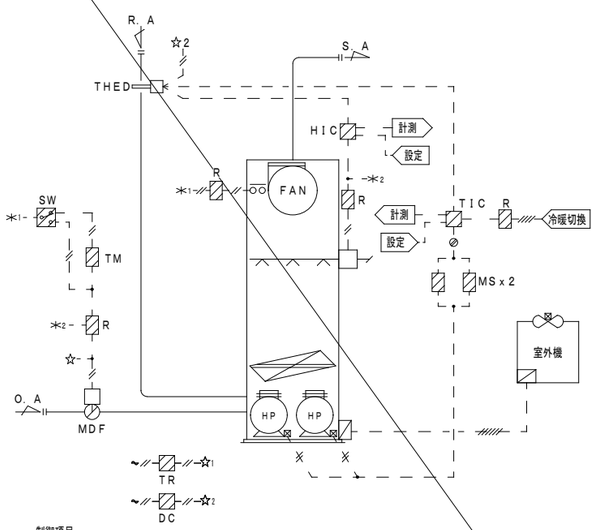


制御項目
1．還気温度制御
還気温度によりコンプレッサーのＯＮ－ＯＦＦ制御を行う。（２段）
2．還気湿度制御
還気湿度により加湿器のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。
3．ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気ダンパを開とし予冷／予熱を行う。
4．空調機停止時のインターロック制御
（対象：ダンパ／加湿器）

□：更新新設

4 ヒートポンプパッケージ制御　1ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン

ＧＨＰ－５－１　１Ｆ　ワークショップ系統　　新設



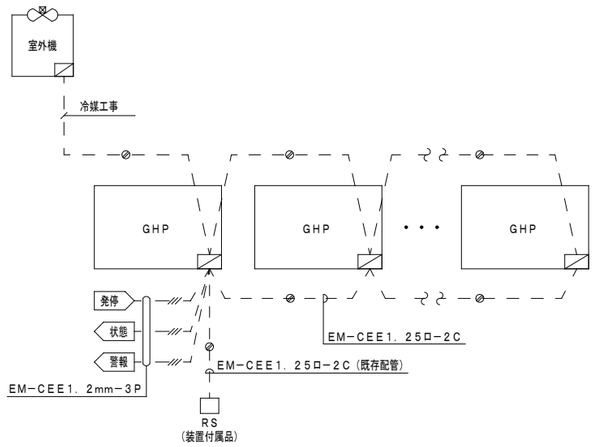
制御項目
1．還気温度制御
還気温度によりコンプレッサーのＯＮ－ＯＦＦ制御を行う。（２段）
2．還気湿度制御
還気湿度により加湿器のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。
3．ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気ダンパを開とし予冷／予熱を行う。
4．空調機停止時のインターロック制御
（対象：ダンパ／加湿器）

5 ＧＨＰスイッチ渡り配線工事　21ｓｅｔｓ

ＧＨＰ－１－１　Ｂ２Ｆ　台車置場系統（ＲＳは本体組込）
ＧＨＰ－１－２　Ｂ１Ｆ　インフォメーション系統
ＧＨＰ－１－３　Ｂ１Ｆ　ホール１系統
ＧＨＰ－１－４　Ｂ１Ｆ　ギャラリー１系統
ＧＨＰ－１－５　Ｂ１Ｆ　ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ（錫の兵隊1）系統
ＧＨＰ－２－１　Ｂ１Ｆ　ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統
ＧＨＰ－２－２　Ｂ１Ｆ　音響調光室系統
ＧＨＰ－２－３　Ｂ１Ｆ　ダビングルーム系統
ＧＨＰ－２－４　Ｂ１Ｆ　語り聞かせの部屋系統
ＧＨＰ－２－５　Ｂ１Ｆ　ギャラリー１系統

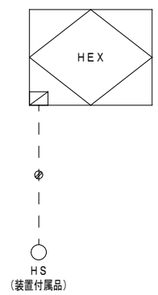
ＧＨＰ－３－１　１Ｆ　ワークショップ準備室系統
ＧＨＰ－３－２　１Ｆ　指導員室系統
ＧＨＰ－３－３　１Ｆ　版画アトリエ系統
ＧＨＰ－３－４　１Ｆ　談話・会議室系統
ＧＨＰ－３－５　１Ｆ　データベース制作室系統
ＧＨＰ－３－６　１Ｆ　更衣室１系統
〃　１Ｆ　更衣室２系統

ＧＨＰ－４－１　２Ｆ　展示室１系統
ＧＨＰ－４－２　２Ｆ　展示室２系統
ＧＨＰ－４－３　２Ｆ　ギャラリー２系統
ＧＨＰ－４－４　２Ｆ　ホール系統



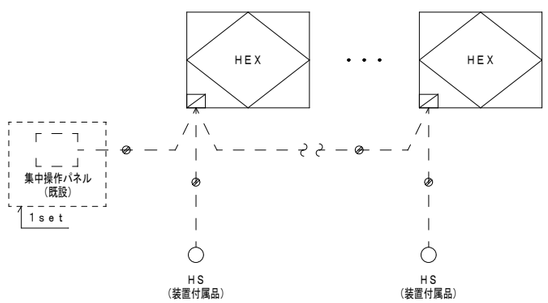
※遠隔制御ユニットは、メーカー付属品とする。

6 全熱交換形換気扇スイッチ渡り工事（１）　パフォーマンスゾーン



※リモコン取付結線は、自動制御工事とする。

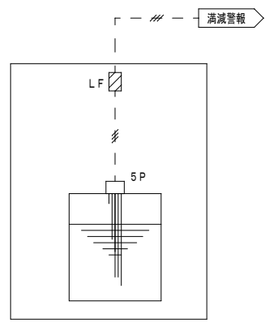
7 全熱交換形換気扇スイッチ渡り工事（２）　パフォーマンスゾーン



※リモコン取付結線は、自動制御工事とする。

8 水槽監視（２）　1ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン

ＴＥ－１　膨張タンク

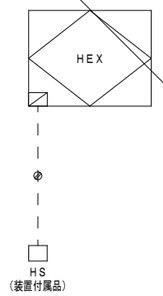


制御項目
1．警報

□：更新新設

1 全熱交換形空調換気扇スイッチ配線工事　クラフトゾーン

階	室　名	形式	台数
食2	研修室	ＨＥＸ－１	1
染1	染色作業室	ＨＥＸ－１	1
染2	機織作業室	ＨＥＸ－２	1
陶1	陶芸作業室	ＨＥＸ－２	1
	〃	ＨＥＸ－２	1
木1	木工作業室	ＨＥＸ－２	1
	〃	ＨＥＸ－２	1



※リモコン取付結線は、自動制御工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　自動制御設備　計装図
縮尺	A1:N.S（A3:N.S）
図面番号	全 78　葉ノ内第 19 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

パフォーマンスゾーン

自動制御機器表

記号	名称	型番	備考
THE	室内型温湿度発信器	HTY7043	
THED	挿入型温湿度発信器	HTY7805	
HD	挿入型湿度調節器	HYY−D1S	
TIC	デジタル指示調節計	R36	
HIC	デジタル指示調節計	R36	
M.D.F	ダンパ操作器	MY6050	
SM	嫌煙濃度計	GYY−S4000	
ED	感震器	V−725	
MS	モニタスイッチ	RYY792	
DC	DC24V電源	RYY792	
TR	トランス	AT72−J1	
TM	タイマー		
R	補助リレー		
LF／5P	液面リレー／電極棒5P	61F−G3N／5P	
H	温度調節器	HY6000Z	

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法 W	参考寸法 H	参考寸法 D	収納系統名	備考
RCP−B2	自立	1400	1950	400	PAC−1，水槽監視（2） 中央管理点入出力一覧表参照	盤改造 箱体再利用
RCP−B1	壁掛	700	1400	250	GHP−2−1 中央管理点入出力一覧表参照	盤改造 箱体再利用
RCP−WT （外構）	壁掛	700	1400	250	水槽監視（1） 中央管理点入出力一覧表参照	盤改造 箱体再利用
中央監視装置盤	自立	700	1950	400	中央管理点入出力一覧表参照	盤改造 箱体再利用
RCP−B2−1	壁掛	700	1400	250	GHP−5−1 中央管理点入出力一覧表参照	新設
RCP−B1−1	壁掛	700	1400	250	中央管理点入出力一覧表参照	新設

クラフトゾーン

自動制御機器表

記号	名称	型番	備考
PEW	圧力発信器	PY7100	
PIC	圧力指示調節器	R36	
MF	モジュトロールモータ	MY3000F	
C	弁リンケージ	Q455F	
V2	単座二方弁	V5063	
SM	嫌煙濃度計	GYY−S2000	
ED	感震器	V−725	
DC	DC24V電源	RYY792	
TR	トランス	AT72−J1	

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法 W	参考寸法 H	参考寸法 D	収納系統名	備考
RCP−B2	自立	700	1950	400	ボイラー廻り制御 バイパス弁制御 中央管理点入出力一覧表参照	盤改造 箱体再利用

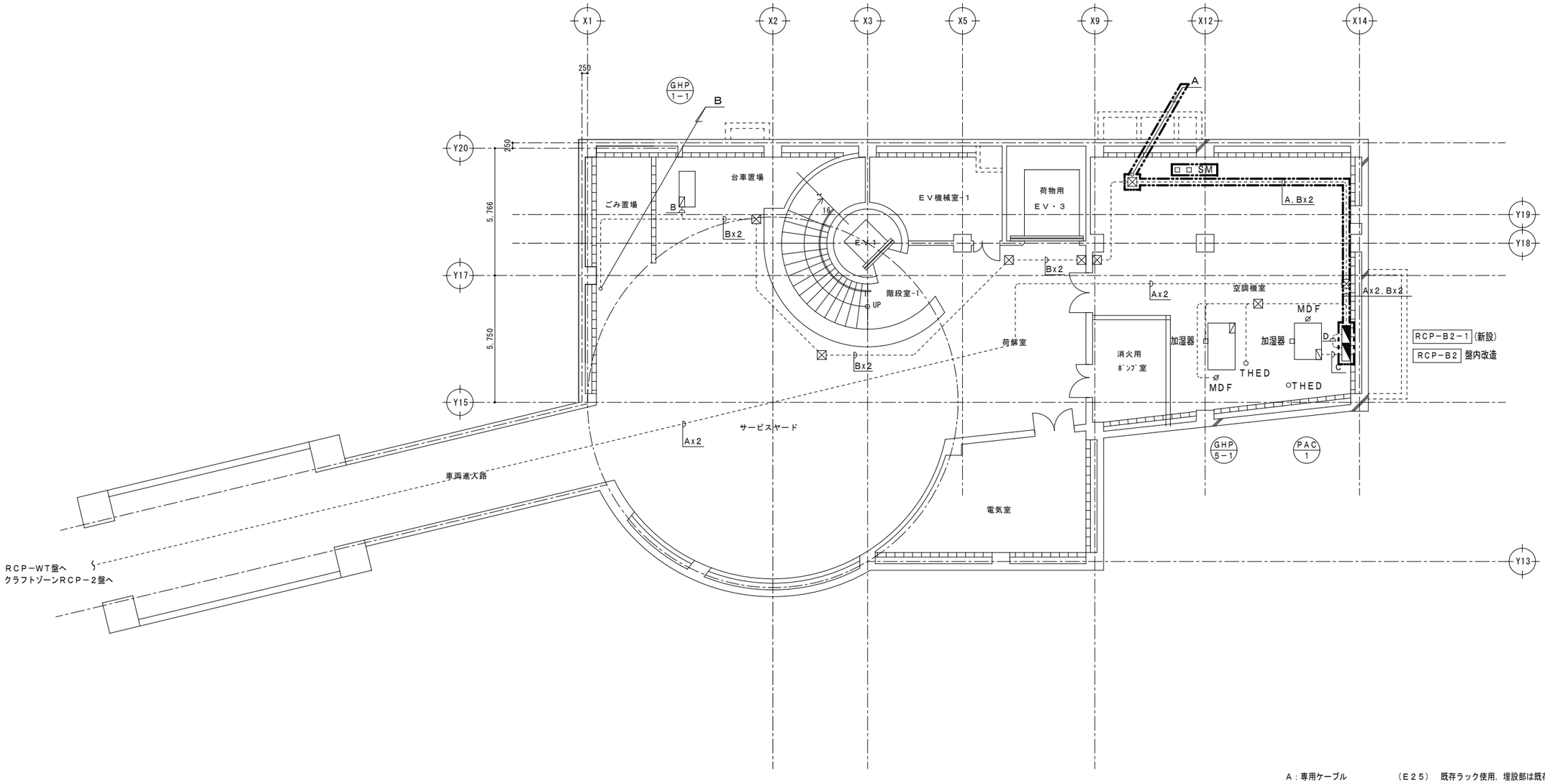
凡例

− //− −	IV2ロ （斜線は本数）
− −∿− −	AC100Vor200V
○○− − −	ファンインターロック
− −⊘− −	シールド付ケーブル
▨	現場盤内取付機器
■	リレーボックス内取付機器
⬅	監視盤との信号受渡し

工期分け工事内容

1期工事 （過去工事）	B1Fｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統改修（GHP−2−1制御更新／RCP−B1盤改造） クラフトゾーン系統改修（ボイラー廻り制御更新／バイパス弁制御更新／RCP−2盤改造） 新中央監視装置設置及び監視取り込み（GHP−2−1系統・RCP−B1盤監視関係・クラフトゾーン系統・RCP−WT盤監視関係） RCP−B1−1盤新設 幹線敷設工事（対象盤：RCP−B2／RCP−B1／RCP−WT／RCP−B2／RCP−B1−1）
2期工事 （過去工事）	2階系統改修（GHP廻り） 新中央監視装置へ監視取り込み（2階監視関係） 中央監視装置盤改造（2階系統監視用小型リモート組み込み）
3期工事 （本工事）	1階系統改修（GHP廻り） 新中央監視装置へ監視取り込み（1階監視関係） 中央監視装置盤改造（1階系統監視用小型リモート組み込み）
将来工事	B1階・B2階共用系統改修（GHP廻り／PAC−1系統） ワークショップ系統改修（GHP−5−1系統） 既存中央監視装置切り離し及び撤去 新中央監視装置を既存中央監視装置盤へ組み込み 中央監視装置盤改造（小型リモート組み込み） 新中央監視装置へ監視取り込み（PAC−1系統・GHP−5−1系統・B1F共用系統・RCP−B2監視関係） RCP−B2−1盤新設 幹線敷設工事（対象盤：RCP−B2−1）

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 自動制御設備　機器表・盤寸法表
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 20 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



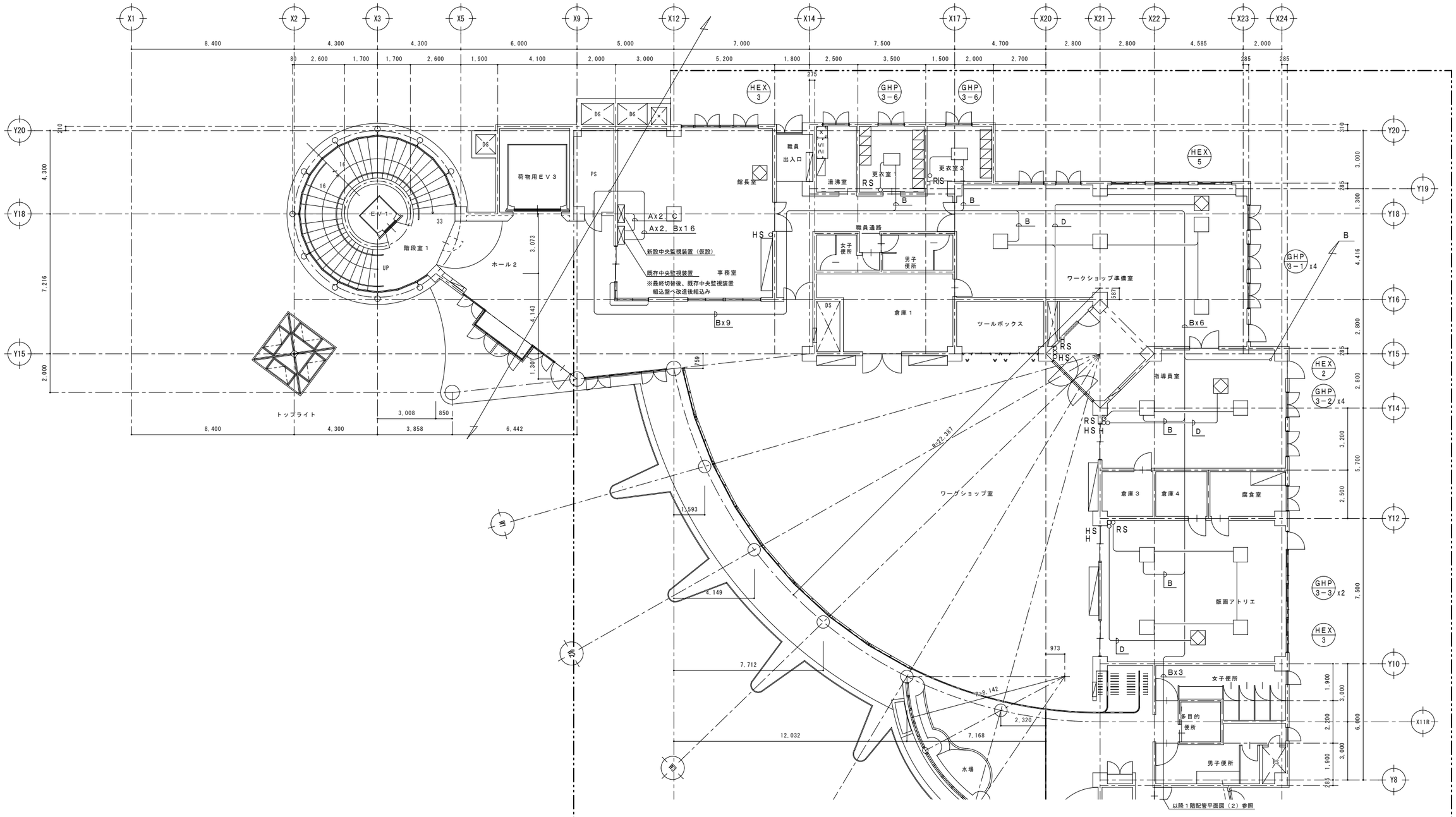
A：専用ケーブル	（E25）	既存ラック使用，埋設部は既存配管を使用
B：CPEV0．9－ 3P	（E25）	必要によりプラボックスを設ける
C：CPEV0．9－10P	（E39）	
D：専用ケーブル		
：CV2ロー3C		

○ THED	：	CVV2ロー7C	（E31）
○ MDF	：	CVV2ロー3C	（E25）
□ 加湿器	：	CVV2ロー2C	（E25）

自動制御設備　地下２階平面図（改修後）　S=1/100

注１）図示 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　自動制御設備　B2階平面図
縮尺	A1:1/100（A3:1/200）
図面番号	全 78　葉ノ内第 21 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



A：専用ケーブル　　ＰＳ内（Ｅ２５）／天井内ころがし

B：ＥＭ－ＣＰＥＥ１．２mm－３Ｐ　ＰＳ内（Ｅ２５）／天井内ころがし

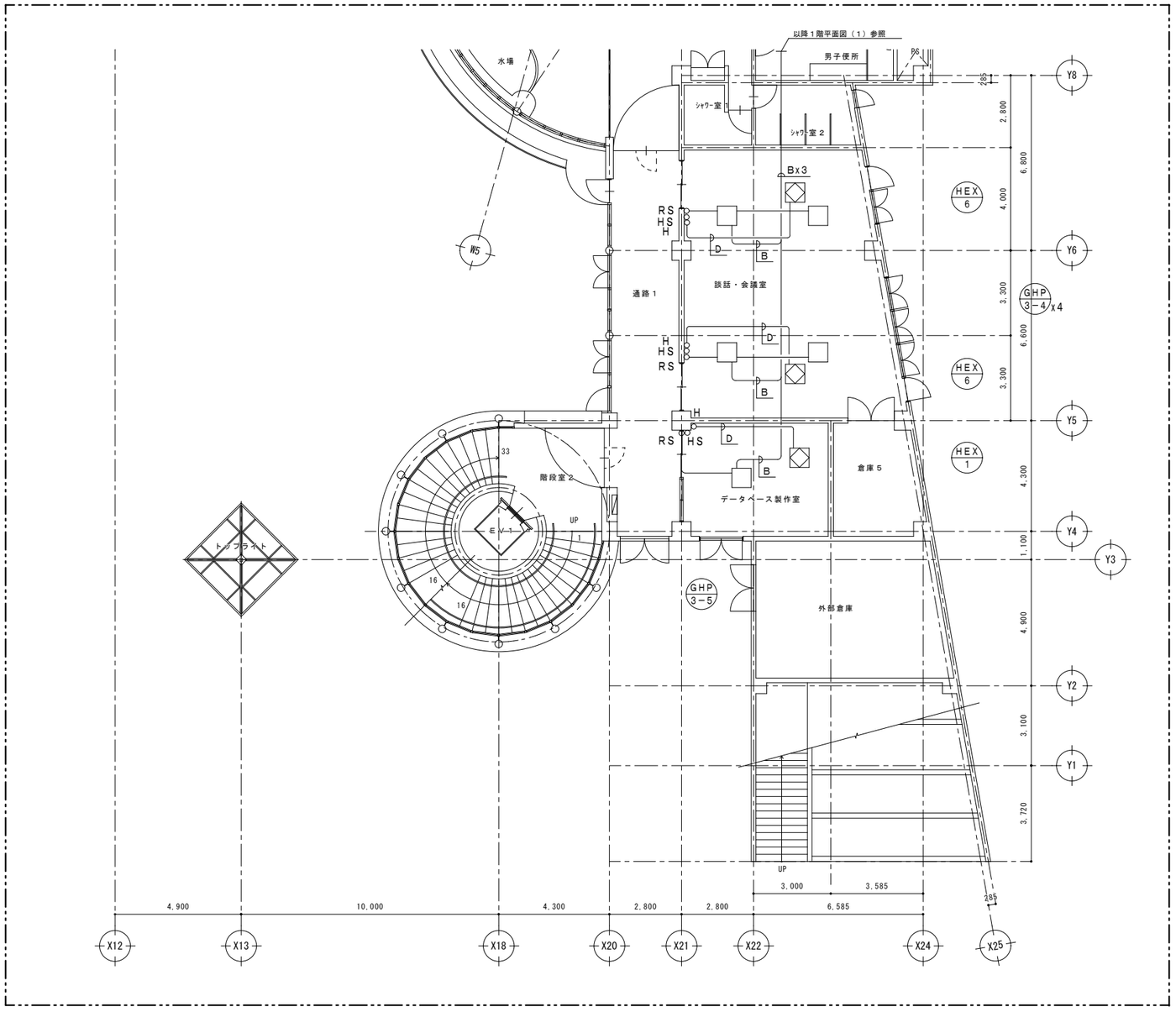
C：ＥＭ－ＣＥ２ロ－３Ｃ　　立下部モール／天井内ころがし

D：ＥＭ－ＣＥＥ１．２５ロ－２Ｃ　　天井内ころがし

改修　自動制御設備　１階平面図（１）　　S=1/100

注１）図示 ┌ - - ┐ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　自動制御設備　1階平面図(1)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 22　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



B：EM－CPEE１．２mm－３P　天井内ころがし

D：EM－CEE１．２５ロ—２C　天井内ころがし

自動制御設備　１階平面図（２）（改修後）　S=1/100

注１）図示 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 改修　自動制御設備　1階平面図(2)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 23 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

撤去空調換気設備機器表

記号	名称	仕様	台数	動力 φ	動力 V	動力 kW(W)	設置場所	備考
RH-1	吸収式冷温水発生機	型　式： ガス焚二重効用吸収式	1	3	200	7.8kVA	B2階 空調機室	三菱重工：MGS-12A
		冷凍能力： 357,000 kcal/h（118RT）						
		暖房能力： 311,000 kcal/h						
		冷温水量： 1,360 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		冷却水量： 2,080 L/min（入口 32 ℃　出口 37.5℃）						
		燃料消費量： 33.1 m³(N)/h（13A）						
		付 属 品： 制御盤、その他標準付属品一式						
		外形寸法： 3,382ᴸ × 1,902ᵂ × 2,250ᴴ（5,500kg）						
CT-1	冷 却 塔	型　式： 吸収式冷凍機用角形開放式（超低騒音型）	1	3	200	3.7	屋外	三菱樹脂：HT-125MQA
		冷却能力： 686,400 kcal/h						
		冷却水量： 2,080 L/min（入口 32 ℃　出口 37.5℃）						
		付 属 品： 制御盤、ﾎﾞｰﾙﾀｯﾌﾟ、梯子、その他標準付属品一式						
		外形寸法： 3,660ᴸ × 2,280ᵂ × 3,595ᴴ（1,030kg）						
PCD-1	冷 却 水 ポ ン プ	型　式： 片吸込渦巻ポンプ	1	3	200	11.0	B2階 空調機室	荏原：125*100FS4JC511
		能　力： 125 φ × 100 φ × 2,080 L/min × 15 m						
		外形寸法： 1,141ᴸ × 518ᵂ × 610ᴴ（236kg）						
PCH-1	冷 温 水 一 次 ポ ン プ	型　式： 片吸込渦巻ポンプ	2	3	200	7.5	B2階 空調機室	荏原：100*80FS4J57.5
		能　力： 100 φ × 80 φ × 1,360 L/min × 16 m						
		外形寸法： 1,027ᴸ × 430ᵂ × 580ᴴ（184kg）						
PCH-2-1	冷 温 水 二 次 ポ ン プ	型　式： 片吸込渦巻ポンプ	1	3	200	3.7	B2階 空調機室	荏原：65*50FS4J53.7
	（Ｂ１Ｆファンコイル系統）	能　力： 65 φ × 50 φ × 400 L/min × 17 m						
		外形寸法： 797ᴸ × 340ᵂ × 455ᴴ（104kg）						
PCH-2-2	冷 温 水 二 次 ポ ン プ	型　式： 片吸込渦巻ポンプ	1	3	200	1.5	B2階 空調機室	荏原：50*40FS4J51.5
	（１Ｆファンコイル系統）	能　力： 50 φ × 40 φ × 230 L/min × 14 m						
PCH-2-3	冷 温 水 二 次 ポ ン プ	型　式： 片吸込渦巻ポンプ	1	3	200	2.2	B2階 空調機室	荏原：65*50FS4J52.2
	（２Ｆファンコイル系統）	能　力： 65 φ × 50 φ × 310 L/min × 17 m						
PCH-2-4	冷 温 水 二 次 ポ ン プ	型　式： 片吸込渦巻ポンプ	1	3	200	1.5	B2階 空調機室	荏原：65*50FS4H51.5
	（ワークショップ系統）	能　力： 65 φ × 50 φ × 420 L/min × 9 m						
HCHS-1	冷 温 水 ヘ ッ ダ ー （ 往 ）	寸　法： 300 φ × 2,600 L（溶融亜鉛メッキ仕上げ）	1				B2階 空調機室	
HCHR-1	冷 温 水 ヘ ッ ダ ー （ 還 ）	寸　法： 300 φ × 2,900 L（溶融亜鉛メッキ仕上げ）	1				B2階 空調機室	
TE-1	膨 張 水 槽	型　式： ＦＲＰ製複合板型	1				屋上	三菱樹脂：EX-200
	（空調機系統）	容　量： 200 Lit						
TE-2	膨 張 水 槽	型　式： 空調用密閉ダイヤフラム式	1				B2階 空調機室	日立金属：ST-25V
	（床暖房系統）	タンク容量： 20 Lit						
		膨張水量： 6 Lit						
BH-1	ガ ス 真 空 式 温 水 機	型　式： 鋼板製　ガス焚真空式温水機（暖房用１回路）	1	1	100	(150)	B2階 空調機室	荏原：65*50FS4H51.5
		定格出力： 63,000 kcal/h						
		温 水 量： 90 L/min（温水出口 60 ℃　温水入口 50 ℃）						
		燃料消費量： 7.8 m³(N)/h（13A）						
		外形寸法： 1,076ᴸ × 637ᵂ × 1,192ᴴ（230kg）						
PH-1	温 水 循 環 ポ ン プ	型　式： ラインポンプ	1	3	200	1.5	B2階 空調機室	荏原：40LPD51.5
		能　力： 40 φ × 90 L/min × 25 m						
ACU-1	ユ ニ ッ ト 形 空 気 調 和 機	型　式： 横形	1				B2階 空調機室	暖冷工業：DHU-500F
		送 風 量： 28,600 m³/h × 95 mmAq		3	200	22.0		冷却入口 DB 27.1 ℃　WB 20.0 ℃
		能　力： 冷房 125,000 kcal/h　暖房 90,000 kcal/h						冷却出口 DB 16.0 ℃　WB 15.0 ℃
		冷温水量： 420 L/min（入口 7 ℃　出口 12 ℃）						加熱入口 DB 19.0 ℃　WB 11.9 ℃
		加 湿 器： 加圧水噴霧式（有効加湿量： 26.4 kg/h）		1	200	(120)		加熱出口 DB 29.5 ℃　WB 16.0 ℃
		フィルター： 高性能フィルターユニット						
		外形寸法： 4,000ᴸ × 2,980ᵂ × 1,880ᴴ（2,960kg）						

注１）図示［　］範囲を本工事とする。

記号	名称	仕様	台数	動力 φ	動力 V	動力 kW(W)	設置場所	備考
PAC-1	空 冷 式 パ ッ ケ ー ジ	型　式： 床置型　恒温・恒湿用パッケージ　圧縮機	1	3	200	2.9	屋外	三菱重工：AUCVUSP1403DCB
	（ 収 蔵 庫 系 統 ）	冷房能力： 12.5 kW　送風機(外)				0.086	B2階 空調機室	
		送風機(内)				0.75		
PAC-2	パッケージ形空気調和機	型　式： 空気熱源ヒートポンプパッケージエアコン						
	(ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統)	能　力： 冷房 50.0 kW　暖房 53.0 kW　送風機(外)	1	1	200	(100*2)	屋外	
	（ 室 外 機 ）	外形寸法： 1,350ᴸ × 600ᵂ × 1,150ᴴ（110kg）						
		室内機形式： 床置型　圧縮機	1	3	200	7.5*2	B1階 空調機械室	
		加 湿 器： 高圧水スプレー式（有効加湿量： 6.4 kg/h）　送風機(内)				3.7		
	（ 室 内 機 ）	外形寸法： 1,850ᴸ × 750ᵂ × 1,870ᴴ（605kg）						
PAC-3	パッケージ形空気調和機	型　式： 空気熱源ヒートポンプパッケージエアコン						
	（音響・調光室系統）	能　力： 冷房 10.0 kW　暖房 11.2 kW　圧縮機	1	3	200	2.5	屋上	
		外形寸法： 950ᴸ × 340ᵂ × 1,250ᴴ（109kg）　送風機(外)				0.06*2		
		室内機形式： 天井埋込ダクト型　送風機(内)	1	1	200	(200)	B1階 ダビングルーム	
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.6 kg/h）						
PAC-4	パッケージ形空気調和機	型　式： 空気熱源ヒートポンプパッケージエアコン						
	（ダビングルーム系統）	能　力： 冷房 10.0 kW　暖房 11.2 kW　圧縮機	1	3	200	2.5	屋上	
		外形寸法： 950ᴸ × 340ᵂ × 1,250ᴴ（109kg）　送風機(外)				0.06*2		
		室内機形式： 天井埋込ダクト型　送風機(内)	1	1	200	(200)	B1階 ダビングルーム	
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 1.8 kg/h）						
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン	型　式： 更新型	1	3	200		屋外	
	（ 室 外 機 ）	能　力： 冷房 22.4 kW　暖房 25.0 kW						
GHP-1-1	ガスヒートポンプエアコン	型　式： 天井カセット型（４方向）	4	1	200		1階 事務室	
	（ 室 内 機 ）	能　力： 冷房　5.6 kW　暖房　6.3 kW						
FCU-1	ファンコイルユニット	型　式： 天井カセット型（２方向）	4	1	100	(52)	1階 版画アトリエ	
		能　力： 冷房 SH 1,200 kcal/h TH 1,590 kcal/h　暖房 1,580 kcal/h						
		冷温水量： 6 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.3 kg/h）						
FCU-2	ファンコイルユニット	型　式： 天井カセット型（２方向）	2	1	100	(91)	1階 指導員室	
		能　力： 冷房 SH 2,180 kcal/h TH 2,810 kcal/h　暖房 2,890 kcal/h						
		冷温水量： 11 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.4 kg/h）						
FCU-3	ファンコイルユニット	型　式： 天井カセット型（２方向）	4	1	100	(121)	B1階 語り聞かせの部屋	
		能　力： 冷房 SH 3,050 kcal/h TH 3,470 kcal/h　暖房 4,560 kcal/h						
		冷温水量： 16 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.3 kg/h）						
FCU-4	ファンコイルユニット	型　式： 天井カセット型（２方向）	16	1	100	(222)	B1階	※８台のみ本工事
		能　力： 冷房 SH 5,030 kcal/h TH 6,340 kcal/h　暖房 5,510 kcal/h					1階	
		冷温水量： 22 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.9 kg/h）						
FCU-5	ファンコイルユニット	型　式： ビルトイン型	14	1	100	(185)	2階 展示室1,2	
		能　力： 冷房 SH 4,320 kcal/h TH 5,060 kcal/h　暖房 3,050 kcal/h						
		冷温水量： 22 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.5 kg/h）						
FCU-6	ファンコイルユニット	型　式： 天井ダクト型	4	1	100	(190)	B1階 エントランスホール	
		能　力： 冷房 SH 3,340 kcal/h TH 4,120 kcal/h　暖房 2,900 kcal/h						
		冷温水量： 16 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.6 kg/h）						
FCU-7	ファンコイルユニット	型　式： 天井ダクト型	4	1	100	(230)	B1階 ギャラリー１	
		能　力： 冷房 SH 5,030 kcal/h TH 6,340 kcal/h　暖房 4,560 kcal/h						
		冷温水量： 22 L/min（冷水出口 7 ℃　冷水入口 12 ℃　温水出口 55 ℃）						
		加 湿 器： 自然蒸発式（有効加湿量： 0.8 kg/h）						

令和７年度	
工 事 名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公 園 名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調換気設備　機器表(1)
縮 尺	A1:N.S (A3:N.S)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 24 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

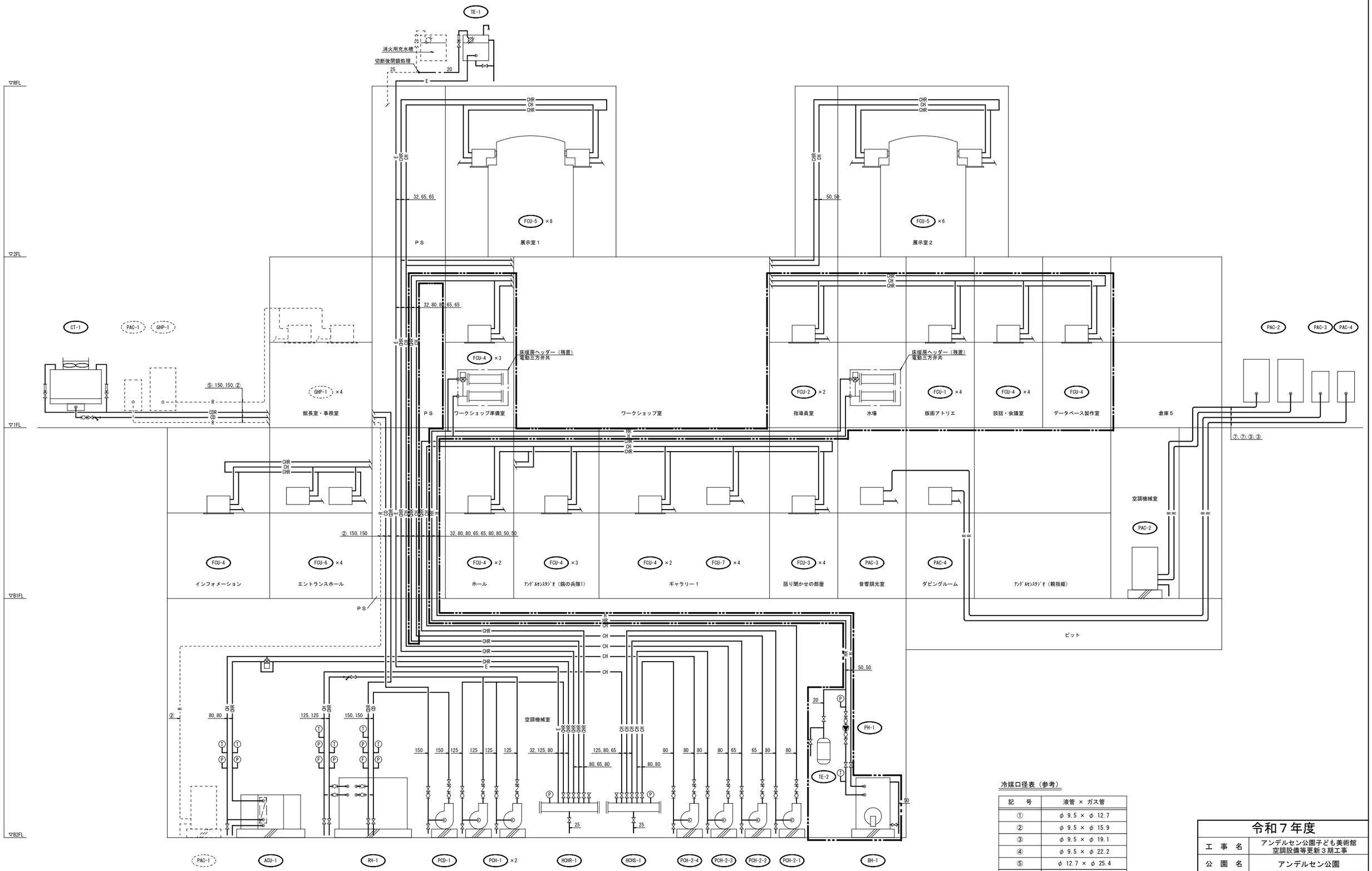
撤去空調換気設備機器表

記号	名称	仕様	台数	動力 φ	動力 V	動力 kW(W)	設置場所	備考
HEX-1	全熱交換形換気扇	型　式：天井埋込形	1	1	100	(112)	1階 データベース制作室	
		能　力：150 φ × 200 m³/h × 60 Pa						
		付属品：防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-2	全熱交換形換気扇	型　式：天井埋込形	2	1	100	(154)	B1階 インフォメーション	※１台のみ本工事
		能　力：150 φ × 300 m³/h × 70 Pa					1階 指導員室	
		付属品：防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-3	全熱交換形換気扇	型　式：天井埋込形	4	1	100	(225)	B1階 ホール、語り聞かせの部屋	※２台のみ本工事
		能　力：200 φ × 400 m³/h × 70 Pa					1階 館長室・事務室	
		付属品：防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ					1階 版画アトリエ	
HEX-4	全熱交換形換気扇	型　式：天井埋込形	3	1	100	(320)	B1階 ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ（鎖の兵隊1）	
		能　力：200 φ × 500 m³/h × 110 Pa					2階 展示室２	
		付属品：防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-5	全熱交換形換気扇	型　式：天井埋込形	1	1	100	(320)	1階 ワークショップ準備室	
		能　力：250 φ × 600 m³/h × 70 Pa						
		付属品：防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-6	全熱交換形換気扇	型　式：天井埋込形	4	1	100	(440)	1階 談話・会議室	※２台のみ本工事
		能　力：250 φ × 700 m³/h × 100 Pa					2階 展示室１	
		付属品：防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
HEX-7	全熱交換形換気扇	型　式：天井埋込形	3	1	100	(490)	B1階 エントランスホール	
		能　力：300 φ × 900 m³/h × 160 Pa					B1階 ギャラリー	
		付属品：防振吊金物、ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ						
FS-1	送風機	型　式：ラインファン	1	3	200	0.9	B2階 空調機械室	
		能　力：#4 × 6,300 m³/h × 110 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FS-2	送風機	型　式：ラインファン	1	3	200	1.5	B2階 空調機械室	
		能　力：#4 × 6,700 m³/h × 360 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FS-3	送風機	型　式：ラインファン	1	3	200	0.4	B2階 ＥＶ機械室１	
		能　力：#3 × 3,800 m³/h × 100 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FS-4	送風機	型　式：消音ボックス付ラインファン	2	3	200	0.27	B1階 ＥＶ機械室２	
		能　力：#3 × 1,000 m³/h × 260 Pa					B1階 空調機械室	
		付属品：防振吊金物						
FS-5	送風機	型　式：ラインファン	1	3	200	0.15	B2階 空調機械室	
		能　力：#3 × 300 m³/h × 60 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FS-6	送風機	型　式：ラインファン	1	3	200	2.4	B2階 空調機械室	
		能　力：#6 × 13,100 m³/h × 270 Pa						
		付属品：防振架台						
FS-7	送風機	型　式：消音ボックス付ラインファン	1	3	200	0.15	B1階 空調機械室	
		能　力：#3 × 400 m³/h × 120 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-1	排風機	型　式：ラインファン	1	3	200	0.9	B2階 空調機械室	
		能　力：#4 × 5,500 m³/h × 160 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-2	排風機	型　式：ラインファン	1	3	200	1.5	B2階 空調機械室	
		能　力：#4 × 6,700 m³/h × 360 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-3	排風機	型　式：ラインファン	1	3	200	0.4	B2階 ＥＶ機械室１	
		能　力：#3 × 3,800 m³/h × 100 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-4	排風機	型　式：消音ボックス付ラインファン	2	3	200	0.27	B1階 ＥＶ機械室２	
		能　力：#3 × 1,000 m³/h × 200 Pa					B1階 空調機械室	
		付属品：防振吊金物						
FE-5	排風機	型　式：ラインファン	1	3	200	0.15	B2階 空調機械室	
		能　力：#3 × 300 m³/h × 50 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-6	排風機	型　式：ラインファン	1	3	200	2.4	B2階 空調機械室	
		能　力：#6 × 13,100 m³/h × 290 Pa						
		付属品：防振架台						
FE-7	排風機	型　式：消音ボックス付ラインファン	1	3	200	0.15	B1階 空調機械室	
		能　力：#3 × 400 m³/h × 110 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-8	排風機	型　式：中間ダクトファン（消音型）	2	1	100	(80)	1,2階 女子便所	※１台のみ本工事
		能　力：#2 × 800 m³/h × 70 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-9	排風機	型　式：中間ダクトファン（消音型）	2	1	100	(80)	1,2階 男子便所	※１台のみ本工事
		能　力：#2 × 900 m³/h × 90 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-10	排風機	型　式：中間ダクトファン（消音型）	2	1	100	(270)	B1階 男子便所、女子便所	
		能　力：#3 × 1,200 m³/h × 190 Pa						
		付属品：防振吊金物						
FE-11	排風機	型　式：消音ボックス付ラインファン	2	1	100	(270)	2階 展示室１	
		能　力：#3 × 2,100 m³/h × 60 Pa					2階 収蔵庫３	
		付属品：防振吊金物						
FE-12	排風機	型　式：中間ダクトファン（消音型）	1	1	100	(25)	B1階 身障者便所	
		能　力：#2 × 400 m³/h × 60 Pa						
		付属品：防振吊金物						
V-1	天井埋込型換気扇	能　力：100 m³/h × 30 Pa	1	1	100	(16)	1階 倉庫３	
		付属品：防振吊金物						
V-2	天井埋込型換気扇	能　力：200 m³/h × 50 Pa	4	1	100	(25)	B1階 倉庫１	※３台のみ本工事
		付属品：防振吊金物					1階 更衣室1,2、ツールボックス	
V-3	天井埋込型換気扇	能　力：300 m³/h × 70 Pa	2	1	100	(42)	1階 倉庫４	
		付属品：防振吊金物					1階 版画アトリエ	
V-4	天井埋込型換気扇	能　力：400 m³/h × 120 Pa	2	1	100	(74)	B1階 ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ（鎖の兵隊2）	
		付属品：防振吊金物					2階 収蔵庫３	
V-5	天井埋込型換気扇	能　力：500 m³/h × 60 Pa	2	1	100	(74)	1階 倉庫１、倉庫５	
		付属品：防振吊金物						
V-6	天井埋込型換気扇	能　力：600 m³/h × 80 Pa	1	1	100	(92)	2階 収蔵庫２	
		付属品：防振吊金物						
V-7	天井埋込型換気扇	能　力：100 m³/h × 20 Pa	1	1	100	(13)	1階 シャワー室１	
		付属品：防振吊金物						
V-8	天井埋込型換気扇	能　力：200 m³/h × 30 Pa	3	1	100	(25)	1階 身障者用便所、シャワー室２	※２台のみ本工事
		付属品：防振吊金物					2階 身障者用便所	
V-9	天井埋込型換気扇	能　力：300 m³/h × 100 Pa	1	1	100	(74)	1階 女子便所	
		付属品：防振吊金物						
V-10	天井埋込型換気扇	能　力：400 m³/h × 80 Pa	1	1	100	(74)	1階 男子便所	
		付属品：防振吊金物						
V-11	壁付換気扇	能　力：300φ × 1,000 m³/h	1	1	100	(33)	1階 外部倉庫	
	（電気式）	付属品：ウェザーカバー（ＳＵＳ）、防虫網（ＳＵＳ）						

注記　１）機器表に記載の機器を撤去する。

　　２）図示▭範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調換気設備　機器表（２）
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 25　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



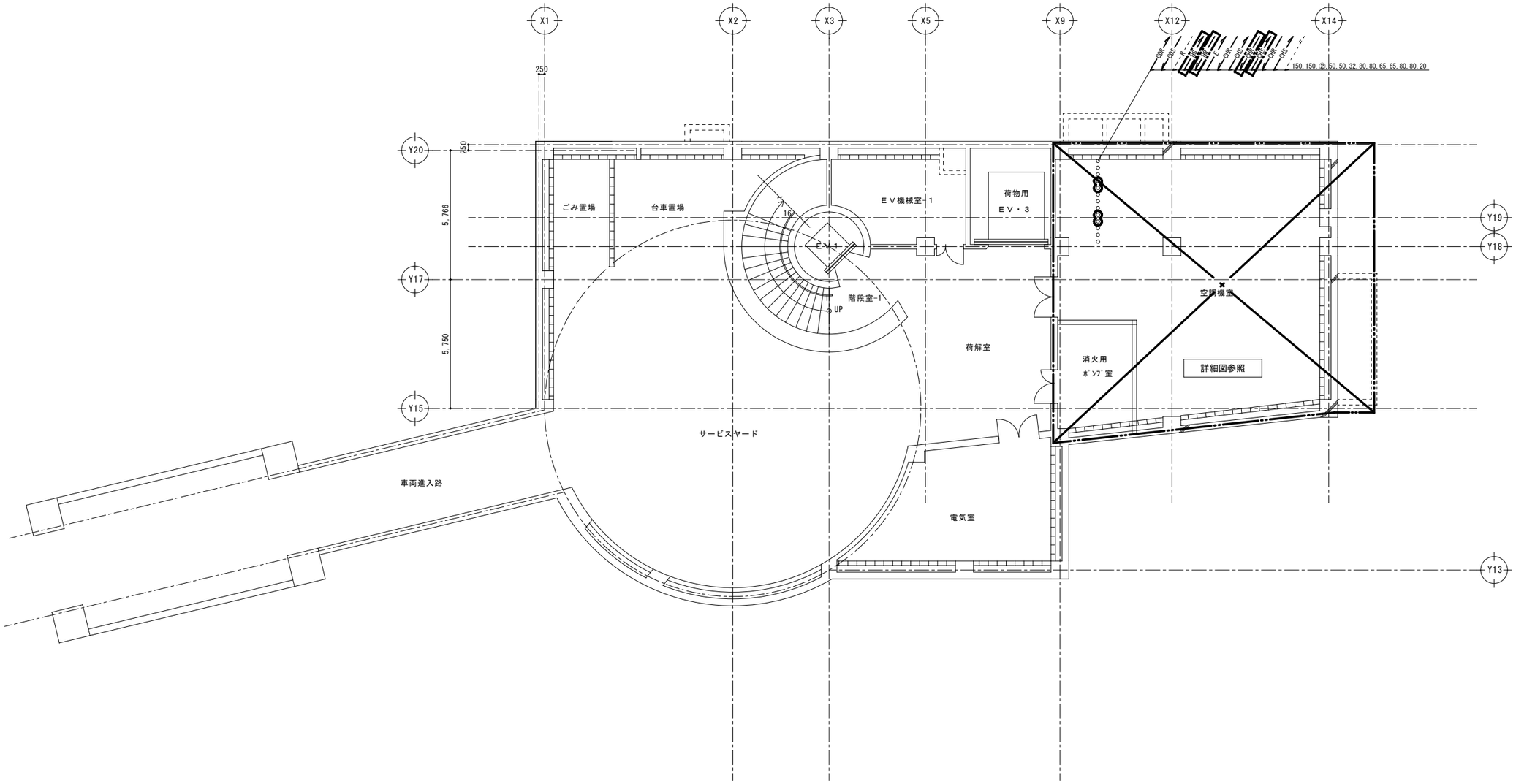
撤去　空調設備　配管系統図　S=N.S

注１）図示機器・配管類の撤去を行う。
２）図示 --------- は残置とする。
３）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

冷媒口径表（参考）

記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1

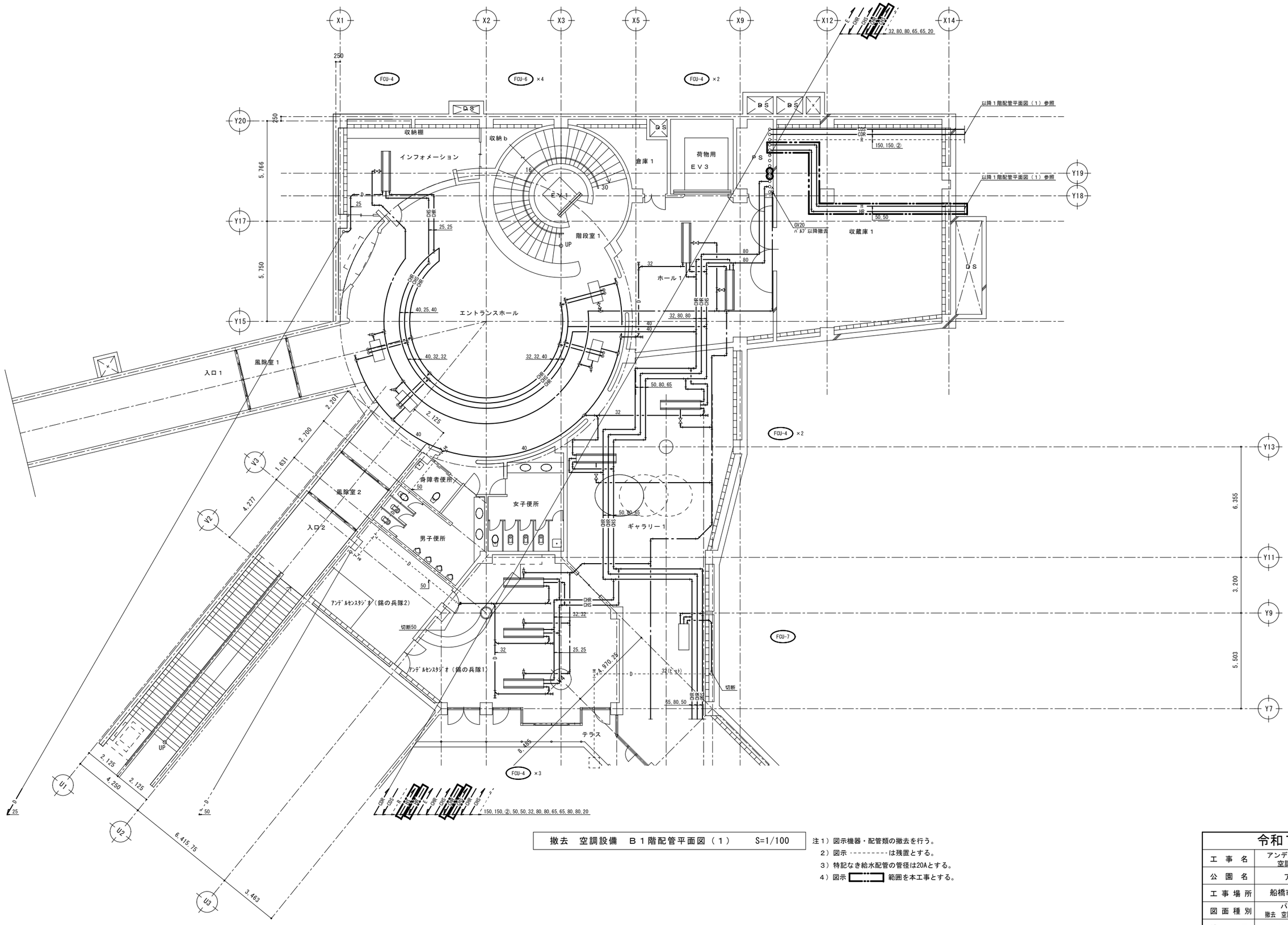
令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調設備　配管系統図
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 26　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



撤去　空調設備　地下２階配管平面図　　S=1/100

注１）図示配管類の撤去を行う。
２）図示 - - - - - - - - は残置とする。
３）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

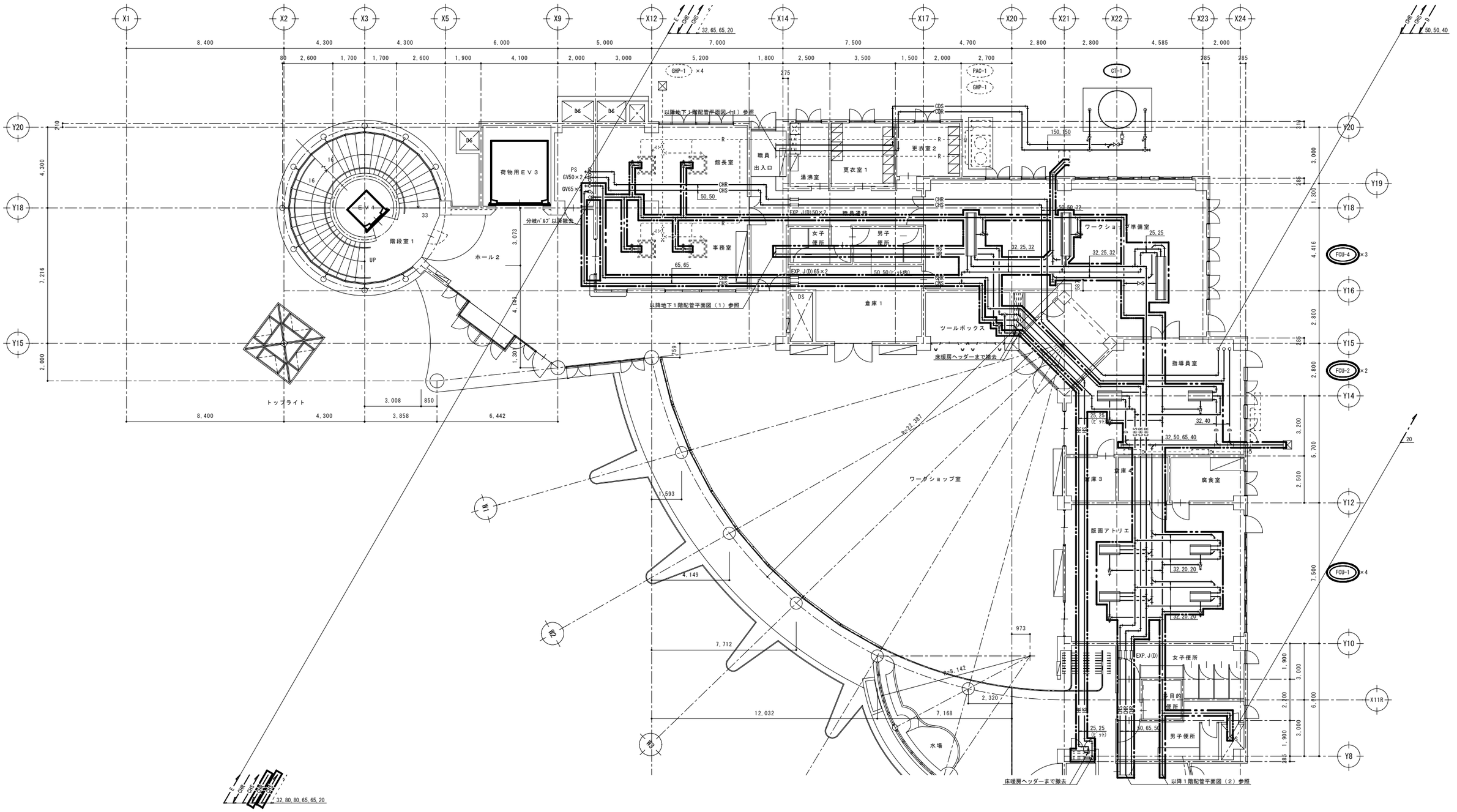
令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調設備　B2階配管平面図
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 27 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



撤去　空調設備　Ｂ１階配管平面図（１）　S=1/100

注１）図示機器・配管類の撤去を行う。
２）図示 ---------- は残置とする。
３）特記なき給水配管の管径は20Aとする。
４）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調設備　B１階配管平面図（１）
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 28 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

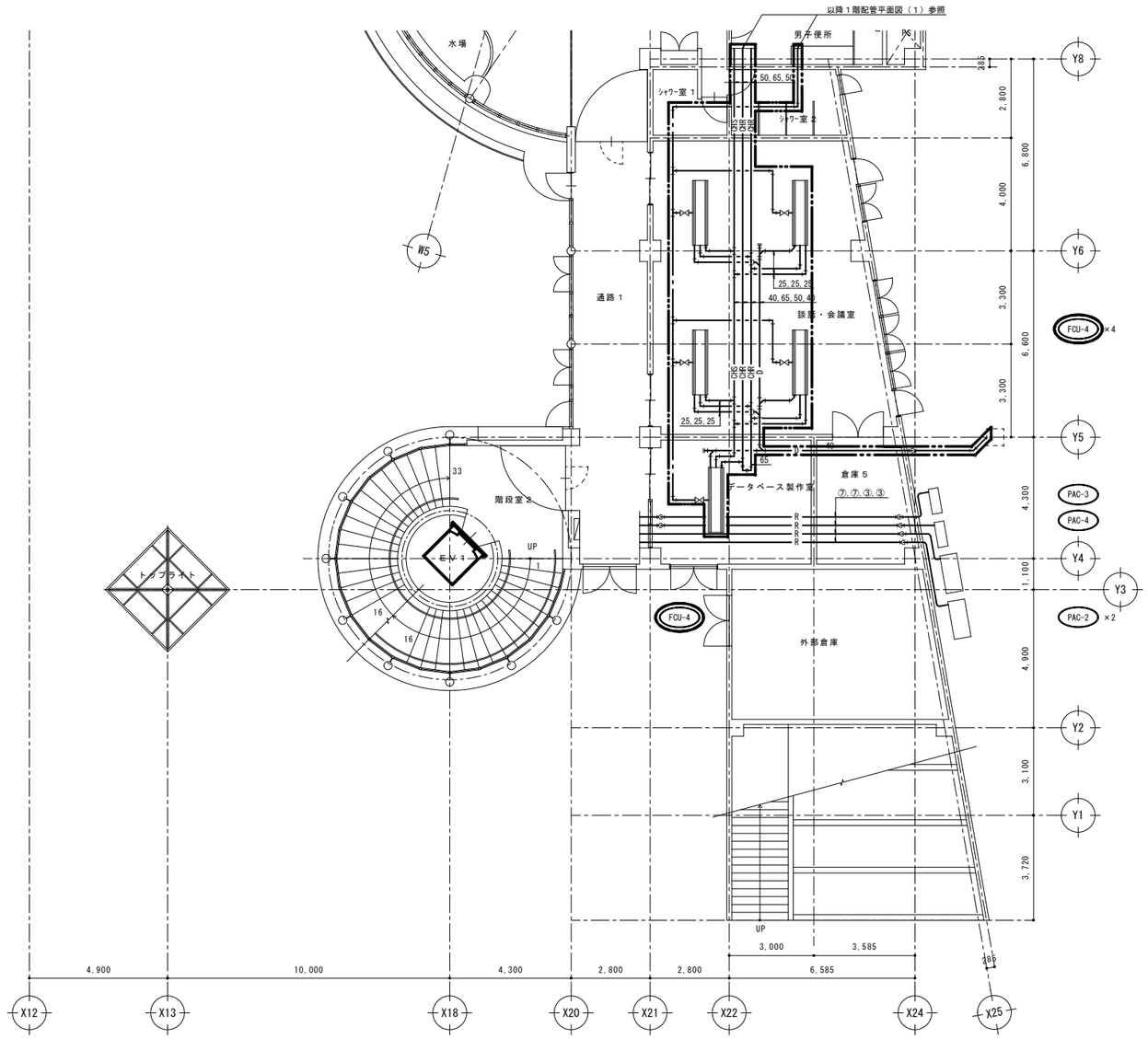


撤去　空調換気設備　１階配管平面図（１）　S=1/100

注１）図示機器・配管類の撤去を行う。
２）図示 ---------- は残置とする。
３）特記なき給水配管の管径は20Aとする。
４）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調設備　１階配管平面図（１）
縮尺	A1:1/100（A3:1/200）
図面番号	全 78　葉ノ内第 29 号

船橋市建設局都市整備部公園緑地課



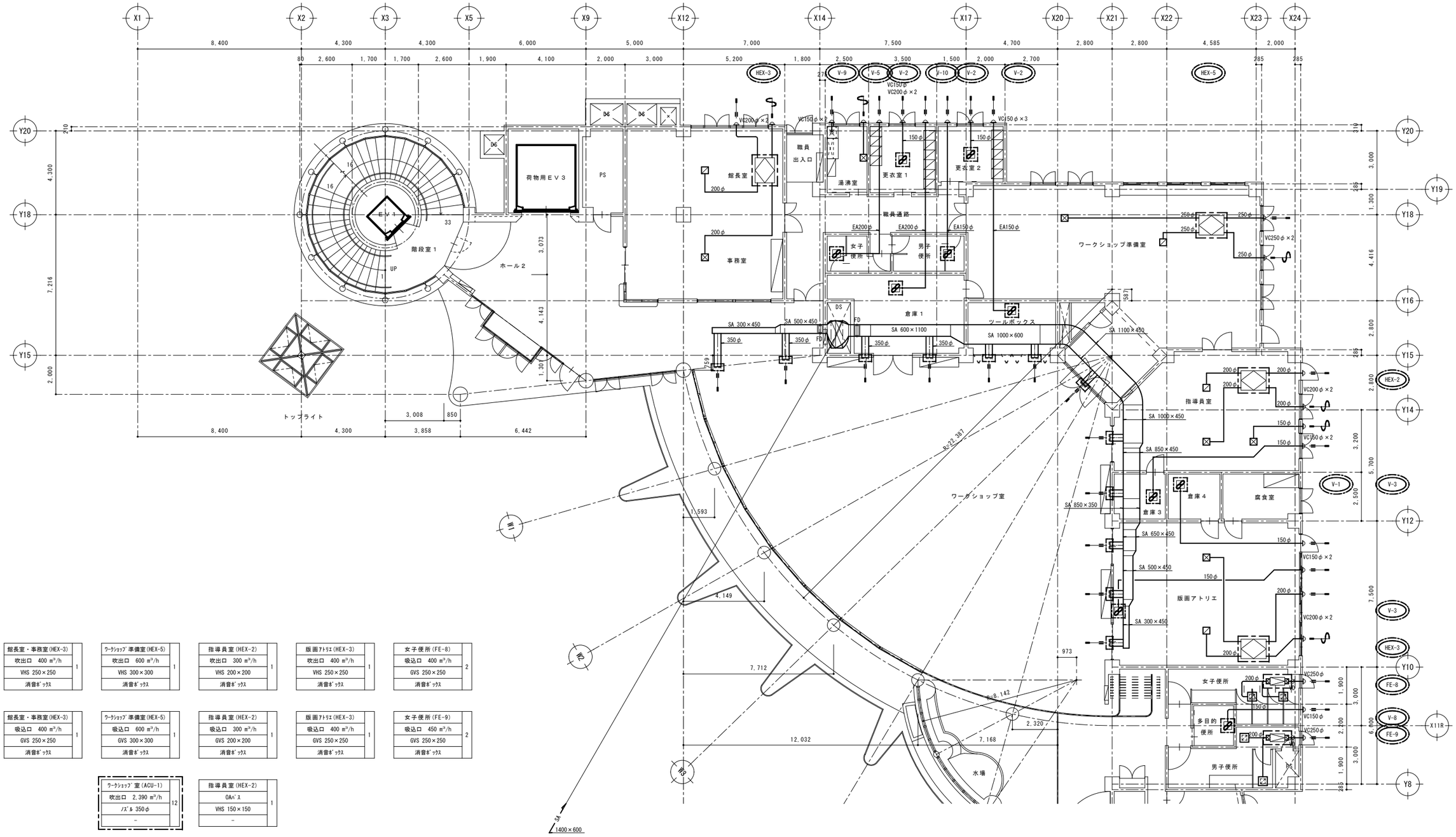
冷媒口径表（参考）

記　号	液管 × ガス管
①	φ 9.5 × φ 12.7
②	φ 9.5 × φ 15.9
③	φ 9.5 × φ 19.1
④	φ 9.5 × φ 22.2
⑤	φ 12.7 × φ 25.4
⑥	φ 12.7 × φ 28.6
⑦	φ 15.9 × φ 28.6
⑧	φ 19.1 × φ 31.8
⑨	φ 19.1 × φ 38.1

撤去　空調設備　１階配管平面図（２）　S=1/100

注１）図示機器・配管類の撤去を行う。
２）特記なき給水配管の管径は20Aとする。
３）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調設備　１階配管平面図（２）
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 30　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



撤去　空調換気設備　１階ダクト平面図（１）　S=1/100

注１）図示 ［　］ で示す機器及び制気口の撤去を行う。
２）図示 ［　］ 範囲を本工事とする。

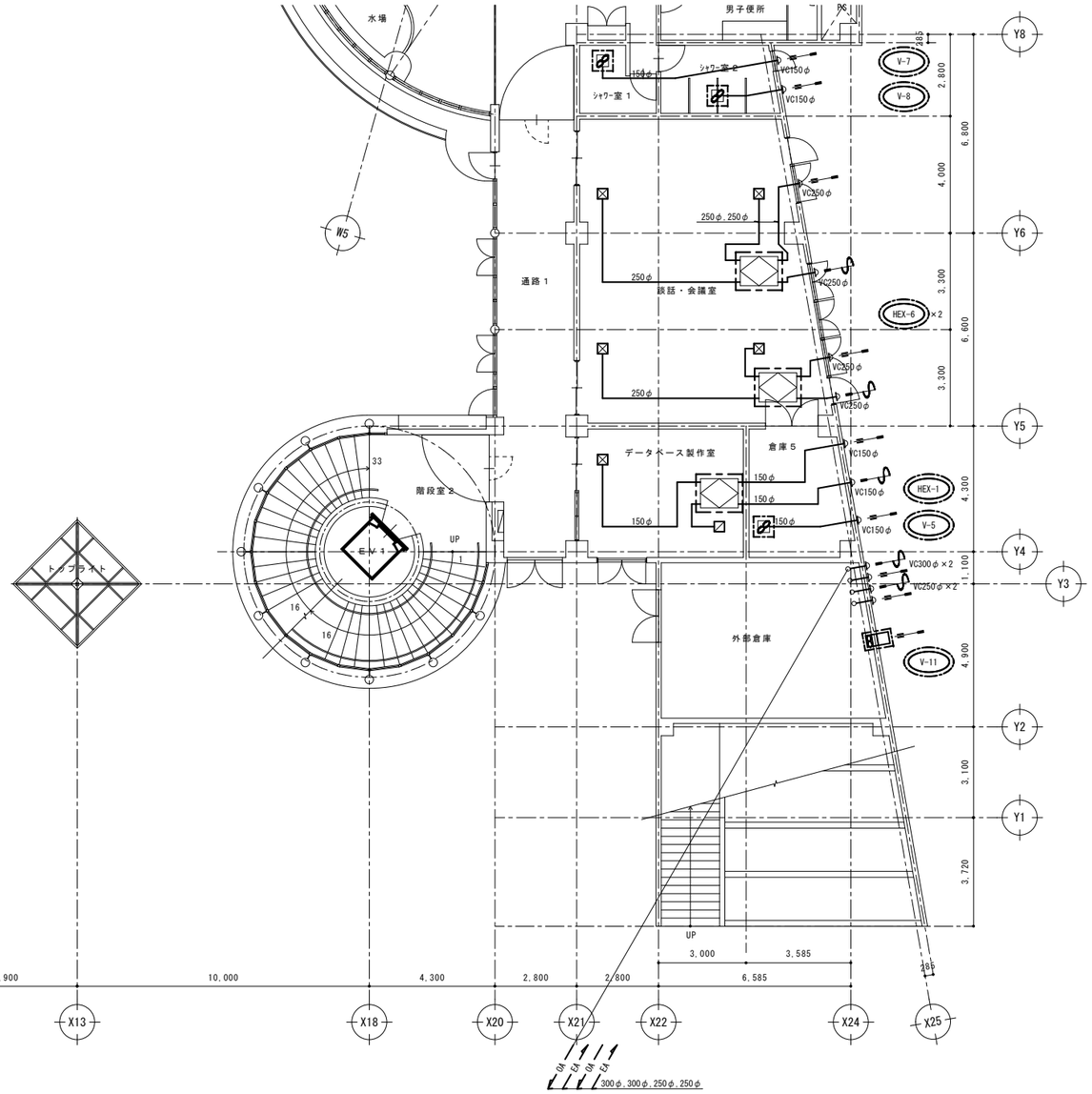
令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調換気設備　１階ダクト平面図（１）
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 31 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

談話・会議室(HEX-6)	
吹出口　700 m³/h	2
VHS 300×300	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ製作室(HEX-1)	
吹出口　200 m³/h	1
VHS 200×200	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

談話・会議室(HEX-6)	
吸込口　700 m³/h	2
GVS 300×300	
消音ﾎﾞｯｸｽ	

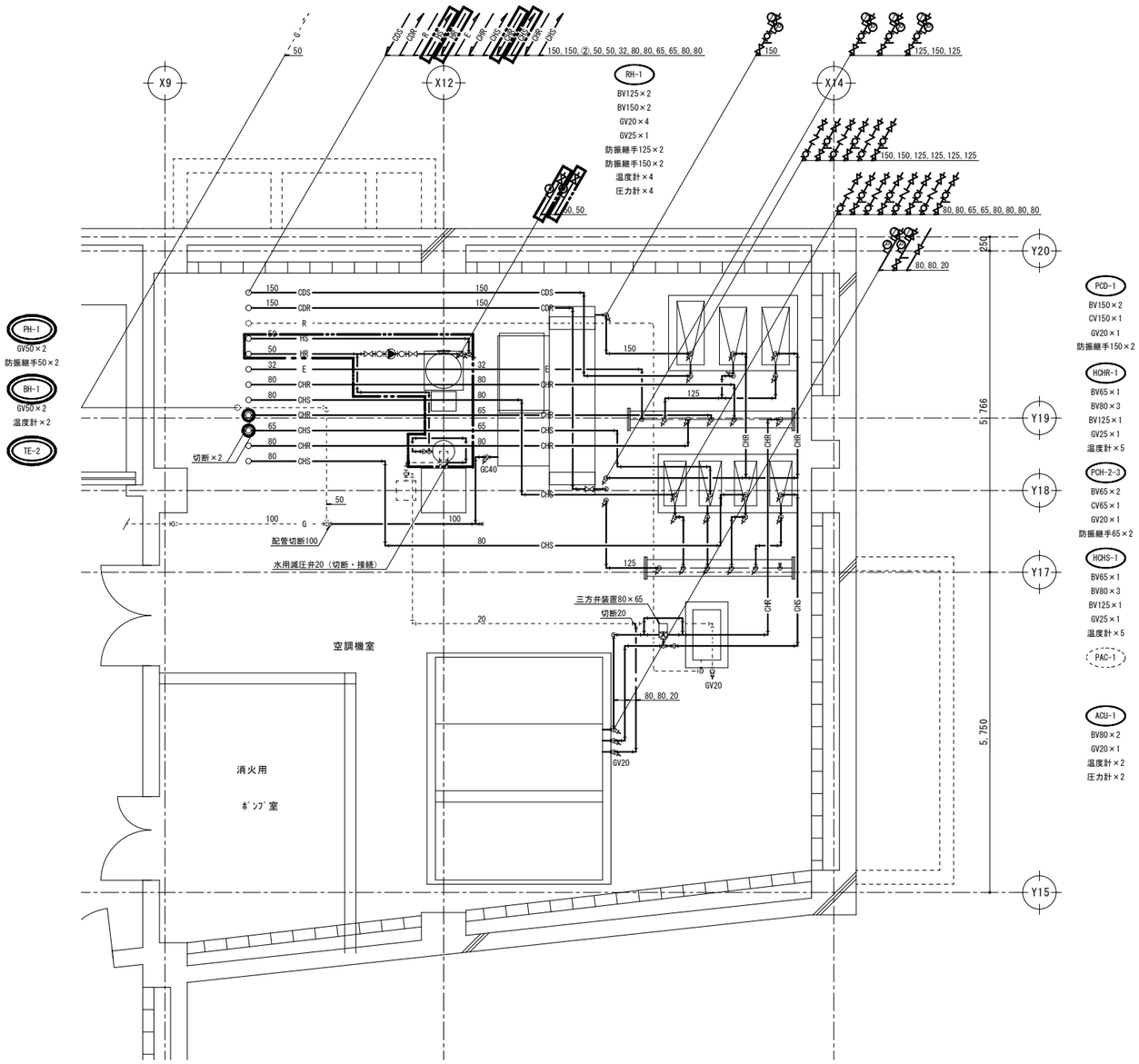
ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ製作室(HEX-1)	
吸込口　200 m³/h	1
GVS 200×200	
消音ﾎﾞｯｸｽ	



撤去　空調換気設備　１階ダクト平面図（２）　S=1/100

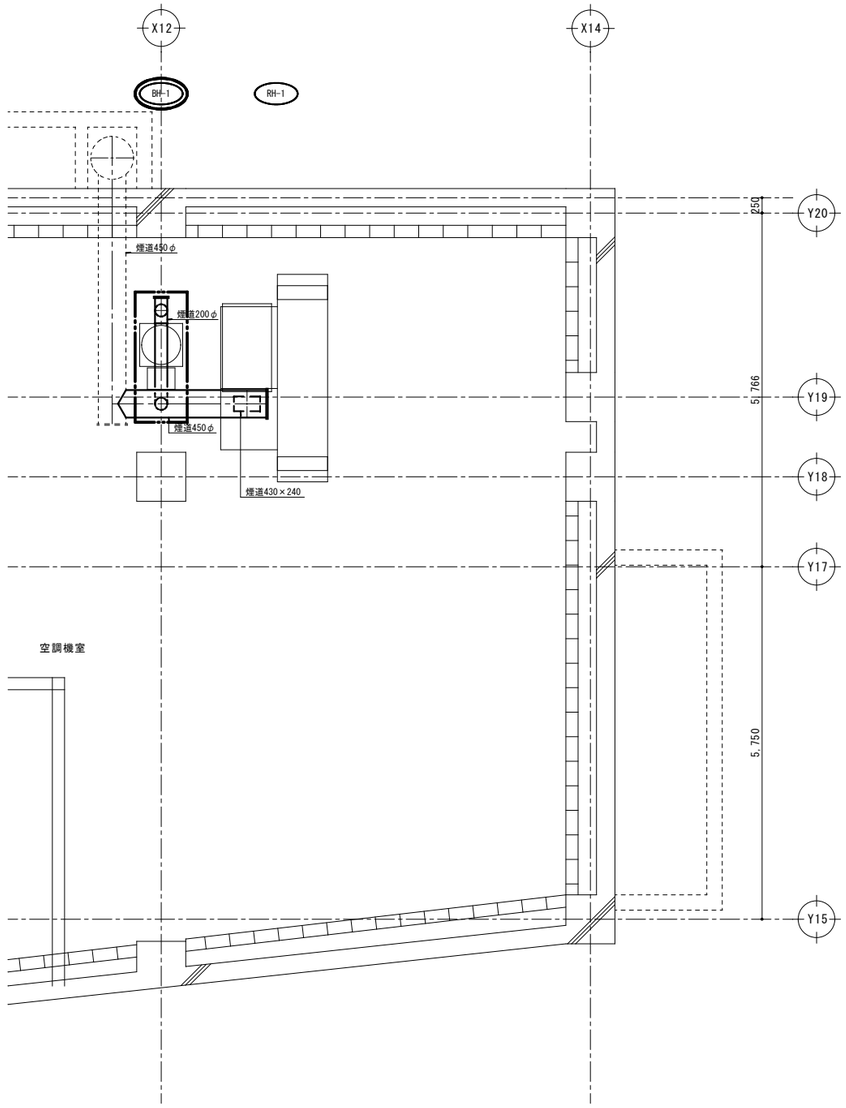
注１）図示 ［　　］ で示す機器の撤去を行う。
２）図示 ［　　］ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調換気設備　１階ダクト平面図（２）
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 32　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



撤去　Ｂ２階空調機械室配管詳細図　S=1/50

注１）図示機器・配管類の撤去を行う。
２）図示 - - - - - - - - - は残置とする。
３）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

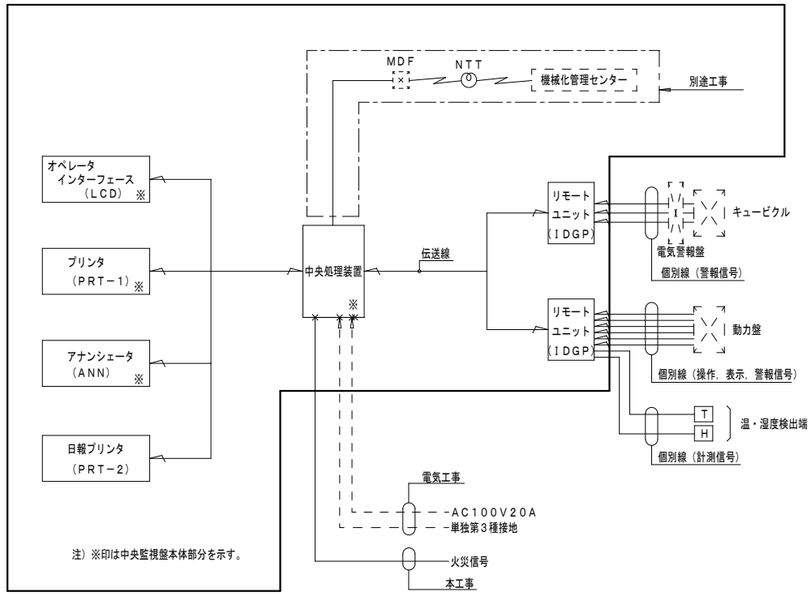


撤去　Ｂ２階空調機械室煙道詳細図　S=1/50

注１）図示煙道の撤去を行う。
２）図示 - - - - - - - - - は残置とする。
３）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 撤去　空調設備　機械室配管詳細図
縮　　尺	A1:1/50 (A3:1/100)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 33　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

システム構成図

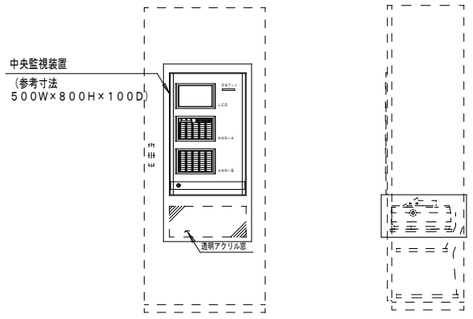


□：撤去更新範囲を示す。

※最終切替までは、新監視装置と併用して運用し都度データ処理を行う。

既存メーカー：アズビル（株）

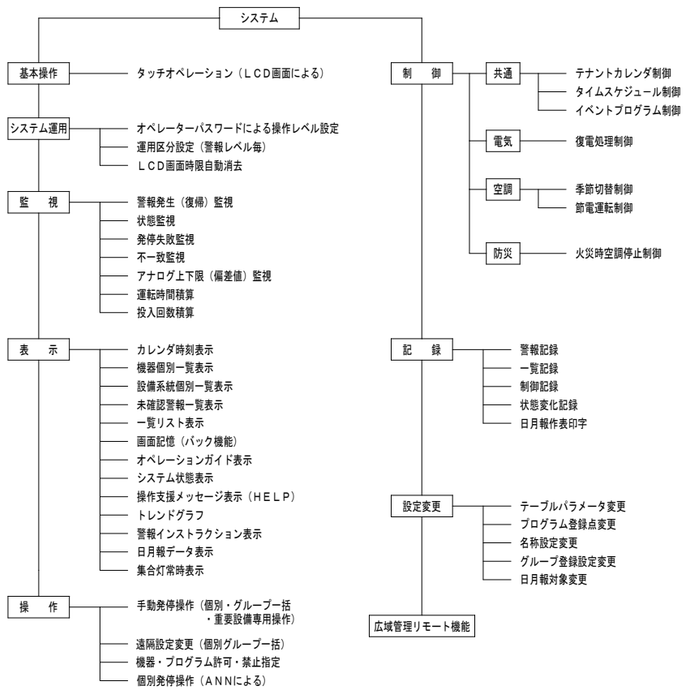
中央監視盤　参考姿図　S＝1／20



□：撤去更新範囲を示す。

※最終切替後は既存中央監視装置を撤去の上、新中央監視装置を盤面加工の上で組込みを行う。

システム機能概要



※最終切替後は既存中央監視装置を撤去の上、新中央監視装置を盤面加工の上で組込みを行う。

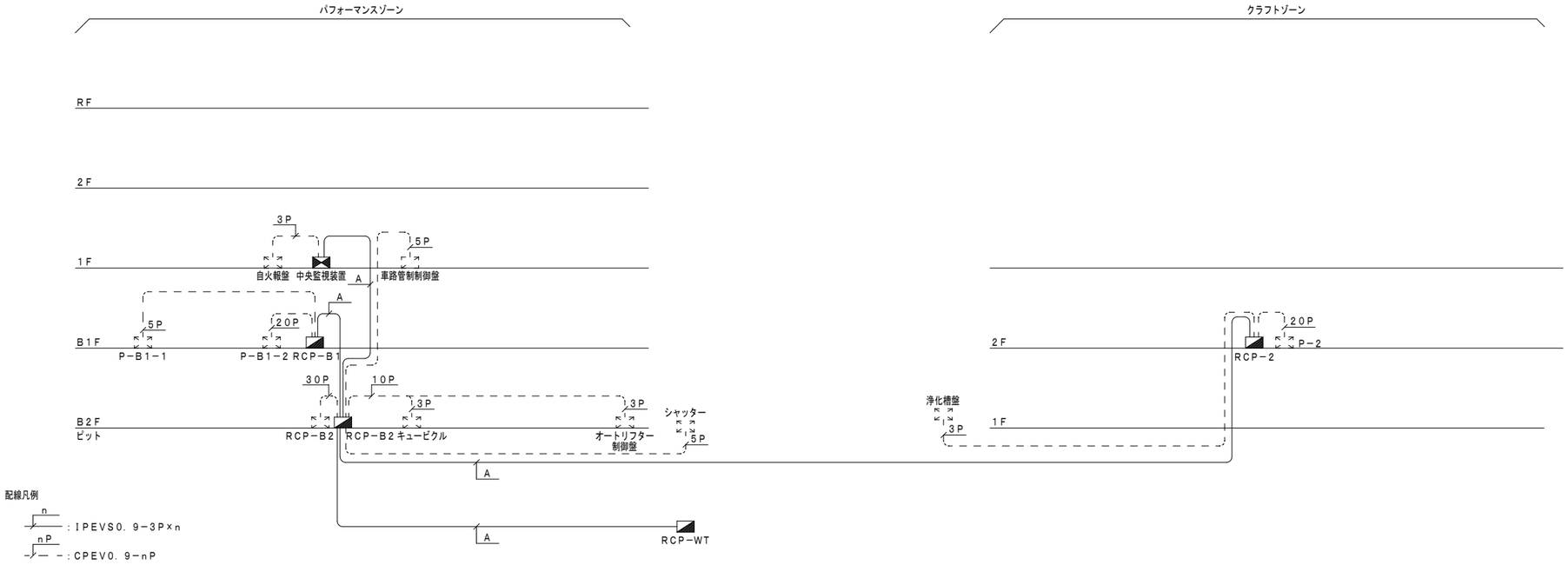
中央監視機器機能表

機器名称	システム機能	機器仕様
中央処理装置	1）マイクロプロセッサで構成し、機能はソフトウェアで処理する。 2）周辺機器の操作制御を行なう。 3）警報検出及び警報の正常復帰検出 4）状態変化の検出 5）スケジュール制御 6）イベントプログラム制御 7）テナントカレンダ制御（５０カレンダ） 8）火災プログラム（火災時指定動力の停止） 9）復電プログラム（復電時指定動力の順序起動） １０）アナログ値（温度など）の計測 １１）アナログ値の上下限警報監視 １２）節電運転制御 １３）運転時間積算／投入回数積算監視表示 １４）自己点検（システムチェツク，発停エラーチェック）	管理点数　：１２０点（最大：２００点） 主記憶装置　：ＩＣメモリ 接地条件　：第３種単独接地 供給電源　：ＡＣ１００Ｖ，５０Ｈｚ 最大２００ＶＡ 電源断保護　：停電後１００時間のデータメモリ 及びカレンダ動作 周囲条件　：５～４０℃，２０～８０％ＲＨ システム入出力：システム出力（システム異常，重故障，軽故障， 紙切れ，火災確認） システム入力（給電状態，火災） 警報ブザー　：電子ブザー
オペレータ インターフェイス （ＬＣＤ）	1）タッチパネルによりデータ の表示，操作，警報確認を行なう。 （システム運 用として、パスワードによる操作制限，運用区分設定機能を有する） 2）各制御プログラムの変更を行なう。 3）各管理点の情報としてアドレス，名称，単位，状態を表示する。 （ハイアラーキ画面，グループ画面，プログラム画面，一覧画面，（６点／画面） アラート画面を構成できるものとする。） 4）画面には年月日，曜日，時刻を必要時表示する。 5）画面にはオペレーションガイド表示を行なう。 6）操作支援メッセージ表示 7）トレンドグラフ／バーグラフ表示（最大２点／画面） 8）警報インストラクション表示（手動） 9）日月報データ表示（手動） 10）広域管理（リモート）機能	形　　式　：バックライト付大型 ＬＣＤ，１０”相当 表示文字　：英，数，カナ，漢字，記号，絵文字（アイコン） 表示色　：白黒（黒文字／ 白地） 操作部　：表示部上全面タッチパネル ：ＬＣＤ自動消去 一覧画面　：状態一覧（１４画面），運転中機器一覧 設定値一蘭（１画面），停止中機器一覧 計測一覧（２画面），警報一覧 上記一覧は手動操作にてＰＲＴ－１への印字が可能とする トレンドグラフ：６画面，データ収集周期は１~６０分（グラフ毎に指定） 収集データ：１２０データ／１対象点
プリンタ （ＰＲＴ－1）	1）システムと連動し、異常発生時（警報，状態変化， アナログ上下限）に、そのポイントの名称，データ，時刻を印字する。 2）自動及び手動による各種操作に対して名称，データ（ディジタル点， アナログ点），時刻を印字する。 （制御，状態変化，一覧，）	形　　式　：感熱式ドットマトリクス 印字文字種　：英，数，カナ，漢字 印字色　：黒 印字数　：ＡＮＫ　４０字／ 行
日報用 プリンタ （ＰＲＴ－2）	1）指定時刻に日報を印字する。（フォーマット指定最大５頁，１２点／頁） 2）指定日時に月報を印字する。	形　　式　：インパクトドットマトリクス 印字文字種　：英，数，カナ，漢字 印字色　：黒，赤 印字数　：ＡＮＫ　１３６字／ 行 電源　：ＡＣ１００Ｖ±１０％，５０Ｈｚ，２７０ＶＡ
アナンシェータ （ＡＮＮ－Ａ） （ＡＮＮ－Ｂ）	1）簡易表示部に時刻又は、計測値，最終ＯＦＦ時刻等を表示する。 （ＡＮＮ－Ａのみ） 2）発停点，状態点，警報点の状態を常時表示する。（ＡＮＮ－Ａ，－Ｂ） 3）発停点の個別手動発停操作を行なう。 （ＡＮＮ－Ａ，－ＢのポイントをＡＮＮ－Ａの共通操作部よりコマンドする） 4）最終ＯＦＦ時刻の変更操作を行う。	簡易表示部　：７セグメント，６桁（ＡＮＮ－Ａのみ） 操作部　：起動／ 停止，最終ＯＦＦ時刻変更 ランプテスト等（ＡＮＮ－Ａのみ） 常時表示灯　：ＬＥＤ，２灯（赤，緑）／点 ＡＮＮ－Ａ：４０点 ＡＮＮ－Ｂ：５０点
リモート ユニット （ＩＤＧＰ）	1）現場に設置して中央制御装置とデータ伝送を行なう。 2）リモートユニットと各入出力点数は個別配線とし、動力盤との信号取り合い は補助リレー等で電気的に分離して入出力点の事故から影響を受けないよう にする。	入出力点数　：中央管理点入出力一覧表参照 電源　：ＡＣ２００Ｖ±１０％　５０Ｈｚ
伝送線	1）リモートユニットと中央監視盤間のデータ伝送をする。	ＩＰＥＶ－Ｓ　０．９ｘ３Ｐ　相当
機械化管理機能 （別途工事）	1）管理データを電話回線を用いて機械化管理センターへ相互伝送 できるものとする。	使用回線　：ＮＴＴ　一般加入電話回線／専用電話回線

※最終切替後は既存中央監視装置を撤去の上、新中央監視装置を盤面加工の上で組込みを行う。

令和７年度	
工　事　名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 場 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	パフォーマンスゾーン 撤去　中央監視システム図(1)
縮　　尺	A1:1/20 (A3:1/40)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 34　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

幹線系統図



A：中央監視装置の最終切替まで新・旧システムを同時使用の為、アズビル専用回線幹線の布設を行う。

DDC・DPG入出力回路図

取合回路信号	A	B	C	D	E	F	G	H	I
入出力項目	発停，状態（・故障）	発停，状態（ON—OFF—AUTO制御）	切換出力	状態，故障または警報監視	状態及び故障監視	アナログ入力	アナログ入力	アナログ入力	アナログ出力
	パルス接点出力　接点入力	連続接点出力　接点入力	パルス接点出力　接点入力	接点入力	接点入力	温度入力	電圧入力	電流入力	電流出力
リモートユニット（リモート盤）	ON　OFF　CR　CR　DC24V　COM IN　IN	AUTO　ON　OFF　CR　CR　DC 24V　COM IN　IN	ON　OFF　CR　CR　DC 24V　COM IN	COM IN	COM IN　IN				
接続ケーブル（外部配線）	CPEV0．9φ又はIV0．9□以上	CPEV0．9φ又はIV0．9□以上	CPEV0．9φ又はIV0．9□以上	CPEV0．9φ又はIV0．9□以上	CPEV0．9φ又はIV0．9□以上	IV 1．25□以上	CVVS 1．25□以上	CVVS 1．25□以上	CVVS 1．25□以上
現場側機器 受変電盤 動力盤 分電盤 機側盤 自動盤 他	CX　TX　52X　51X　51　手元　遠方　OFF　TX　52　ON　CX　52X　52　52X　51X　操作回路	CX　51X　52X　自動・連動用接点　51　手元　遠方／自動　OFF　CX　52　ON　52　52X　51X　操作回路	SC　KP　RC　KP　（例）夏／冬　遠方／手元　夜／昼　KP	（例）状態接点　運転状態　52X　（例）警報接点　トリップ　51X　液面上下限	52　51X	Pt100Ω　測温体	変換器　発信器　0～100mV	変換器　発信器　4～20mA	4～20mA
備考	1．CX，TX（DC24Vリレー）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。 2．接点入力は，無電圧a接点連続のこと。 3．破線部は故障を示す。	1．CX（DC24Vリレー）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。 2．接点入力及び自動・連動用接点は，無電圧a接点連続のこと。	1．KP（DC24Vキープリレー）には，スパークキラー（ダイオード等）を取付のこと。 2．接点入力は，無電圧a接点連続のこと。	1．無電圧a接点連続入力	1．無電圧a接点連続入力	1．入力信号　Pt100Ω，JPt100Ω 2．回路電圧，電流　DC1V，1mA 3．計測レンジ　0～50℃，−50～100℃　−20～80℃，50～200℃	1．入力信号　DC0～100mV 2．入力インピーダンス　1MΩ以上 3．アイソレーションなし	1．入力信号　DC4～20mA 2．入力インピーダンス　300Ω 3．アイソレーションなし	1．出力信号　DC4～20mA 2．出力電圧DC24V 3．最大負荷抵抗　600Ω 4．アイソレーション付

※最終切替後は既存中央監視装置を撤去の上、新中央監視装置を盤面加工の上で組込みを行う。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン　撤去　中央監視システム図(2)
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 35 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

中央管理点入出力一覧表

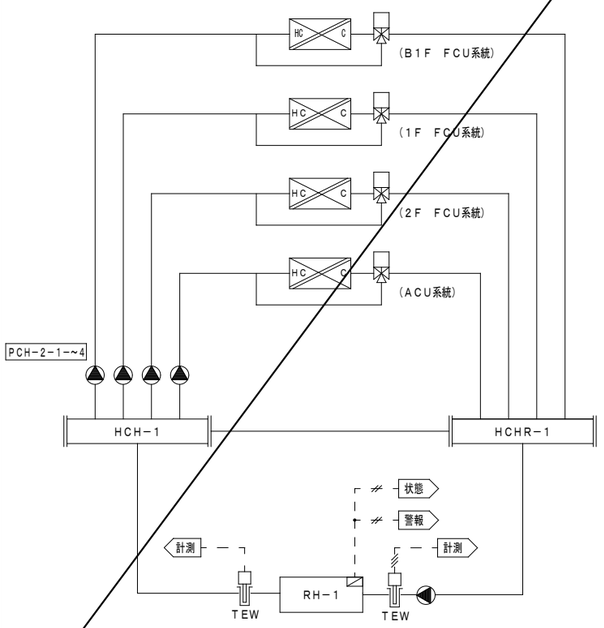
記号	名称	リモート盤	動力盤	取合回路記号	操作 設定	操作 切換	操作 発停	表示 状態	表示 COS故障	表示 トリップ故障	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他		計量	備考
	［パフォーマンスゾーン］																
	（受変電設備）																
	キュービクル　一括警報	RCP－B2	キュービクル	D							○						
	（熱源設備）																
RH－1	ガス吸収式冷温水発生器	RCP－B2	機側盤	E				○			○						手元発停
	RH－1　出入口温度	〃	本体	F×2								○×2					
BH－1	温水ボイラー	RCP－B2	機側盤	E				○			○						手元発停
	煙煙濃度監視	RCP－B2	本体	H										○			
CT－1	冷却塔ファン	RCP－B2	P－B2	E				○		○							RH－1と連動（電気工事）
	冷却水　往還温度	〃	本体	F×2								○×2					
PCH－1	冷温水1次ポンプ	RCP－B2	P－B2	E				○		○							RH－1と連動（電気工事）
PCH－2－1	冷温水2次ポンプ（B1F　FCU系統）	〃	〃	〃				○		○							手元発停
PCH－2－2	〃　（1F　FCU系統）	〃	〃	〃				○		○							〃
PCH－2－3	〃　（2F　FCU系統）	〃	〃	〃				○		○							〃
PCH－2－4	〃　（ワークショップ系統）	〃	〃	〃				○		○							ACU－1と連動（電気工事）
PCD－1	冷却水ポンプ	〃	〃	〃				○		○							RH－1と連動（電気工事）
PH－1	温水循環ポンプ	〃	〃	〃				○		○							BH－1と連動（電気工事）
TE－1	膨張タンク	RCP－B1	本体	D×2							○×2						
	（空調設備）																
ACU－1	ワークショップ系統　空調機　送風機	RCP－B2	P－B2	A				○	○	○							
	冷暖切換	〃	――	C		○			○								
	フィルター目詰り	〃	本体	D							○						
	還気温度	〃	――	I+F	○							○					
	還気湿度	〃	――	I+G	○								○				
PAC－1	収蔵庫系統　パッケージ	RCP－B2	P－B2	A				○	○	○							
	室内温度	〃	――	F								○					
	室内湿度	〃	――	G									○				
PAC－2	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統　パッケージ	RCP－B1	P－B1－2	A				○	○	○							
	冷暖切換	〃	――	C		○			○								
	還気温度	〃	――	I+F	○							○					
	還気湿度	〃	――	I+G	○								○				
PAC－3	音響調光室　パッケージ	RCP－B1	本体	B				○	○		○						
PAC－4	ダビングルーム　パッケージ	RCP－B1	本体	B				○	○		○						
	（換気設備）																
FS－1	空調機械室系統　送風機	RCP－B2	P－B2	E					○		○						BH－1, RH－1と連動（電気工事）
FE－1	〃　排風機	〃	〃	〃					○		○						〃
FS－2	電気室系統　送風機	〃	〃	〃					○		○						サーモ発停，FE－2と連動（電気工事）
FE－2	〃　排風機	〃	〃	〃					○		○						〃
FS－3	EV機械室1系統　送風機	〃	〃	〃					○		○						〃　FE－3と連動（電気工事）
FE－3	〃　排風機	〃	〃	〃					○		○						〃
FS－4	EV機械室2系統　送風機	RCP－B1	P－B1－2	〃					○		○						〃　FE－4と連動（電気工事）
FE－4	〃　排風機	〃	〃	〃					○		○						〃
FS－5	消火ポンプ室系統　送風機	RCP－B2	P－B2	A					○		○						FE－5と連動（電気工事）
FE－5	〃　排風機	〃	〃	E				○	○	○							
FS－6	サービスヤード系統　送風機	RCP－B2	P－B2	A					○		○						FE－6と連動（電気工事）
FE－6	〃　排風機	〃	〃	E				○	○	○							
FS－7	ダビングルーム系統　送風機	RCP－B1	P－B1－2	A					○		○						FE－7と連動（電気工事）
FE－7	〃　排風機	〃	〃	E				○	○	○							

記号	名称	リモート盤	動力盤	取合回路記号	操作 設定	操作 切換	操作 発停	表示 状態	表示 COS故障	表示 トリップ故障	表示 警報	計測 温度	計測 湿度	計測 その他		計量	備考
	（衛生設備）																
TW－1	受水槽　警報	RCP－WT	――	D×2							○×2						
PU－1	加圧給水ポンプユニット	〃	機側盤	E				○			○						
PD－1×2	雑排水ポンプ	RCP－B2	P－B2	E				○		○	（一括）						
	雑排水槽　警報	〃	〃	D							○						
PD－2×2	湧水ポンプ	〃	〃	E				○		○	（一括）						
	湧水槽　警報	〃	〃	D							○						
PD－3×2	湧水ポンプ	RCP－B1	P－B1－1	E				○		○	（一括）						
	湧水槽　警報	〃	〃	D							○						
PW－1	加圧給水装置	RCP－B2	機側盤	D							○						
	（電気設備）																
	車路管制制御盤　開閉表示・警報	RCP－B2	制御盤	D+E				○×2			○						
	シャッター　〃	〃	本体	〃				○×2									
	警報	〃	制御盤														
	オートリフター制御盤　〃	〃	制御盤	〃							○						
	［クラフトゾーン］																
	（熱源設備）																
BH－1	温水ボイラー	RCP－2	機側盤	E				○			○						
RH－1	温水循環ポンプ	〃	P－2	E				○		○							BH－1と連動（電気工事）
	煙煙濃度監視	〃	本体	H										○			
	（空調設備）																
GHP－1－1	（食）1F　調理室系統　ガスヒートポンプエアコン	RCP－2	本体	B				○	○		○						
GHP－1－2	（〃）〃　〃　〃	〃	〃	〃				○	○		○						
GHP－1－3	（食）2F　研修室系統　〃	〃	〃	〃				○	○		○						
GHP－2－1	（染）1F　染色作業室系統　〃	〃	〃	〃				○	○		○						
GHP－2－2	（染）2F　機織作業室系統　〃	〃	〃	〃				○	○		○						
GHP－3－1	（陶）1F　陶芸作業室系統　〃	〃	〃	〃				○	○		○						
GHP－4－1	（木）1F　木工作業室系統　〃	〃	〃	〃				○	○		○						
GHP－4－2	（木）1F　木工機械室系統　〃	〃	〃	〃				○	○		○						
	（還気設備）																
FS－1	ボイラー室系統　送風機	RCP－2	P－2	E				○		○							BH－1と連動（電気工事）
FE－1	〃　排風機	〃	〃	〃				○		○							〃
FS－1	窯場系統　送風機	〃	〃	〃				○		○							手元発停
FE－1	〃　排風機	〃	〃	〃				○		○							〃

□：撤去を示す。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　中央管理点入出力一覧表
縮尺	A1:N.S（A3:N.S）
図面番号	全 78　葉ノ内第 36 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

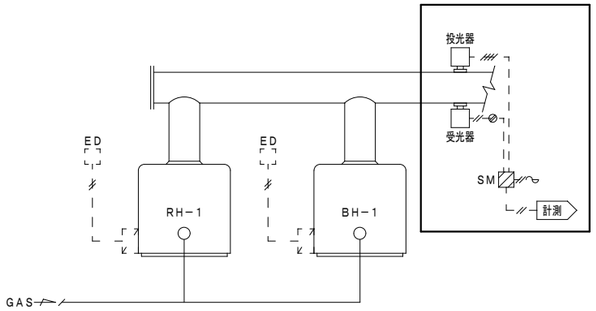
1	熱源廻り制御	1ｓｅｔ	パフォーマンスゾーン



※配線配管は残置とする。

撤去

2	冷温水発生器，ボイラー廻り制御	1ｓｅｔ	パフォーマンスゾーン

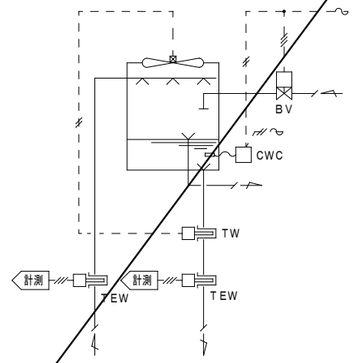


制御項目
1．煤煙濃度監視
2．地震時熱源機器停止
3．計測

□：撤去更新箇所を示す。（既存配線配管は再利用とする。）

3	冷却塔制御	1ｓｅｔ	パフォーマンスゾーン

CT－1



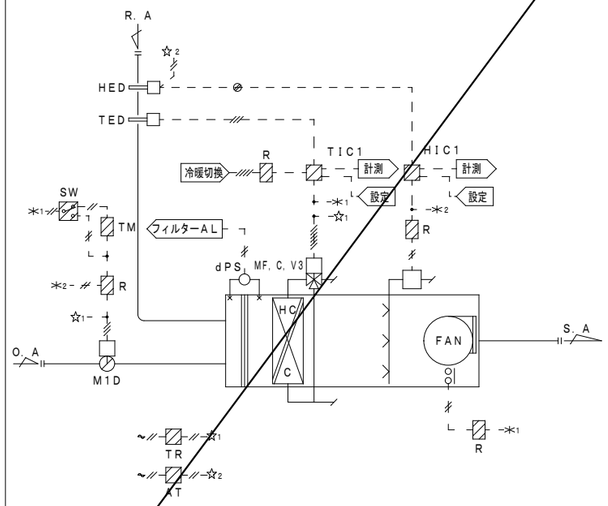
制御項目
1．任温度によるファン発停制御
2．導電率による補給水弁制御

※配線配管は残置とする。

撤去

4	空調機制御	1ｓｅｔ	パフォーマンスゾーン

ACU－1　1F　ワークショップ系統



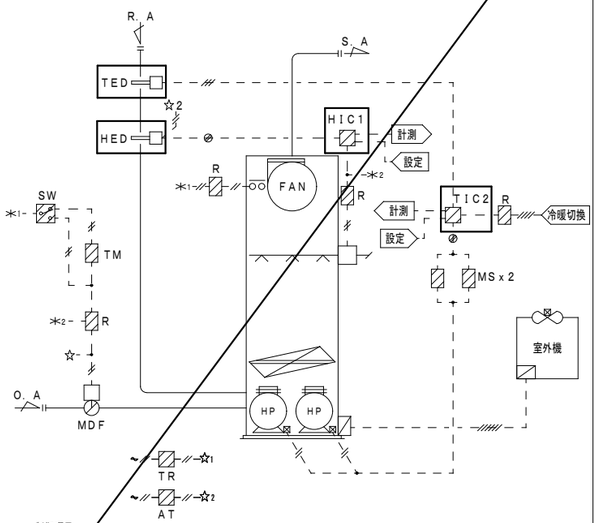
制御項目
1．還気温度制御
還気温度により冷温水コイル３方弁の
比例制御する
2．還気湿度制御
還気湿度により加湿器のＯＮ／ＯＦＦ
制御を行う
3．ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気ダンパを開とし
予冷／予熱を行う。
4．空調機停止時のインターロック制御
（対象：ダンパ／２方弁／加湿器）

※配線配管は残置とする。

撤去

5	ヒートポンプパッケージ制御	1ｓｅｔ	パフォーマンスゾーン

PAC－1　B1F　収蔵庫系統



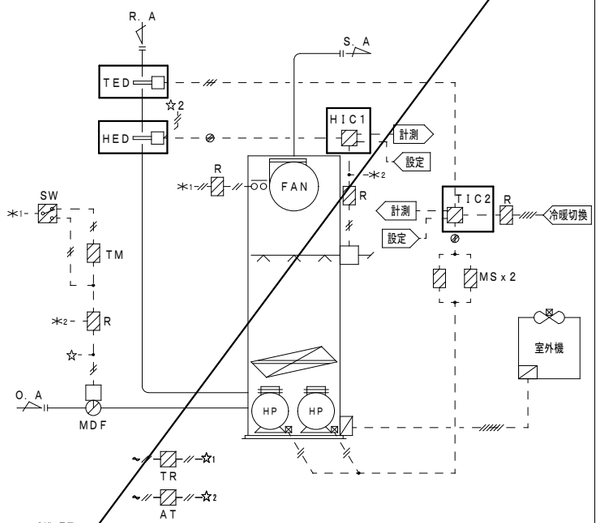
制御項目
1．還気温度制御
還気温度によりコンプレッサーのＯＮ－ＯＦＦ
制御を行う。（２段）
2．還気湿度制御
還気湿度により加湿器のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。
3．ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気ダンパを開とし
予冷／予熱を行う。
4．空調機停止時のインターロック制御
（対象：ダンパ／加湿器）

□：撤去更新箇所を示す。

※配線配管は残置とする。

6	ヒートポンプパッケージ制御	1ｓｅｔ	パフォーマンスゾーン

PAC－2　B1F　ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(親指姫)系統



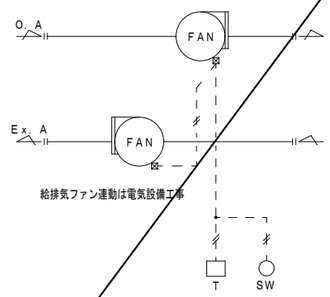
制御項目
1．還気温度制御
還気温度によりコンプレッサーのＯＮ－ＯＦＦ
制御を行う。（２段）
2．還気湿度制御
還気湿度により加湿器のＯＮ／ＯＦＦ制御を行う。
3．ウォーミングアップ制御
立ち上がり時、外気ダンパを開とし
予冷／予熱を行う。
4．空調機停止時のインターロック制御
（対象：ダンパ／加湿器）

□：撤去更新箇所を示す。

※配線配管は残置とする。

7	ファン発停制御	4ｓｅｔｓ	パフォーマンスゾーン

Ｂ2Ｆ　電気室　　ＦＳ－２／ＦＥ－２
Ｂ2Ｆ　ＥＶ機械室１　ＦＳ－３／ＦＥ－３
Ｂ1Ｆ　ＥＶ機械室２　ＦＳ－４／ＦＥ－４
外構　受水槽ポンプ室　Ｖ－１（排気ファンのみ）



給排気ファン連動は電気設備工事

制御項目
1．室内温度によるファン発停制御
2．スイッチによるファン発停制御

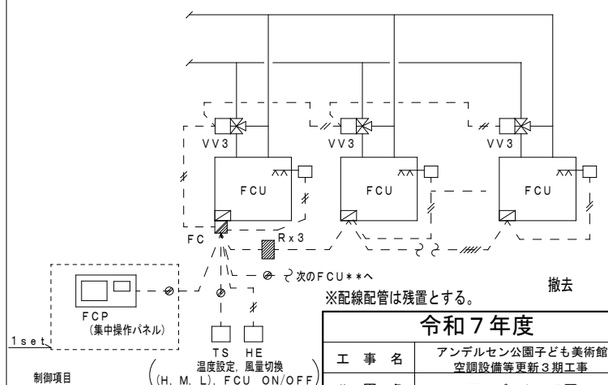
再利用

8	ファンコイルユニット制御	17ｓｅｔｓ	パフォーマンスゾーン

ファンコイル

階	室　名	形式	台数
B1	インフォメーション	ＦＣＵ－４	1
	エントランスホール	ＦＣＵ－６	4
	ホール１	ＦＣＵ－４	2
	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝｽﾀｼﾞｵ(錦の兵隊)	ＦＣＵ－４	3
	ギャラリー１	ＦＣＵ－４x２ ＦＣＵ－５	4
	〃	ＦＣＵ－５	3
	語り聞かせの部屋	ＦＣＵ－３	4
1	ワークショップ準備室	ＦＣＵ－４	3
	指導員室	ＦＣＵ－２	2

階	室　名	形式	台数
1	版画アトリエ	ＦＣＵ－１	4
	談話・会議室	ＦＣＵ－４	2
	〃・〃	ＦＣＵ－４	2
	データベース製作室	ＦＣＵ－４	1
2	展示室-１	ＦＣＵ－５	4
	〃	ＦＣＵ－５	4
	展示室-２	ＦＣＵ－５	2
	〃	ＦＣＵ－５	4



制御項目
1．還気温度制御
還気温度により小型３方弁のＯＮ－ＯＦＦ
制御を行う。（２段）
（注記１）ＦＣＰによりＦＣＵのＯＮ／ＯＦＦ（一括／個別）、
温度設定（一括）、冷暖切換（一括）を行えるものとする。
画面上では状態表示（２５台／画面）及び個別
温度計測表示ができるものとする。
プリンターには休日指定日、ＦＣＵのグループ設定
の印字が可能とする。

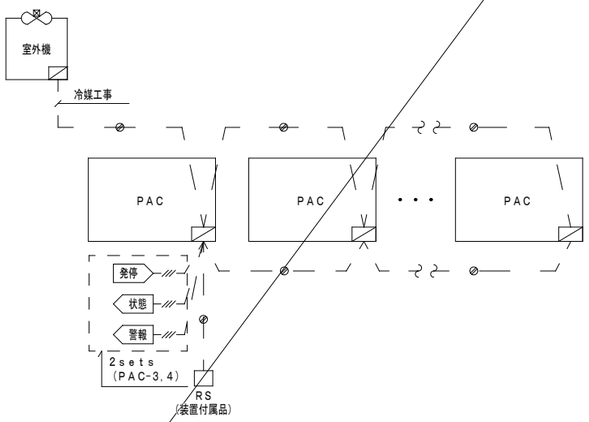
※配線配管は残置とする。

撤去

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　自動制御設備　計装図(1)
縮尺	A1:N.S（A3:N.S）
図面番号	全 78　葉ノ内第 37 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

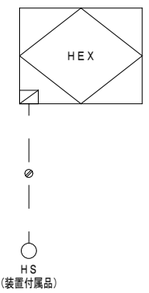
９　ＰＡＣスイッチ渡り配線工事　３ｓｅｔｓ　パフォーマンスゾーン

ＰＡＣ－３　Ｂ１Ｆ　音響調光室　（空冷ヒーポン）
ＰＡＣ－４　Ｂ１Ｆ　ダビングルーム　（　〃　）
ＧＨＰ－１　１Ｆ　事務室　（ガスヒーポン）



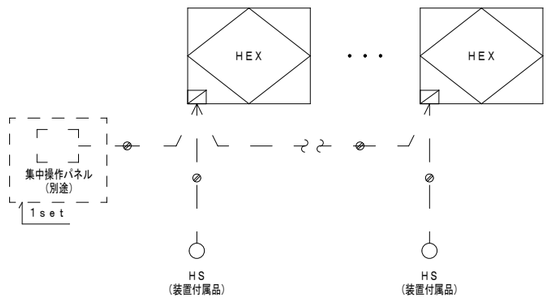
□：撤去箇所を示す。

１０　全熱交換形換気扇スイッチ渡り工事（１）　パフォーマンスゾーン



※全熱交換形換気扇の更新に伴うリモコン配線は、再利用とする。

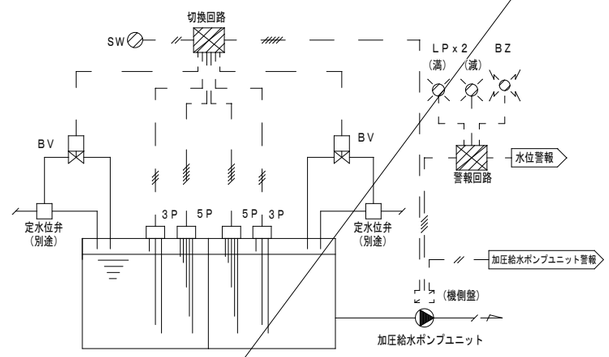
１１　全熱交換形換気扇スイッチ渡り工事（２）　パフォーマンスゾーン



※全熱交換形換気扇の更新に伴うリモコン配線は、再利用とする。

１２　水槽監視（１）　１ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン

受水槽　（外構）

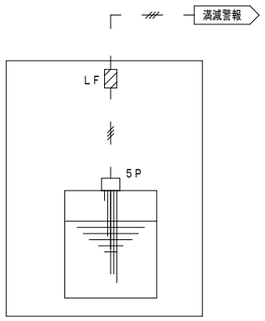


制御項目
1．水槽液面による、定水位弁用２方弁制御
2．警報

再利用

１３　水槽監視（２）　１ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン

ＴＥ－１　膨張タンク



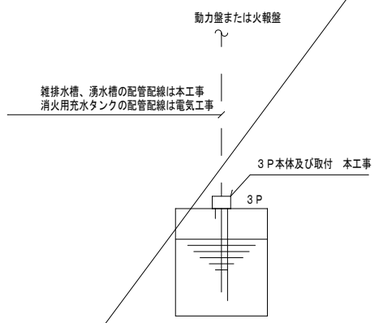
制御項目
1．警報

□：撤去更新箇所を示す。（既存配線配管は再利用とする。）

撤去

１４　水槽監視（３）　４ｓｅｔｓ　パフォーマンスゾーン

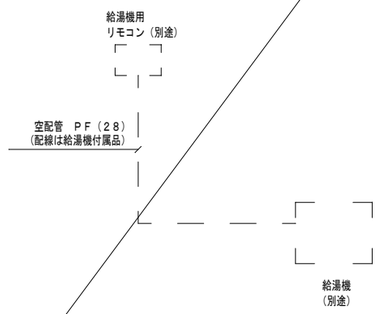
消火用充水タンク　（ＲＦ）
雑排水槽　（Ｂ２Ｆ）
湧水槽　（　〃　）
〃　（Ｂ１Ｆ）



再利用

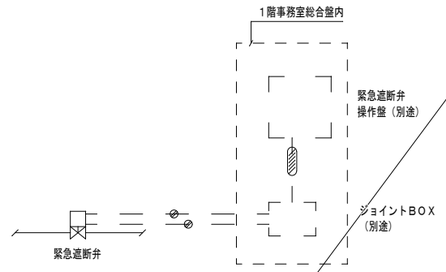
１５　給湯機渡り配線工事　２ｓｅｔｓ　パフォーマンスゾーン

１Ｆ



再利用

１６　ガス遮断弁渡り配線工事　１ｓｅｔ　パフォーマンスゾーン



再利用

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　自動制御設備　計装図(2)
縮尺	A1:N.S (A3:N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 38　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

パフォーマンスゾーン

自動制御機器表

記号	名称	型番	備考
AT	トランス	ATY72Z	
BV	電動ボール弁	VY6100D2	水用
BZ	ブザー		
C	弁リンケージ	0455C	
CWC	冷却水ブロー調節器	R7010B	防雨カバー付
FCP	ファンコイル用集中操作パネル	WY7800A	
dPS	差圧スイッチ	PYY−CL13	
ED	感震装置	V725	
FC	ファンコイル用コントローラ	WY7823A	
HE	温度検出器	HY7096A	
HED	温度発信器	HY7014C	トランス付
HIC1	温度指示調節器	R31−0D	
LF／5P	液面リレー／電極棒	WLS211B／5P	付属品含
3P	電極棒／3P		
5P	電極棒／5P		
LP	ランプ		
MDF	ダンパ操作器	MY6040A	
MF	モジュトロールモータ	M904F	
MS	モニタスイッチ	RY7910M	
R	補助リレー		
SM	嫌煙濃度計	ST300	
SW	切換スイッチ	APN2103	
T	温度調節器	T631C	
TS	ファンコイル用デジタル設定器	WY7812A	
TE	温度検出器	T7090D	
TEF	FCU用還気温度検出器	TYY−TA	
TED	温度検出器	TY7700B31F	
TEW	温度検出器	TY77001B31F	
TIC1	温度指示調節器	R31−2G	
TIC2	温度指示調節器	R31−5G	
TM	タイマー		
TR	トランス	AT72−J1	
V3	3方弁	V5065	
VV3	小型電動3方弁	V4044A	ソケット×3付属

□：撤去更新機器を示す。

凡例

− —//— −	IV2ロ （斜線は本数）
− —∿— −	AC100Vor200V
○○− — −	ファンインターロック
− —⊘— −	シールド付ケーブル
▨	現場盤内取付機器
■	リレーボックス内取付機器
⬅	監視盤との信号受渡し

バルブ口径表

流体　W2：水（2方弁），W3：水（3方弁）
単位　流体W2，W3：流量［l／m］、ΔP［kg／?］

系統名	流体	流量	Pi	ΔP	Cv	口径（A）	備考
＜冷却塔制御＞							
冷却塔　補給水弁	W2					20	
＜空調機制御＞							
ACU−1　HC／C	W3	420		0．3	53．7	65	
＜ファンコイルユニット＞							
ファンコイル　HC／C	W3			——		20	48sets
＜水槽＞							
受水槽　補給水弁	W2			——		20	2sets

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法 W	参考寸法 H	参考寸法 D	収納系統名	備考
RCP−B2	自立	1400	1950	400	温湿度計測，水槽監視（2） 中央管理点入出力一覧表参照	盤改造を行う 箱体再利用
RCP−B1	壁掛	700	1400	250	中央管理点入出力一覧表参照	盤改造を行う 箱体再利用
RCP−WT （外構）	壁掛	700	1400	250	水槽監視（1） 中央管理点入出力一覧表参照	盤改造を行う 箱体再利用

クラフトゾーン

自動制御機器表

記号	名称	型番	備考
C	弁リンケージ	Q455C	
DC	DC42V電源	NAX421	
PEW	圧力発信器	PY7000	
SM	嫌煙濃度計	ST300	
PIC	圧力指示調節器	R31−2G	
MF	モジュトロールモータ	M904F	
ED	感震装置	V725	
V2	2方弁	V5063	
MDF	ダンパ操作器	MY6040A	
R	補助リレー		
T	温度調節器	T631C	
TR	トランス	AT72−J1	

バルブ口径表

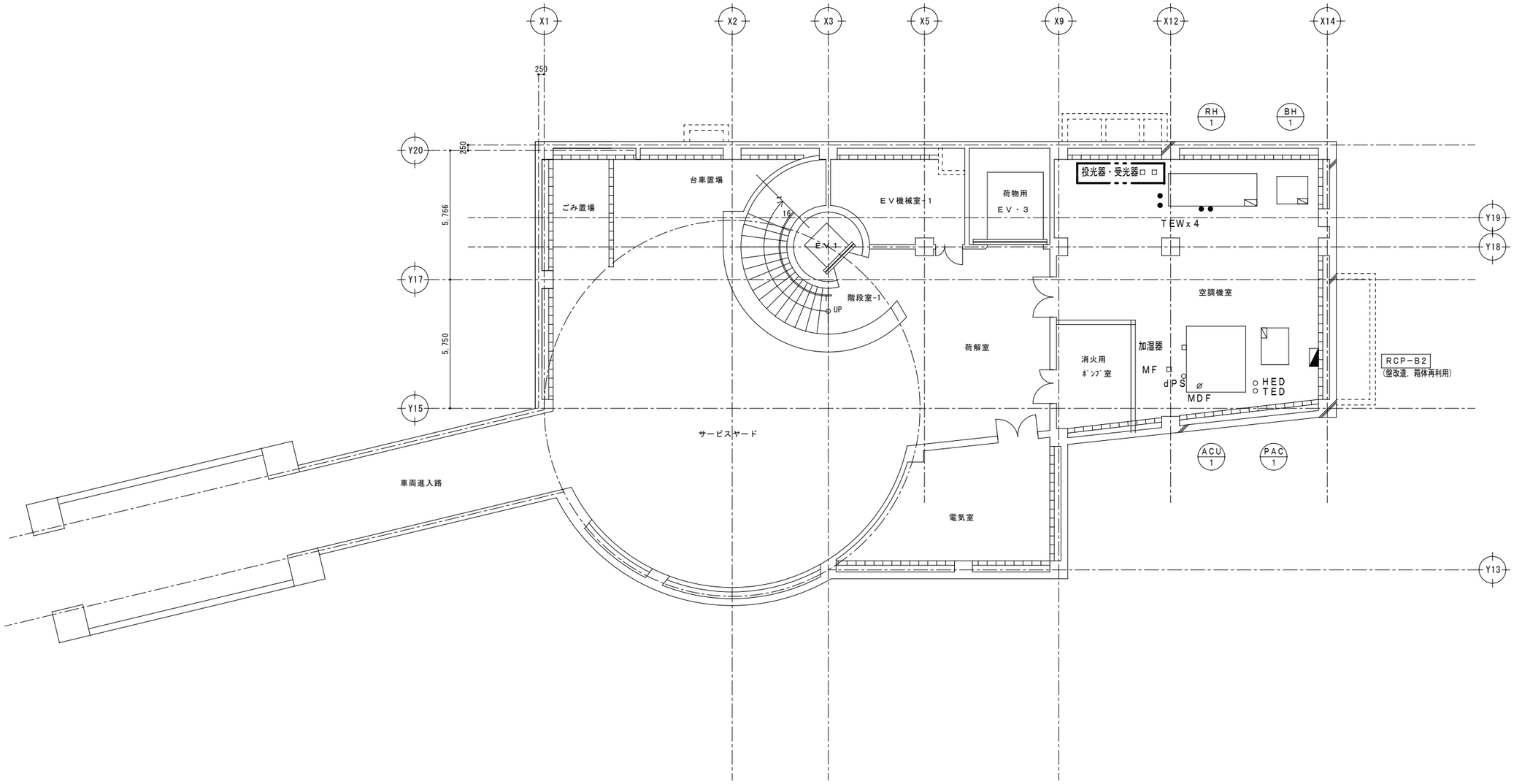
流体　W2：水（2方弁），W3：水（3方弁），S：蒸気
単位　流体W2，W3：流量［l／?］、ΔP［kg／?］

系統名	流体	流量	Pi	ΔP	Cv	口径（A）	備考
床暖系統　バイパス弁	W2	60		0．7	5．1	25×20	

盤寸法表

盤名	形状	参考寸法 W	参考寸法 H	参考寸法 D	収納系統名	備考
RCP−B2	自立	700	1950	400	ボイラー追り制御 バイパス弁制御 中央管理点入出力一覧表参照	盤改造を行う 箱体再利用

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　自動制御設備　機器表・盤寸法表
縮尺	A1:N.S（A3:N.S）
図面番号	全 78　葉ノ内第 39 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

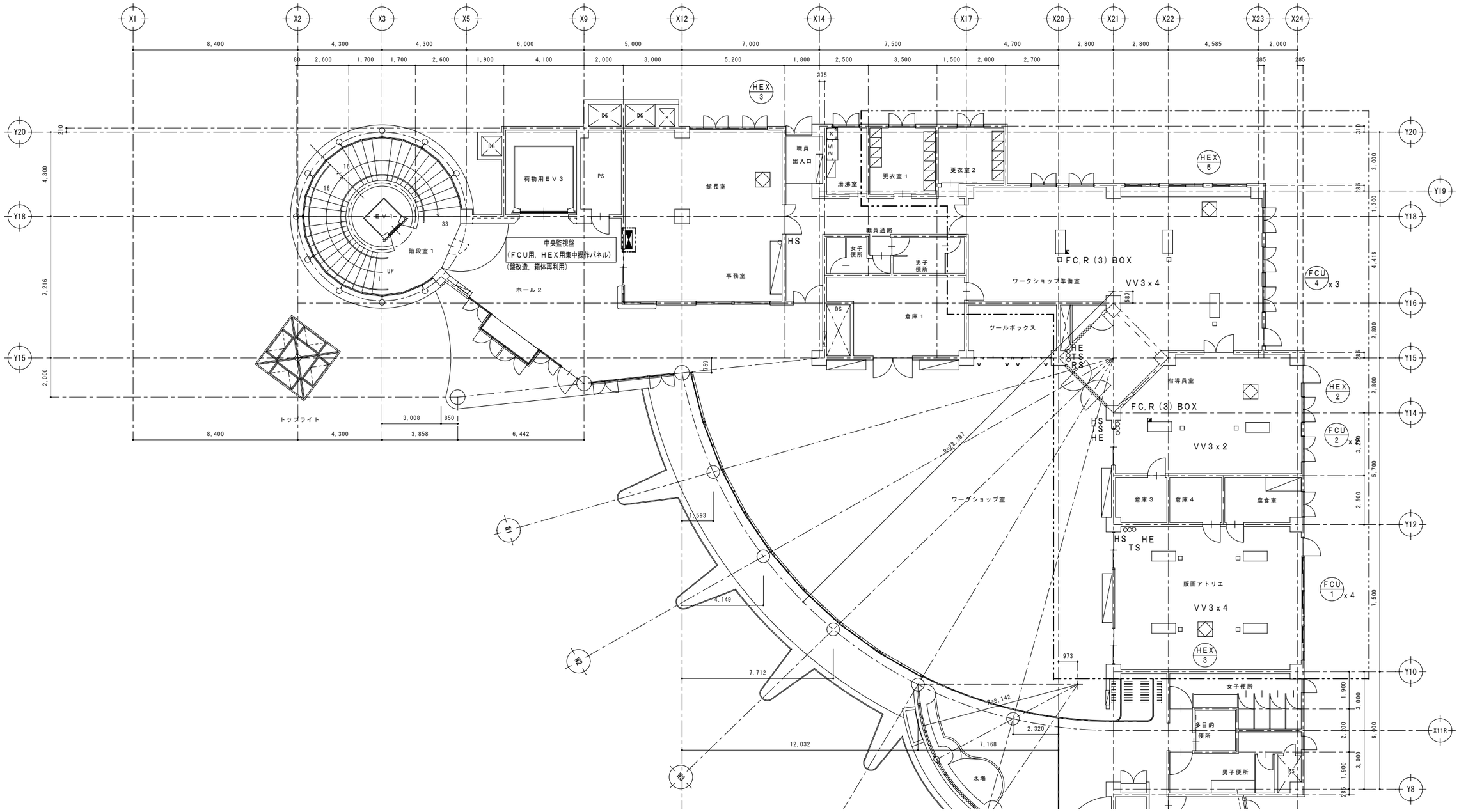


自動制御設備　地下２階平面図（撤去）　S=1/100

※ 自動制御機器撤去・配線配管は残置とする。

注１）図示 ▭ 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	撤去　自動制御設備　B2階平面図
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 40 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

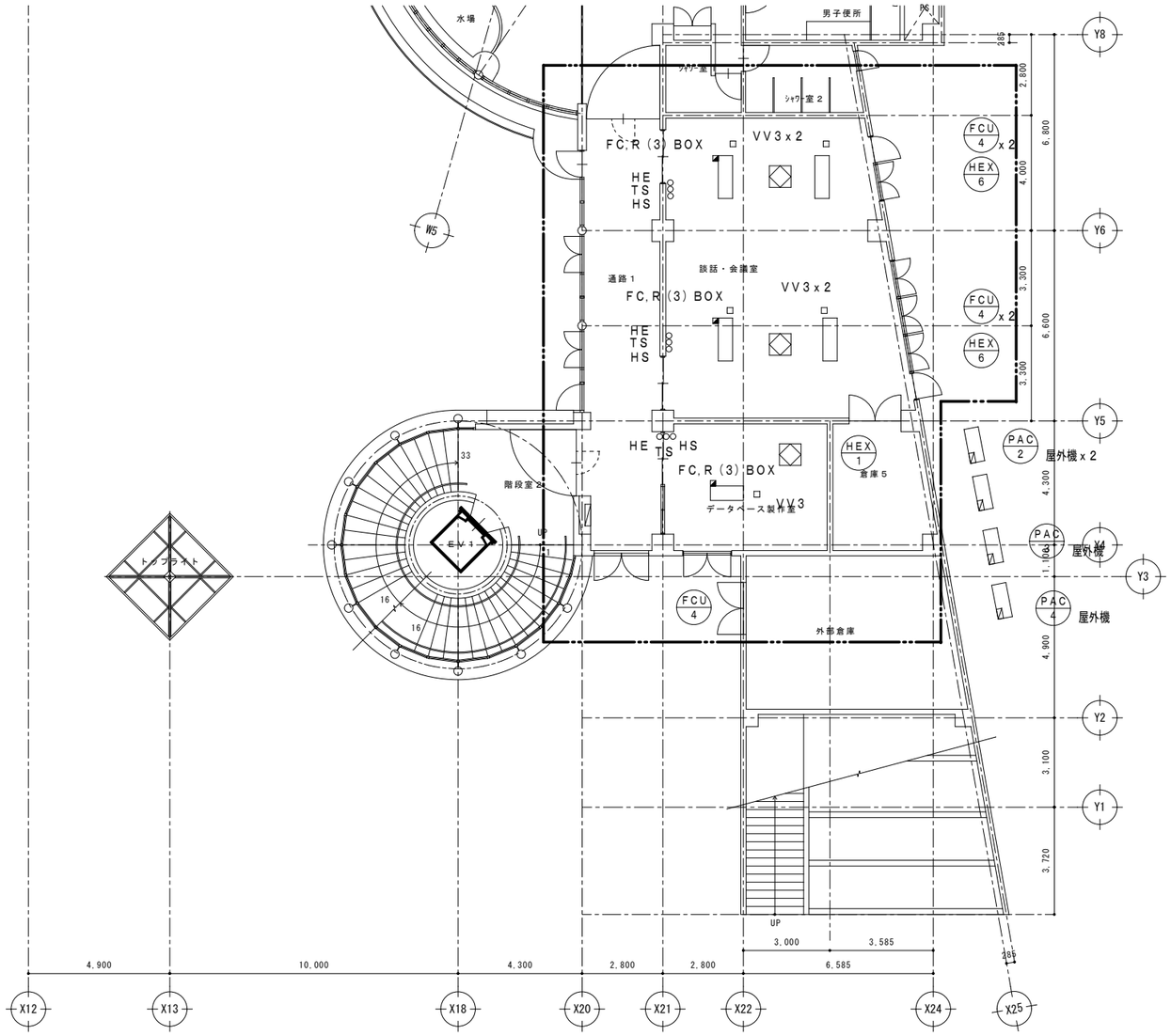


撤去　自動制御設備　１階平面図（１）　S=1/100

※自動制御機器撤去／配線配管は残置とする。
※各設備機器への電源配線離線工事は電気工事とする。

注１）図示 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　自動制御設備　1階平面図(1)
縮尺	A1:1/100（A3:1/200）
図面番号	全 78　葉ノ内第 41 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



※自動制御機器撤去／配線配管は残置とする。
※各設備機器への電源配線離線工事は電気工事とする。

自動制御設備　１階平面図（２）（撤去）　S=1/100

注１）図示 範囲を本工事とする。

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館 空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 撤去　自動制御設備　1階平面図(2)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第　42　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

工事名称　　アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事

特記仕様書

Ⅰ　工事概要

1 工事場所　　船橋市金堀町525番ほか

2 改修建物概要

建 物 名 称	構　造	階　数	建築面積（㎡）	延べ面積（㎡）	備　考
パフォーマンスゾーン	RC造 一部SRC・S造	地下2階 地上2階建て	1,640.821	4,331.677	

3 工事種目　（ ● 印の付いた種目）
　○大規模改修　　○構造改修　　●その他　（空調設備等更新に伴う天井改修等）

4 工期　　令和８年２月２７日　まで
　（工期内に完成検査を行い、引渡しを完了すること。）

5 工事内容　（ ● 印の付いた種目）
(1) 大規模改修
外　部
○屋上防水改修　○外壁改修　○金属製建具一部取り替え
○ガラス取り替え　○サッシ廻りシーリング打ち替え　○ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｼﾞｮｲﾝﾄ取り替え
○屋上手摺取り替え　○竪樋取り替え　○ガラスシール替え
○＿＿＿＿＿＿　○＿＿＿＿＿＿　○＿＿＿＿＿＿

内　部
●天井張り替え　○内壁塗り（貼り）替え　○巾木塗り（貼り）替え
○床張り替え　○便所改修　○障害者便所設置
○便所地下ピット設置　○土間配管（配線）ピット設置　○＿＿＿＿＿＿
○木製建具取り替え　○黒板張り替え　○掲示板張り替え
○敷埋取り替え　○ロッカー取り替え　○＿＿＿＿＿＿
○＿＿＿＿＿＿　○＿＿＿＿＿＿　○＿＿＿＿＿＿

(2) 構造改修
○構造壁設置　（鉄骨ブレース壁＿＿＿箇所、RC造＿＿＿箇所、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
○柱設置　（RC造＿＿＿箇所、S柱 ＿＿＿箇所、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
○柱補強　（鉄板巻き＿＿＿箇所、RC増打＿＿＿箇所、＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
○その他　（RC袖壁＿＿＿箇所、RC床＿＿＿箇所、基礎補強＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

(3) その他
○＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
○＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

Ⅱ　建築改修工事仕様
1 共通仕様
(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、●を付けたものを適用する。
●公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
●公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）（以下、「標準仕様書」という。）
●建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）
(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。
なお、電気設備工事の特記仕様書は（６５／７８）図、機械設備工事の特記仕様書は（０２／７８）図による。

2 特記仕様
(1) 項目は、番号に●印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、●印及び●印の付いたものを適用する。（⊠及び○は適用しない。）
(3) 特記事項に記載の［　　］内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
また、（　　）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) Ⓖ 印は「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく、「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和7年1月28日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表１中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。
(5) 構造改修については、別記構造特記仕様による。

章	項　目	特　記　事　項
1 各章共通事項	● 1 適用基準等	●建築工事標準詳細図　（令和4年） ●営繕工事写真撮影要領　（令和5年） ●建築工事安全施工技術指針　（平成27年） ●建設工事公衆災害防止対策要綱　（令和元年） ○千葉県福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル　（平成28年） ○公共建築木造工事標準仕様書　（令和4年） ●デジタル工事写真の小黒板情報電子化について　（国営建技第14号　令和5年3月1日） ○施設整備・管理のための天然ガス対策ガイドブック（平成19年3月） ○＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
	● 2 工事実績情報の登録	[1.1.4] 最終請負代金（消費税込）が500万円以上となる場合には、工事実績情報システム(CORINS)に基づき工事実績データを作成する。また、作成した内容について監督職員の確認を受けた後、以下に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センターに所定の手続きにより登録すると共に、登録内容確認書の写しを提出する。 (1) 工事受注時　　契約締結後10日以内 (2) 登録内容の変更時　　変更契約締結後10日以内 (3) 工事完成時　　工事完成後10日以内
	● 3 発生材の処理等	[1.3.12] 発生材の処理等は、別記－１「建設副産物の処理」による。
	○ 4 適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 風速（Vo＝＿＿ m/s） 地表面粗度区分（　○Ⅰ　○Ⅱ　○Ⅲ　○Ⅳ　） ○積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域　別表　（＿＿＿＿）

● 5 電気保安技術者　[1.3.3]
●自家用電気工作物　○一般電気工作物
ただし、自家用電気工作物の場合は[1.3.3(1)～(3)]によるものとする。

● 6 条件明示項目　[1.3.5]
工事を施工しない日・時間帯
○令和＿年＿月＿日　～＿年＿月＿日　＿：＿　～＿：＿
○令和＿年＿月＿日　～＿年＿月＿日　＿：＿　～＿：＿
●行事等により、短期の施行不能日あり。

資材置場及び駐車場所
●　敷地内　　○敷地外（　○無償　　○有償）
（千葉県船橋市＿＿町＿＿丁目＿番＿）

部分使用
○有り　　●無し
令和＿年＿月＿日から下記部分について、部分使用するので協力すること。
部分使用箇所　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

●週休２日制モニタリング工事
本工事は、週休２日制モニタリング工事である。受注者は、原則、週休２日で施工すること。また、工事の実施にあたっては、「週休２日制モニタリング工事実施マニュアル（試行）（営繕工事）」に基づき行うこと。

●猛暑による作業不能日数
本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。
ⅰ）作業不能日数：＿＿日間
ⅱ）上記ⅰ）は、環境省が公表する関東地方_千葉県_船橋地点におけるWBGT値（気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数）過去５年分（令和＿年～令和＿年）について、本工事の工期に対応する期間（行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日及び夏季休暇（３日）を除く。）において、８時から１７時の間にWBGT値が３１以上となった時間を算定し、日数に換算したもの５年分を平均したもの。
ⅲ）気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する関東地方_千葉県_船橋地点におけるWBGT値が３１以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））がⅰ）の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

● 7 環境への配慮　[1.4.1]
建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。
(1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
(2) 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
(3) 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ－ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－２－エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
(4) (1) の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

● 8 材料の品質等　[1.4.2]
1 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。
3 標準仕様書及び改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4 本工事に使用する材料のうち、5 に指定する材料の製造業者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。
ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
(1) 品質及び性能に関する試験データを整備していること。
(2) 生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
(3) 安定的な供給が可能であること。
(4) 法令等で定める許可、認可、認可又は免許を取得していること。
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
(6) 販売、保守等の営業体制を整えていること。
5 製造業者等に関する資料の提出を求める材料
床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル、既調合目地材、ルーフドレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸機構、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水材、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鋳鉄製ふた

● 9 材料の試験　[1.4.5]
コンクリートの圧縮試験及び鉄筋の引張り試験については、（公財）千葉県建設技術センター等の試験機関で実施すること。

●10 ワンデーレスポンス　船橋市ワンデーレスポンス実施マニュアルに基づき実施するものとする。

●11 石綿含有建材の調査　[1.5.1]
調査
⊠石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。
調査範囲　○改修範囲　　●図示　　○＿＿＿＿＿＿
貸与資料　○既存図面　　○調査資料　　○＿＿＿＿＿＿
○分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト
分析方法

材料名	定性分析方法 （JIS A 1481-1）または（JIS A 1481-2）	定量分析方法 （JIS A 1481-3）、（JIS A 1481-4）または（JIS A 1481-5）
＿＿＿＿	○＿＿（箇所）	○＿＿（箇所）
＿＿＿＿	○＿＿（箇所）	○＿＿（箇所）
＿＿＿＿	○＿＿（箇所）	○＿＿（箇所）

サンプル数　　１箇所あたり３サンプル
採取箇所
○図示による　　○＿＿

○12 技能士　[1.7.2]

適用工事種別	技能検定の職種
防水改修工事	○ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業　○ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ○ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業　○合成ゴム系シート防水工事作業 ○塩化ﾋﾞﾆﾙ系シート防水工事作業　○ﾓﾙﾀﾙ系防水工事作業 ○ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業　○改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ工法防水工事作業 ○ＦＲＰ防水工事作業　○左官作業　○内外装板金作業
外壁改修工事	○左官作業　○タイル張り作業　○建築塗装作業
建具改修工事	○ビル用サッシ工事作業　○ガラス工事作業
内装改修工事	○自動ドア施工作業 ○ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業　○ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ作業 ○ボード仕上げ工事作業　○鋼製下地工事作業 ○塗装作業　○大工工事作業　○タイル張り作業
塗装改修工事	○建築塗装作業
耐震改修工事	○鉄筋組立作業　○型枠工事作業　○とび作業
ブロック工事	○コンクリートブロック工事作業
ＡＬＣ工事	○ＡＬＣパネル工事作業
石工事	○石張り作業
植栽工事	○造園工事作業

○13 化学物質の濃度測定　[1.7.9]
施工完了時及び部分使用引渡しに先立ち、室内空気中の揮発性有機化合物の濃度を測定し、監督職員に報告すること。
測定対象物質は、次による。
○学校施設　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、パラジクロロベンゼン、エチルベンゼン、スチレン
○庁舎、住宅等　ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン
着工前の測定　　○行う　　○行わない
測定対象室　　○仕上表による　○図示　　○＿＿＿＿＿＿
測定箇所数　　○仕上表による　○図示　　○＿＿＿＿＿＿
測定時間　　⊠24時間　　○＿＿＿＿＿＿
（「官庁営繕部におけるホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」（平成24年4月5日　国営整第4号）、「官庁営繕部における平成１５年度からのホルムアルデヒド等の室内空気中の化学物質の抑制に関する措置について」参照）
測定はパッシブ型採取機器により行う。
その他、濃度測定方法等については、監督職員の指示による。

○14 中間検査　[1.8.2]
⊠本工事は中間技術検査の対象である。
中間技術検査は、船橋市工事技術検査要綱に基づき実施する。

○中間検査を実施する　（回数：＿＿回）
実施時期：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
中間検査の範囲　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

●15 社内検査
受注者は、監督職員と協議のうえ、次の各号により社内検査を行なわなければならない。
（１）社内検査に従事する者（以下「社内検査員」という。）が工事施工途中において必要と認める時期及び検査の事前に社内検査を行い、検査時にその結果を所定の様式により提出しなければならない。
（２）社内検査員は、当該工事に従事していない社内の者とする。
（３）社内検査は、契約図書及び関係図書に基づき、安全、出来形、品質及び写真管理はもとより、工事全般にわたり行うものとする。
（４）社内検査員の資格は５年以上の現場経験を有するものとする。ただし、監督職員の承諾を得た場合はこの限りでない。

●16 ＣＡＤデータ
設計図ＣＡＤデータ　⊠貸与する　　○貸与しない
貸与するＣＡＤデータを当該工事の施工図または完成図の作成以外の目的に使用してはならない。

●17 完成図等　[1.9.1～3][表1.9.1]
完成図一式を「船橋市営繕工事電子納品の手引き」により提出する。

●18 施工図等の取扱
施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

●19 提出書類
受注者は、提出書類を船橋市請負工事提出書類様式集に基づいて、監督職員に提出しなければならない。

○20 施設点検
本工事完成（「工事目的物の引渡し」を行った日）後、２年以内（原則として１年目）に施設点検（不具合の有無を確認し、その処理について協議）を行うので、建築課から依頼があり次第、施設点検に立ち会い協力するものとする。

●21 埋設配管・配線及び鉄筋調査
あと施工アンカー工事
建築改修工事特記仕様書（構造）第5章による。

コア抜き、はつり工事等
⊠既存資料調査
○探査機（電磁波レーダー法又は電磁誘導法）による探査
配管　配線等の位置の墨出しを行う。
範囲　　⊠図示
○放射線透過試験
労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。
(1) 作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。
(2) 放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射機より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。
(3) 露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。
(4) 付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。
(5) 躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。
撮影枚数＿＿＿枚
フィルムサイズ　＿＿＿＿
コンクリート厚さ　＿＿＿cm

●22 設備工事との取合い
設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
施工範囲は別記－２　（工事区分表）　による。

●23 設計ＧＬ
⊠図示　　○設計ＧＬ＝現状ＧＬ

●24 安全対策
1 受注者相互の緊密な連絡調整を図り、協力して工事を安全かつ円滑に実施することが必要な場合は、「工事関係者連絡会議」を設置すること。
2 発注者で組織する安全対策委員会が行う安全審査、施行条件検討、安全点検等に協力すること。

●25 保険等
受注者は、本工事着手前に、工事目的物や工事材料及び仮設物等に生じる損害を填補する保険（建設工事保険・土木工事保険・組立保険・火災保険等）、工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補する保険（請負業者賠償責任保険等）に必ず加入しなければならない。なお、第三者への保険については、対人賠償はひとりにつき２億円、一事故につき５億円、対物賠償は一事故につき３億円を最低填補限度額とすること。また、建設機械器具に生じる損害を填補する保険（動産総合保険・機械保険等）、運送中の工事材料や建設機械器具等に生じる損害を填補する保険（貨物海上保険・運送保険等）工事作業員の身体傷害を填補する保険（法定外労災補償・労働災害総合保険・傷害保険等）等には、必要に応じ加入すること。

●26 過積載による違法運行の防止
工事の施工にあたっては、次の事項を厳守すること。
(1) 積載重量制限を超過して土砂を積み込まず、また、積み込ませないこと。
(2) さし枠装着車、不表示車等に土砂を積み込まず、また、積み込ませないこと。
(3) 過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引渡しを受けるなど、過積載を助長するようなことのないようにすること。
(4) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂運搬に使用している場合は、早急に不正状況を解消する措置を講じること。

●27 工事現場管理
受注者は、工事の施工にあたっては、不法　違反無線局（不法パーソナル無線）を設置したトラック、ダンプカー等を工事現場に立ち入らせないこと。

●28 環境対策
受注者は、環境保全対策関係法令に従い工事現場地域の保全と円滑な工事施工を図ること。
(1) 受注者は、施工計画書“環境対策”内に、下記の項目について記載するものとする。
○大気汚染対策　　⊠騒音、振動対策　　○水質汚濁対策
○地盤沈下対策　　○防塵対策　　○一般廃棄物対策　　○交通障害対策
○その他　（＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）
(2) 建設機械は、排ガス対策車及び低騒音型を使用すること。
(3) 特定粉じん排出等作業（法定外建築物　作業を含む）は、「建築物の解体等に係る石綿飛散防止対策マニュアル」に基づき施工する。
(4) 本工事で使用する軽油については、ＪＩＳ規格軽油を使用すること。
(5) 受注者は、県税事務所がその他の機関と合同で行う建設機械及び本工事に係る車両等を対象とする燃料の抜取調査に対しては、監督職員の指示により協力しなければならない。
(6) 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づく環境物品等の調達の推進に関する基本方針における公共工事の配慮事項（「資材の梱包及び容器は可能な限り簡易であって、再生利用の容易さ及び廃棄物の負荷低減に配慮されていること。」）に留意すること。

●29 創意工夫等
受注者は、工事施工において、自ら立案した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することができる。

令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	建築改修工事特記仕様書（１）
縮　　尺	A1：N.S　(A3：N.S)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 43　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

② 仮設工事

○ 1　騒音　粉じん等の対策　　[2.1.3]

○防音パネル　　○防音シート
防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
○図示　○＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

○ 2　足場その他　　[2.2.1]

1 足場を設ける場合は、改修標準仕様書2.2.1 (2) によるほか、設置等においては、「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うとともに、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する構造とすること。
2 棚足場については、計算により安全性を確認すること。
3 定置する足場及び作業構台の類は、別契約の関係受注者に無償で使用させる。

●内部足場　　種別　　⊠脚立、足場板等　　●棚足場
○外部足場　　○設置する　　●設置しない
防護シートによる養生　　⊠行う　　○行わない
ネット養生シート（⊠防炎Ⅰ類　　○防炎Ⅱ類　　○＿＿＿＿＿＿）

[表2.2.1]

材料、撤去材料等の運搬方法
○Ａ種　　⊠Ｂ種　　●Ｃ種　　●Ｄ種　　○Ｅ種
○その他　（ダストシュート）
Ｃ種　利用可能なエレベーター（＿＿＿＿＿＿＿＿）
Ｄ種　利用可能な階段　　（＿＿＿＿＿＿＿＿）

● 3　既存部分の養生　　[2.3.1]

1 養生の方法等
●既存部分　　養生方法　⊠ビニールシート　合板等　○＿＿＿＿＿
●既存家具、既存設備等　養生方法　⊠ビニールシート等　　○＿＿＿＿＿
●既存ブラインド、カーテン等
養生方法　　●ビニールシート等　　○＿＿＿＿＿
保管場所等　●指定場所に保管、再取付け　○撤去、処分
備品、机、ロッカー等の移動　　○行わない　●行う（図示）
2 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

○ 4　仮設間仕切り　　[2.3.2][表2.3.1]

1 仮設間仕切り及び仮設扉の設置場所　○図示　○＿＿＿＿＿＿＿＿
2 仮設間仕切りの種別と材質

種　別	下　地	仕上材（厚さ mm）	塗　装	充填材
○Ａ種	○木 ○軽量鉄骨	○せっこうボード（⊠ 9.5　○＿＿） 種類（○＿＿＿＿＿＿＿＿）	○片面 ○なし	⊠有り
○Ｂ種		○合板（⊠ 9.0　○＿＿＿＿＿＿）		
		材種（＿＿＿＿＿＿＿＿）		
⊠Ｃ種	単管	防炎シート		

充填材　⊠グラスウール　32ｋ（厚：50mm以上）

3 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材　質	仕上材（厚さ mm）	塗　装	設　置　場　所	充填材
⊠木扉 ○鋼扉	⊠合板張り程度 ○＿＿＿＿＿	⊠無し ○片面	⊠図示　○＿＿か所	○有り ○無し

充填材　⊠グラスウール　32ｋ（厚：50mm以上）

● 5　監督職員事務所　　[2.4.1]

○既存建物内の一部を利用する　　●構内に設置する　　○設けない
監督職員事務所の規模
○１０㎡程度　　○２０㎡程度　　○３５㎡程度　　○ユニットハウス程度

○ 6　監督職員事務所の備品等　　○下記のものを常備する
机、椅子、書棚、ゴム長靴、保護帽子、消火器、打合せテーブル、検査用機器等

● 7　工事用水　　構内既存の施設　　⊠利用できない
●利用できる　（　⊠有償　●無償　）
有償、無償に関係なく子メーターを設置する

● 8　工事用電力　　構内既存の施設　　⊠利用できない　　●利用できる　（　⊠有償　●無償　）

○ 9　仮囲い等　　仮囲い　⊠成型鋼板　　Ｈ＝＿＿ｍ　　Ｌ＝＿＿ｍ
○Ｂ型バリケード　　Ｈ＝１．８ｍ　　Ｌ＝　　ｍ（目隠しシート含む）
○カラーコーン及びコーンバー　　Ｈ＝＿＿ｍ　　Ｌ＝　＿ｍ
出入口　○シートゲート　　Ｈ＝１．８ｍ　　Ｌ＝４．０ｍ　　２　　箇所
○キャスターゲート　　Ｈ＝＿＿ｍ　　Ｌ＝　　ｍ　　＿＿箇所

○10　仮設道路　　○砕石敷き　　（厚さ＿＿mm　幅　＿＿mm）　　Ｌ＝＿＿ｍ
（砕石は、再生クラッシャラン Ｇ を使用）
○鋼板敷　　（長さ６ｍ　幅１．５ｍ　厚さ２２mm　）　　１５　枚　　○図示

○11　交通誘導員　　配置人数＿＿　人程
配置期間＿＿年＿月＿日～＿＿年＿月＿日
配置場所　○図示　○＿＿＿＿＿＿＿＿

⑥ 内装改修工事

● 1　改修範囲　　[6.1.3]

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
⊠壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　○図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
⊠壁面より両側600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　○図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
⊠既存のまま　○図示

● 3　既存壁の撤去及び下地補修　　[6.3.2]

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
⊠改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り　　○＿＿＿＿＿＿
（全塗厚が25mmを超える場合の処置　⊠図示）

● 4　施工一般　　[6.5.2]

材料のホルムアルデヒド放散量
⊠Ｆ☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｳ)(b)による　○＿＿＿＿＿＿＿

● 5　製材 Ｇ　　[6.5.2]

○JAS 1083-5　製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	寸法 (mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
天井下地		⊠2級 ○＿＿	⊠A種　○B種　○＿＿		○＿＿
		⊠2級 ○＿＿	⊠A種　○B種　○＿＿		○＿＿

● 8　合板等　　[6.5.2]

○「合板の日本農林規格」による普通合板 Ｇ

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質		防虫処理	間伐材等の適用
天井下地	⊠5.5 ●9.0	ﾗﾜﾝﾍﾞﾆﾔ	⊠1類 ○2類	広葉樹 針葉樹	⊠2等以上　○1等 ⊠C-D以上　○	○適用する ○適用しない	○＿＿

●10　接着剤　　[6.5.3、4]

接着剤のホルムアルデヒド放散量
⊠Ｆ☆☆☆☆　○＿＿＿＿

●14　軽量鉄骨天井下地　　[6.6.2～4] [表6.6.2]

野縁等の種類
屋外（⊠ 25 形　○ 19 形）　屋内（⊠ 19 形　○ 25 形）
屋外の形式及び寸法
野縁受け、つりボルト及びインサートの間隔　○図示　○＿＿＿＿
周辺部の端からの間隔　○図示　○＿＿＿＿
野縁の間隔　○図示　○＿＿＿＿
既存の埋込みインサート　　●使用する　○使用しない
既存の埋込みインサート・つりボルト再利用時の確認試験
●行う
試験箇所数　⊠屋内の場合、該当階において３箇所
○（＿＿）箇所
引張試験にて確認する強度
⊠つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
○（＿＿）N
○行わない
○つりボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法　⊠図示　○＿＿＿＿
○天井のふところが3.0mを超える場合
補強方法　⊠図示　○＿＿＿＿
○天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所　⊠図示　○＿＿＿＿　補強方法　⊠図示　○＿＿＿＿

●15　軽量鉄骨壁下地　　[6.7.3、4]

スタッド、ランナーの種類
⊠改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
○図示　○＿＿＿＿＿＿
スタッドの高さが5.0mを超える場合　　⊠図示　　○＿＿＿＿
出入口及びこれに準ずる開口部の補強　⊠標準仕様書 6.7.4(5) による　○＿＿＿＿

●25　せっこうボードその他のボード張り　　[6.13.2、3] [表6.13.1]

ＭＤＦ及びパーティクルボートのホルムアルデヒド放散量
⊠Ｆ☆☆☆☆　○＿＿＿＿＿
合板のホルムアルデヒド放散量
⊠改修標準仕様書6.13.2(2)(ｲ)の(a)～(d)のいずれか
○＿＿＿＿
接着剤のホルムアルデヒド放散量
⊠Ｆ☆☆☆☆　○＿＿＿＿＿
木質系セメント板 Ｇ

種　類	厚さ(mm)、規格等
○硬質（ＨＷ）	○15　○20　○25　○＿＿＿＿＿
○中質（ＭＷ）	○15　○20　○25　○＿＿＿＿＿
○普通（ＮＷ）	○15　○20　○25　○＿＿＿＿＿

木片セメント板 Ｇ

種　類	厚さ(mm)、規格等
○硬質（ＨＦ）	○12　○15　○18　○21　○＿＿＿＿＿
○普通（ＮＦ）	○30　○＿＿＿＿＿

繊維強化セメント板

種　類	厚さ(mm)、規格等
●けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ2（無石綿）　●6　○8
○化粧けい酸カルシウム板	普通ボード0.8FK　タイプ2（無石綿）　○6　○8 表面への化粧張り等の加工 ○アクリル樹脂系焼付け　○＿＿＿＿＿

火山性ガラス質複層板

種　類	厚さ(mm)、規格等
○火山性ガラス質複層板	○図示

繊維板

種　類	厚さ(mm)、規格等
○ハードボード（素地） スタンダードボード（無処理）	○素地ハードボード （○未研磨板（RN）　○研磨板（RS）） ○内装用化粧ハードボード（DI） ○2.5　○3.5　○5　○7
○テンパードボード（処理）	○素地ハードボード （○未研磨板（RN）　○研磨板（RS）） ○外装用化粧ハードボード（DE） ○2.5　○3.5　○5　○7
○ミディアムデンシティファイバーボード（MDF） Ｇ	○3　○7　○9　○12
○インシュレーションボード Ｇ	A級（ ○天井仕上　○内装仕上　○＿＿） ○9　○12　○15　○18

パーティクルボード Ｇ

種　類	厚さ(mm)、規格等
○単板張りパーティクルボード	○無研磨板(VN)　　○研磨板(VS) ○10　○12　○15　○18
○化粧パーティクルボード	○単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DV)　　○ﾌﾟﾗｽﾁｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ(DO) ○塗装(DC) ○10（難燃）　○12（難燃）　○＿＿＿

吸音材料

種　類	厚さ(mm)、規格等
●ロックウール化粧吸音板(DR)	○フラットタイプ （○9（不燃）　○12（不燃）　○＿＿） ●凹凸タイプ （●12（不燃）　○15（不燃）　○＿＿）
○ロックウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ1号	○ 25　○＿＿＿＿＿
●グラスウール吸音ﾎﾞｰﾄﾞ32K	● 50(ﾎﾞﾗｽｸﾛｽ包)　○＿＿＿＿＿

せっこうボード製品

種　類	厚さ(mm)、規格等
●せっこうボード(GB-R)	●9.5（不燃）　○5（不燃）
○不燃積層せっこうボード(GB-NC)	9.5（不燃）　○化粧無（下地張り用） ○化粧有（トラバーチン模様）
○シージングせっこうボード(GB-S)	12.5（⊠不燃　○準不燃）
●強化せっこうボード(GB-F)	○12.5（不燃）　●21（不燃）
●せっこうラスボード(GB-L)	7.0
●化粧せっこうボード(GB-D)	○木目　12.5（不燃）幅440mm程度 模様（○柾目　○板目）専用下地材有り ●トラバーチン模様　9.5（準不燃）

合板 Ｇ

種　類	厚さ(mm)、規格等
●普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （⊠ﾗﾜﾝ合板程度　○＿＿＿＿） 不透明塗料塗り （⊠しな合板程度　○＿＿＿＿） 板面の品質　●２等以上 厚さ(mm)　⊠図示　○＿＿＿＿ 防虫処理　○行う　○行わない
○天然木化粧合板	化粧板の樹種名　○＿＿＿＿ 厚さ(mm)　⊠図示　○＿＿＿＿ 防虫処理　○行う　○行わない
○特殊加工化粧合板	化粧加工の方法（○ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　○ﾌﾞﾘﾝﾄ　○塗装） 表面性能（＿＿＿）タイプ 厚さ(mm)　⊠図示　○＿＿＿＿ 防虫処理　○行う　○行わない
○不透湿加工合板	基板（合板） 不透湿シート（ＰＥＴアルミ紙）(両面) 厚さ(mm)　⊠図示　●12 ※繋ぎ部分アルミテープ処理
○調湿石膏ボード	タイガーハイクリンスカットボード同等品 厚さ(mm)　※図示　●12.5

化粧板

○メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903による（⊠1.2　○＿＿）
○ポリエステル樹脂化粧板	

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
⊠図示　○＿＿＿＿＿
合板類の張付け　　○A種　⊠B種　○＿＿＿＿＿
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
⊠仕上げ表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類

突付け工法のエッジの種類	○ベベルエッジ　○スクェアエッジ
目透し工法のエッジの種類	○ベベルエッジ　○スクェアエッジ

化粧加工の方法（○オーバーレイ　　○プリント　　○塗装　　○＿＿＿＿＿）

⑥-2 ユニット及びその他の工事

●17　天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
⊠ｱﾙﾐﾆｳﾑ製 ○＿＿＿	●450×450 ●600×600 ○＿＿＿	●一般形 ○気密形	○屋内外用 ●屋内用	●額縁タイプ ○目地タイプ	●額縁ﾀｲﾌﾟ ○目地ﾀｲﾌﾟ

品質、性能、試験方法は建築材料等品質性能表（改修）(2)6-2章天井点検口による

⑦ 塗装改修工事

● 1　材料　　[7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
⊠Ｆ☆☆☆☆　　○＿＿＿＿＿
防火材料　⊠屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
○次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：＿＿＿＿＿）

● 2　下地調整　　[7.2.1～7] [表7.2.1～7]

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
⊠劣化部分は除去し、活膜部分は残す　　○図示　○＿＿＿＿＿
既存錆止め塗料の鉛含有量調査　　○行う（＿＿＿＿箇所）　　○行わない
下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	⊠不透明塗料塗りの場合はＲＢ種 ○＿＿＿＿＿	
鉄鋼面	⊠ＲＢ種　○＿＿＿＿＿	
亜鉛めっき面	⊠ＲＢ種　○＿＿＿＿＿	
亜鉛めっき面（鋼製建具等）	⊠ＲＢ種　○＿＿＿＿＿	
モルタル、 せっこうプラスター面	⊠ＲＢ種　○＿＿＿＿＿	○行う ○行わない
コンクリート面(DP以外)、 ＡＬＣパネル面	⊠ＲＢ種　○＿＿＿＿＿	○行う ○行わない
押出成形セメント板面	○ＲＡ種　○ＲＢ種 ○ＲＣ種	○行う ○行わない
コンクリート面(DP)	○ＲＢ種　○ＲＣ種	○行う ○行わない
せっこうボード面及び その他ボード面	⊠ＲＢ種　○＿＿＿＿＿	

○ 3　素地ごしらえ　　[7.3.2～7] [表7.3.1～7]

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	⊠Ａ種　○Ｂ種
	透明塗料塗りの場合	⊠Ｂ種　○Ａ種
鉄鋼面（DP以外）		⊠Ｃ種　○Ａ種　○Ｂ種
鉄鋼面（DP）		⊠Ｂ種　○Ａ種　○Ｃ種
亜鉛めっき鋼面		○Ａ種　○Ｂ種
モルタル面及びせっこうプラスター面		⊠Ｂ種　○Ａ種
コンクリート面（DP以外）及びＡＬＣパネル面		⊠Ｂ種　○Ａ種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		○Ａ種　○Ｂ種
コンクリート面（DPのみ）		⊠Ｂ種　○Ａ種
せっこうボード面及び その他ボード面	目地：継目処理工法	⊠Ａ種　○Ｂ種
	目地：継目処理工法以外	⊠Ｂ種　○Ａ種

○ 4　錆止め塗料塗り　　[7.4.2、3] [表7.4.1～6]

錆止め塗料塗りの種別

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	Ａ種	⊠Ｃ種　○＿＿
		新規見え掛り	Ａ種	⊠Ａ種　○＿＿
		新規見え隠れ	Ａ種	⊠Ｂ種　○＿＿
	EP-G （工程の種別は表7.4.3）	塗替え	⊠Ｂ種　○Ａ種	⊠Ｃ種　○＿＿
		新規見え掛り	⊠Ｂ種　○Ａ種	⊠Ａ種　○＿＿
		新規見え隠れ	⊠Ｂ種　○Ａ種	⊠Ｂ種　○＿＿
	DP （工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)(ｲ)(b)による。	○Ａ種（下地調整ＲＡ種） ○Ｂ種（下地調整ＲＢ種） ○Ｃ種（下地調整ＲＣ種）
		新規	7.4.2(1)(ｲ)(a)による。	○Ａ種
亜鉛めっき鋼面	SOP （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	⊠Ａ種　○Ｂ種	⊠Ｃ種　○＿＿
		新規　鋼製建具等	⊠Ａ種　○Ｂ種	⊠Ａ種　○＿＿
		新規　その他	⊠Ｂ種　○＿＿	⊠Ｂ種　○＿＿
	EP-G （工程の種別は表7.4.5）	塗替え	⊠Ｃ種　○＿＿	⊠Ｃ種　○＿＿
		新規　鋼製建具等	⊠Ｃ種　○＿＿	⊠Ａ種　○＿＿
		新規　その他	⊠Ｃ種　○＿＿	⊠Ｂ種　○＿＿
	DP （工程の種別は表7.4.6）	塗替え	⊠Ｂ種　○＿＿	
		新規	⊠Ｂ種　○＿＿	

● 5　塗装　　[7.5.2～7.12.2] [表7.5.1～7.13.1]

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
○合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 塗料の種類 ⊠1種　○2種	木部屋外	⊠B種　○＿＿	⊠A種　○＿＿
	木部屋内	⊠B種　○＿＿	⊠B種　○＿＿
	鉄鋼面	⊠B種　○＿＿	⊠B種　○A種
	亜鉛めっき鋼面(鋼製建具)	⊠A種　○＿＿	⊠B種　○＿＿
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具以外)	⊠B種　○＿＿	⊠B種　○＿＿
○クリヤラッカー塗り(CL)		⊠B種　○A種	⊠B種　○A種
○アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		⊠B種　○A種	⊠B種　○A種
○耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級（＿＿）級		
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（＿＿）級		
	ｺﾝｸﾘｰﾄ面及び押出成形ｾﾒﾝﾄ板面	○A-1種　○A-2種 ○B-1種　○B-2種 ○C-1種　○C-2種	○A-1種　○＿ ○B-1種　○＿ ○C-1種　○＿
○つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)	ｺﾝｸﾘｰﾄ面等	⊠B種　○＿＿	⊠B種　○A種
	屋内の木部	⊠B種　○＿＿	⊠A種　○＿＿
	屋内の鉄鋼面	⊠B種　○＿＿	⊠B種　○A種
	屋内の亜鉛めっき面	⊠A種　○＿＿	⊠A種　○B種
●合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		⊠B種　○＿＿	⊠B種　○A種
○ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		⊠B種　○＿＿	⊠B種　○A種
○ステイン塗り		○ピグメントステイン塗り ○オイルステイン塗り（ＯＳ）	
○木材保護塗料塗り(WP)		⊠B種　○A種	⊠B種　○A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
⊠B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.9.1の工程１の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
○＿＿＿＿
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
⊠B種又はC種の場合は改修標準仕様書表7.10.1の工程１の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
○＿＿＿＿
○高日射反射率塗料塗り Ｇ
下地調整（改修標準仕様書表7.2.2）　○ＲＡ種　⊠ＲＢ種　○ＲＣ種

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量 (kg/㎡)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	２種	○１級 ○２級 ○３級	塗料製造所の仕様による

クリヤラッカー塗りＡ種の工程２の適用
○適用しない
○適用する（着色剤：○溶剤系着色剤　○油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程１の着色の適用
○適用する
○適用しない
オイルステイン塗りの工程等
○製造所の仕様による

○ 6　有害物質の処理

除去処理対象物質　○ＰＣＢ　○六価クロム　　○＿＿＿＿
除去対象物　　○＿＿＿＿
除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿
除去方法　　○＿＿＿＿
処分　　○＿＿＿＿
有害物質の取扱については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき適正に

令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	建築改修工事特記仕様書（２）
縮　　尺	A1：N.S　(A3：N.S)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 44　号

船橋市建設局都市整備部公園緑地課

8 環境配慮改修工事

● 1 石綿含有建材の除去工事

[9.1.1、3～6]

○石綿粉じん濃度測定

測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）
○	測定 1	処理作業前	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 2		調査対象室外部の付近	○計＿＿点
○	測定 3	処理作業中	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 4		ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口	○計＿＿点
○	測定 5		集じん･排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹き出し風速 1m/s以下の位置 ○計＿＿点
○	測定 6		処理作業室内 ○施工区画周辺 ○敷地境界	○計＿＿点
○ ○	測定 7	処理作業後（ｼｰﾄ養生中）	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 8	処理作業後（ｼｰﾄ撤去後1週間以降）	処理作業室内	○計＿＿点
○	測定 9		調査対象室外部の付近	○計＿＿点

測定方法

○自動測定器による測定

測定名称	測定方法
○測定 4 ○測定 5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

○JIS K 3850-1 に基づいた測定

測定名称	メンブレンフィルタ直径（mm）	試料の吸引流量（l/min）	試料の吸引時間（min）
○測定 4 ○測定 5 ○＿＿	25	5	30
○測定 ○＿＿	47	10	120
○測定 ○＿＿	47	10	240
○測定 ○＿＿			

[9.1.3～6]

石綿含有建材の処理

○石綿含有吹付け材の除去

除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿＿

除去工法

⊠改修標準仕様書9.1.3 (2) (ｱ)による　○＿＿＿＿＿

除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置

⊠湿潤化　○固形化

除去した石綿含有吹付け材等の処分

○埋立処分（管理型最終処分場）

○中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

○石綿含有保温材等（石綿含有けい酸カルシウム板第二種含む） の除去

除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿＿

除去工法　○破砕して除去　○手ばらし

除去した石綿含有保温材等の飛散防止　⊠湿潤化　○固形化

除去した石綿含有保温材等の処分

○埋立処分（管理型最終処分場）

○中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

○石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去

除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿＿

除去した石綿含有成形板の処分

○石綿含有せっこうボード

⊠埋立処分（管理型最終処分場）

○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板

○埋立処分（安定型最終処分場）

○中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

●石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去

除去対象範囲　●図示　○＿＿＿＿＿

隔離養生（負圧不要） 方法

○ビニールシート等による養生を行う　○＿＿＿＿＿

足場　○図示　○＿＿＿＿＿

除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分

●埋立処分（安定型最終処分場）

○中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

○＿＿＿＿＿

○石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去

除去対象範囲　○図示　○＿＿＿＿＿

着工前の試験施工　⊠行う　○行わない

除去工法

○集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法

○集じん装置併用手工具ケレン工法

○集じん装置付き高圧水洗工法（15MPa以下、30～50MPa程度）

○集じん装置付き超高圧水洗工法（100MPa以上）

○剥離剤併用超音波ケレン工法

○剥離剤併用手工具ケレン工法

○剥離剤併用高圧水洗工法（30～50MPa程度）

○剥離剤併用超高圧水洗工法（100MPa以上）

○超音波ケレン工法（HEPAフィルター付き掃除機併用）

○手ケレン工法

養生方法

○＿＿＿＿＿

除去した石綿含有仕上塗材の処分

○埋め立て処分（安定型最終処分場）

○埋め立て処分（管理型最終処分場）

○中間処理（溶融施設または無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　○図示　○＿＿＿＿＿

別記1「建設副産物の処理」

● 1 共通事項

1)「千葉県建設リサイクル推進計画2016ガイドライン」を準用し、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含める各１部提出すること。
また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各１部提出するとともに、これらの記録を工事完成後五年間保存しておくこと。

◎作成対象工事
「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」は請負金額が、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」は最終請負金額が１００万円以上の全ての工事について建設資材の利用、建設副産物の発生・搬出の有無にかかわらず作成する。

2)「建設副産物の処理基準及び再生資材の利用基準」 に基づき、建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」 を作成し、監督職員の確認を受け、同申請書を１部提出すること。なお、建設廃棄物の処理を委託する場合は、収集運搬又は処分について許可業者と各々建設廃棄物処理契約を締結し、「建設廃棄物処理委託契約書」を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを同申請書に添付すること。建設副産物の処理完了後速やかに、「建設副産物処理調書」 を作成し、１部提出するとともに、実際に要した処理費等を証明する資料（受入伝票、写真等）を監督職員に提示し確認を受けること。

3) 建設副産物の処理に当たって、産業廃棄物管理票制度に基づく紙マニフェスト方式による場合は、原則として複写式伝票の D 票及び E 票を提示すること。
また、電子マニフェスト方式による場合は、原則として廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき指定された情報処理センターが発行する当該工事のマニフェスト情報を収録した電子媒体又は建設廃棄物の引渡し時、運搬終了時及び処分終了時に登録される情報を印刷したもの（受渡確認票等）を提示すること。

○ 2 建設発生土

土砂等に係る条例を遵守し、また、「建設発生土管理基準」及び「建設副産物に係る処理基準及び再生資材の利用基準」に従い適正に処理を行うこと。
なお、この基準は次のものに適用する。

○埋立て或いは、工事間利用等をする建設発生土の管理

○公共工事以外から搬入される土砂等の管理

（１）指定（Ａ）（工事間利用）の場合
発生する建設発生土のうち、下記に示す発生土については、工事間利用を図り指定地に搬出するものとする。

ア 搬出先（相手先工事名、工事場所等）
＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿工事
＿＿＿＿市＿＿＿＿＿町地先

イ 土質及び処分量 ： 第＿＿＿種建設発生土＿＿＿＿＿m3

ウ 搬出時期 ： 令和＿＿年＿＿月～令和＿＿年＿＿月

（２）指定（Ａ）（その他）の場合
建設発生土（＿＿＿＿m3）は、＿＿＿＿ 市　　町地先に搬出するものとする。

（３）指定（Ｂ）の場合
建設発生土（ 153.9 m3）は、片道運搬距離 ３１.５kmに搬出するものとする。

○ 3 路盤廃材

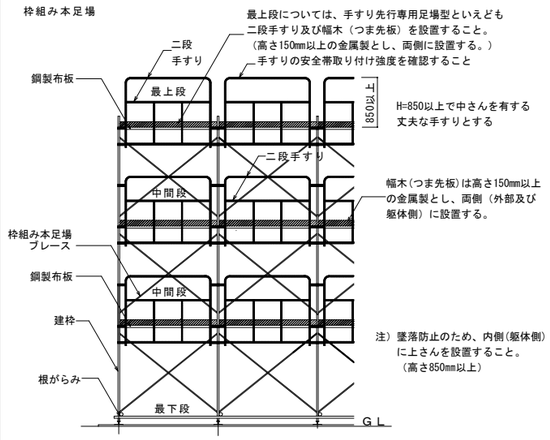
	数 量	搬出先	片道運搬距離	処分方法	備 考
○路盤廃材	＿＿t	＿＿郡市 ＿＿町地先	＿＿km	⊠中間処理場 ○最終処分場	

● 4 建設廃棄物等

機械設備工事特記仕様書による。

別記2

仮設足場（参考）



「働きやすい安心感のある足場」手すり先行専用足場型概念図

足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について」（厚生労働省　基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

令和７年度	
工 事 名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公 園 名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	建築改修工事特記仕様書（３）
縮 尺	A1: N.S (A3: N.S)
図 面 番 号	全 78 葉ノ内第 45 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

パフォーマンスゾーン

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
B1階	将来工事	エントランスホール	W-6a-1	—	2,500～5,200	※１
		インフォメーション	W-6b	M-1	2,800	※１
		ホール１	W-6b	M-1	3,200	※１
		収蔵庫１	C-8	—	3,200	
		倉庫１	C-2	M-2	3,000	
		男子便所	C-4	M-2	2,800	
		女子便所	C-4	M-2	2,800	
		身障者便所	C-4	M-2	2,800	
		アンデルセンスタジオ（錦の兵隊１）（旧 図書室）	C-9	M-2	3,200	※１
		ギャラリー１ａ	W-6b	M-1	3,200	※１
		ギャラリー１ｂ	W-6a-2	M-1	2,500～3,450	※１
B1階	１期工事（改修済）	語り聞かせの部屋（旧 観察アトリエ）	C-4	M-1	3,200	※１
		ダビングルーム	C-10	—	3,012～3,400	
		階段室２	W-6b	—	2,800	※１
		空調機械室	W-3	—	2,800～4,650	
1階	３期工事	ホール２	W-6a-2'	M-1	3,200	※１
		事務室・館長室	C-4	M-2	3,200	
		職員通路・職員出入口	C-4	M-2	2,800	
		湯沸室	C-5	M-2	2,800	
		更衣室１	C-5	M-2	2,800	
		更衣室２	C-5	M-2	2,800	
		男子便所	C-4	M-2	2,800	
		女子便所	C-4	M-2	2,800	
		ワークショップ準備室	C-4	M-1	2,800	※１
		ツールボックス	C-2	M-2	2,500	
		倉庫２	C-2	M-2	2,800	
		指導員室	C-4	M-1	2,800	※１
		倉庫３	C-2	M-2	2,800	
		倉庫４	C-2	M-2	2,800	
		版画アトリエ	C-4	M-1	3,200	※１
		男子便所	C-4	M-2	2,800	
		女子便所	C-4	M-2	2,800	
		多目的便所	C-4	M-2	2,800	
		ｼｬﾜｰ室１	C-2	M-2	2,800	

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
1階	３期工事	ｼｬﾜｰ室２	C-2	M-2	2,800	
		談話・会議室	C-4	M-1	2,800	※１
		倉庫５	C-2	M-2	2,800	
		ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ製作室	C-4	M-2	2,800	
2階	２期工事（改修済）	ｷﾞｬﾗﾘｰ２	C-6-2	—	3,500～4,200	
		展示室１	W-6a-2	—	3,500～4,150	※１
			C-6-1	—	5,000	
		展示室２	W-6a-2	—	3,500～4,150	※１
			C-6-1	—	5,000	
		収蔵庫-2	C-2	M-2	2,800	
		収蔵庫３	C-2	M-2	2,800	
		男子便所	C-4	M-2	2,800	
		女子便所	C-4	M-2	2,800	
		多目的便所	C-4	M-2	2,800	

クラフトゾーン　木のアトリエ

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
1階	１期工事（改修済）	木工作業室	C-4	M-2	4,000	※１
		工具室	C-2	M-2	3,900	
		便所	C-4	M-2	2,400	
		集塵機置場	C-4	M-2	2,800	

クラフトゾーン　共用部分

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
1階	１期工事（改修済）	倉庫	C-2	M-2	3,000	
		男子便所	C-4	M-2	2,320	
		女子便所	C-4	M-2	2,320	
		身障者便所	C-4	M-2	2,300	

クラフトゾーン　染織のアトリエ

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
1階	１期工事（改修済）	染色作業室	C-4	—	3,000	
		倉庫	C-2	M-2	2,500	
		便所	C-4	M-2	2,400	
2階		機織作業室	C-4	—	2,600～3,800	
		倉庫	C-2	M-2	2,800	

クラフトゾーン　食のアトリエ

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
1階	１期工事（改修済）	調理室	C-4	M-2	3,000	※１
		食品庫	C-2	M-2	2,500	

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
1階	１期工事（改修済）	便所	C-4	M-2	2,150	
2階		研修室	C-4	—	2,800～3,800	

楽屋棟

階数	工期	室名	天井	廻縁	CH	備考
1階	将来工事	控室	C-4	M-2	3,200	
		倉庫	C-4	M-2	3,200	
		男子便所	C-2	M-2	3,200	
		女子便所	C-2	M-2	3,200	

※１：既存壁漆喰仕上を損傷した場合は、補修を行なうこと。

凡例（改修前・後）		
W-6a-1	色漆喰塗り(撫物仕上)t=10　★GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地（曲げ加工）	【撤去】
	色漆喰塗り(撫物仕上)t=17　GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地（曲げ加工）	【新設】
W-6a-2	色漆喰塗り(撫物仕上)t=10　★GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地（曲げ加工）	【撤去】
	色漆喰塗り(半押え)t=12　GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地（曲げ加工）	【新設】
W-6a-2'	色漆喰塗り(撫物仕上)t=10　★GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地（曲げ加工）	【撤去】
	色漆喰塗り(半押え)t=10　GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地（曲げ加工）	【新設】
W-6b	色漆喰塗り(撫物仕上)t=10　★GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地	【撤去】
	漆喰風塗材(エスケー化研 ベルアート同等品)　GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地	【新設】
W-3	グラスウールボード t=50 (48kg/m³)(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包)	【撤去・新設】
C-2	ケイカル板t=6　EP　LGS下地	【撤去・新設】
C-4	★GB-R t=9.5＋★岩綿吸音板t=12　LGS下地	【撤去・新設】
C-5	クロス貼＋GB-R t=9.5　LGS下地	【撤去・新設】
C-6-1	ガラス天井【合わせガラスt=4.5 取外し 遮光ガラスフィルム貼りの上 再取付】	別紙詳細図による
C-6-2	ガラス天井【合わせガラスt=4.5 取外し・再取付】	別紙詳細図による
C-8	不透湿加工合板t=12＋★特殊調湿材t=12　化粧パターン　LGS下地	【撤去】
	調湿塗材(エスケー化研 SK調湿ウォール同等品)	【新設】
	不透湿加工合板t=12＋調湿石膏ボードt=12.5　LGS下地	別紙詳細図による
C-9	★GB-R t=12.5＋★GB-D t=9.5　EP　LGS下地	【撤去・新設】
C-10	遮音天井　LGS下地	【撤去】別紙撤去詳細図による
	GB-R t=9.5＋岩綿吸音板 t=12　LGS下地	【新設】
M-1	廻縁 木製 42x36	【撤去・新設】
M-2	廻縁 塩ビ製 10x15	【撤去・新設】
備考	W-6a-1　色漆喰塗り仕様　※現場調合漆喰 【撤去】　色漆喰塗り(撫物仕上) t=10 ※ボード下地 ・漆喰＋スサ＋ふのり　上塗り ・砂漆喰塗　中塗り ・軽量骨材入りモルタルこすり　下塗り 【新設】　色漆喰塗り(撫物仕上) t=17　※現場調合漆喰　※既存漆喰仕上の補修を含む ※漆喰工事材料配合・施工手順図による。	
	W-6a-2　色漆喰塗り仕様　※現場調合漆喰 【撤去】　色漆喰塗り(撫物仕上) t=10 ※ボード下地 ・漆喰＋スサ＋ふのり　上塗り ・砂漆喰塗　中塗り ・軽量骨材入りモルタルこすり　下塗り 【新設】　色漆喰塗り(半押え) t=12　※既調合漆喰　※既存漆喰仕上の補修を含む ※漆喰工事材料配合・施工手順図による。	
	W-6a-2' 【新設】　色漆喰塗り(半押え) t=10 ※新設漆喰厚以外は W-6a-2 と同じ。	
	★：アスベスト含有建材として撤去	
	※GB-L：石膏ラスボード　GB-Rに押型加工を施した石膏プラスター塗壁下地用ボード	

令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	仕上表
縮尺	A1: N.S　(A3: N.S)
図面番号	全 78　葉ノ内第 46　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

漆喰工事材料配合・施工手順図（参考図）　S=1/1

W-6a-1　色漆喰塗り(撫物仕上)t=17
※曲面天井用　西谷調合本漆喰

1．材料配合

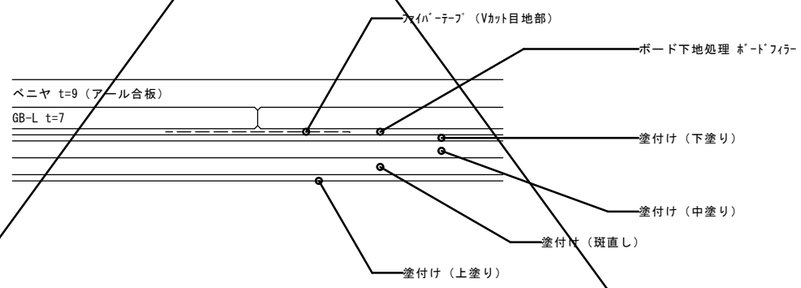
	使用材料						
下地処理	ボードフィラー（粉体）	混和液				清水	塗厚
	13.7～14.7kg(1袋)	1.7kg				2.1～3.5L	1～3mm

漆喰塗り区分	使用材料							
	塗層	特選消石灰容積比	砂容積比	つのまた糊※２	マニラｽｻ※２	さらしｽｻ※２	色粉※２	塗厚
下塗り	下こすり	1	0.1～0.25	約18kg	900ｇ			1mm
	上付け	1	0.5	約18kg	900ｇ			1mm
中塗り	鹿の子摺り	1	0.5～1	約16kg	900ｇ			1mm
	中塗り	1	0.7	約13kg	700ｇ			4.5mm
斑直し	斑直し	1	1.3	約16kg	800ｇ			5.5mm
上塗り	下付け	1		約9kg		400ｇ		1mm
	上付け	1		約9kg		400ｇ	適量※1	1mm

※１：見本作成時の配合に準じる　　※２：消石灰20kgに対する混入量　　※３：清水配合は現場環境により調整を行う

2．施工手順

① 下地点検	下地ﾎﾞｰﾄﾞの固定が確実に行われているかを確認する。 必要があれば再施工を行う。
② 下地処理	石膏ﾎﾞｰﾄﾞVｶｯﾄ面にﾎﾞｰﾄﾞﾌｨｰﾗｰを詰めて,Vｶｯﾄ面にﾌｧｲﾊﾞｰﾃｰﾌﾟを貼り付ける。 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面にﾎﾞｰﾄﾞﾌｨｰﾗｰを塗付ける。 曲面部分は石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面の段差をなくすようにする。
③ 塗付け（下塗り）	砂漆喰を鏝圧をかけて所定の厚み　(1～3mm)　になるように塗付ける。
④ 塗付け（中塗り）	砂漆喰を鏝圧をかけて所定の厚み　(3～7mm)　になるように塗付ける。
⑤ 塗付け（斑直し）	砂漆喰を鏝圧をかけて所定の厚み　(3～7mm)　になるように塗付ける。
⑥ 塗付け（上塗り）	調合した漆喰を所定の厚みになるように平滑に塗り付ける。
⑦ 仕上げ	材料の水引き具合を見計らって、 金鏝で平滑に仕上げる。
⑧ 養生	通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖を行う。



西谷調合本漆喰（撫物仕上）　断面図　S=1/1

W-6a-2'　色漆喰塗り(半押え) t=10
※西谷オリジナル既調合漆喰

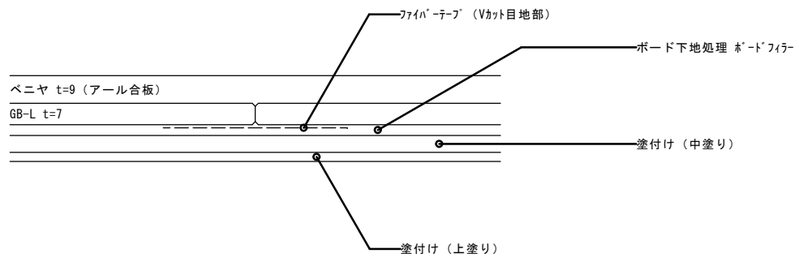
1．材料配合

	使用材料						
下地処理	ボードフィラー（粉体）	混和液			清水		塗厚
	13.7～14.7kg	1.7kg			2.1～3.5L		1～5mm
中塗り	砂漆喰	既調合漆喰(村樫石灰　砂漆喰)	マニラｽｻ		清水		塗厚
		25.0kg(1袋)	適量		約5L		3～7mm
上塗り	下付け	既調合漆喰(村樫石灰仕上　角叉混合用)	さらしｽｻ		清水	角叉糊	塗厚
		25.0kg(1袋)	適量		約9L	約9L	1～2mm
	上付け	既調合漆喰(村樫石灰仕上　角叉混合用)	さらしｽｻ	色粉	清水	角叉糊	塗厚
		25.0kg(1袋)	適量	適量※１	約9L	約9L	1～2mm

※１：見本作成時の配合に準じる

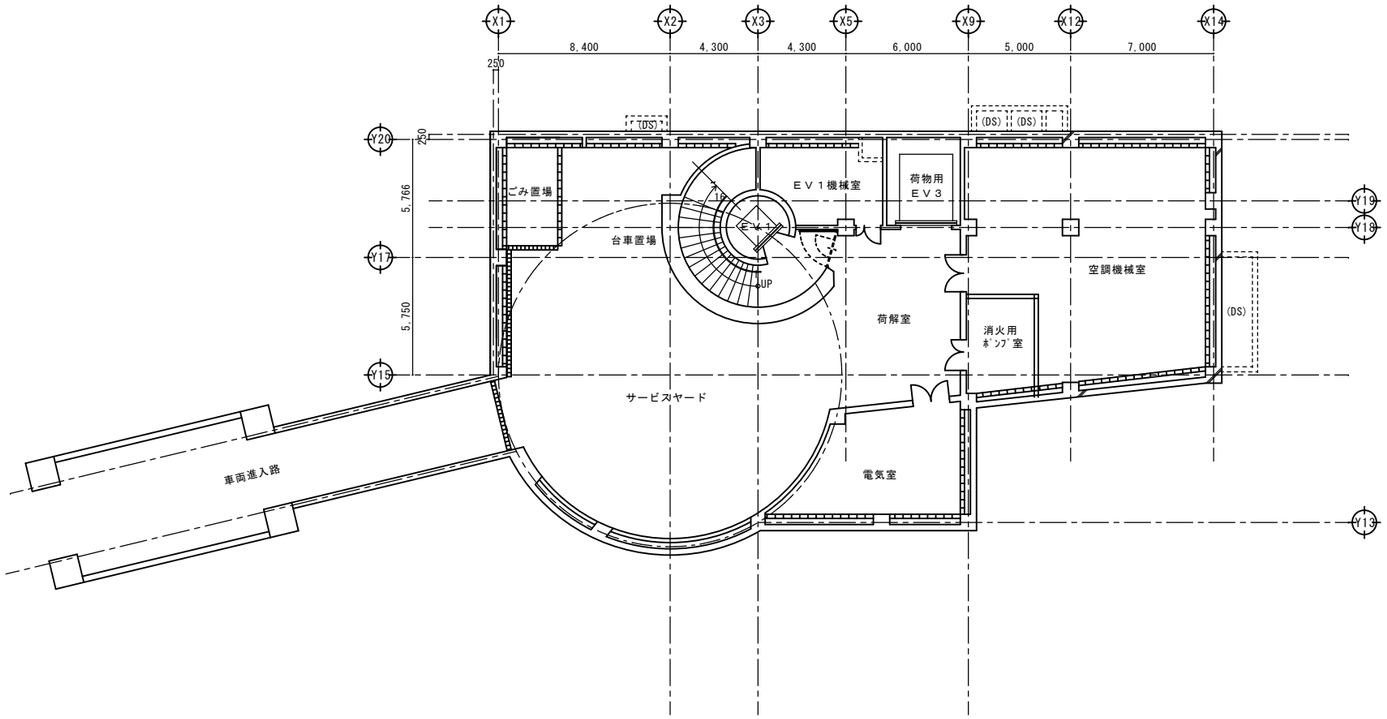
2．施工手順

① 下地点検	下地ﾎﾞｰﾄﾞの固定が確実に行われているかを確認する。 必要があれば再施工を行う。
② 下地処理	石膏ﾎﾞｰﾄﾞVｶｯﾄ面にﾎﾞｰﾄﾞﾌｨｰﾗｰを詰めて,Vｶｯﾄ面にﾌｧｲﾊﾞｰﾃｰﾌﾟを貼り付ける。 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面にﾎﾞｰﾄﾞﾌｨｰﾗｰを塗付ける。 曲面部分は石膏ﾎﾞｰﾄﾞ面の段差をなくすようにする。
③ 塗付け（中塗り）	既調合砂漆喰を鏝圧をかけて所定の厚み　(3～7mm)　になるように塗付ける。
④ 塗付け（上塗り）	既調合漆喰にスサと色粉を配合した材料を、所定の厚みになるように平滑に塗り付ける。
⑤ 仕上げ	材料の水引き具合を見計らって、 金鏝で平滑に仕上げる。
⑥ 養生	通風や直射日光を避け、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖を行う。



西谷オリジナル既調合漆喰（半押え）　断面図　S=1/1

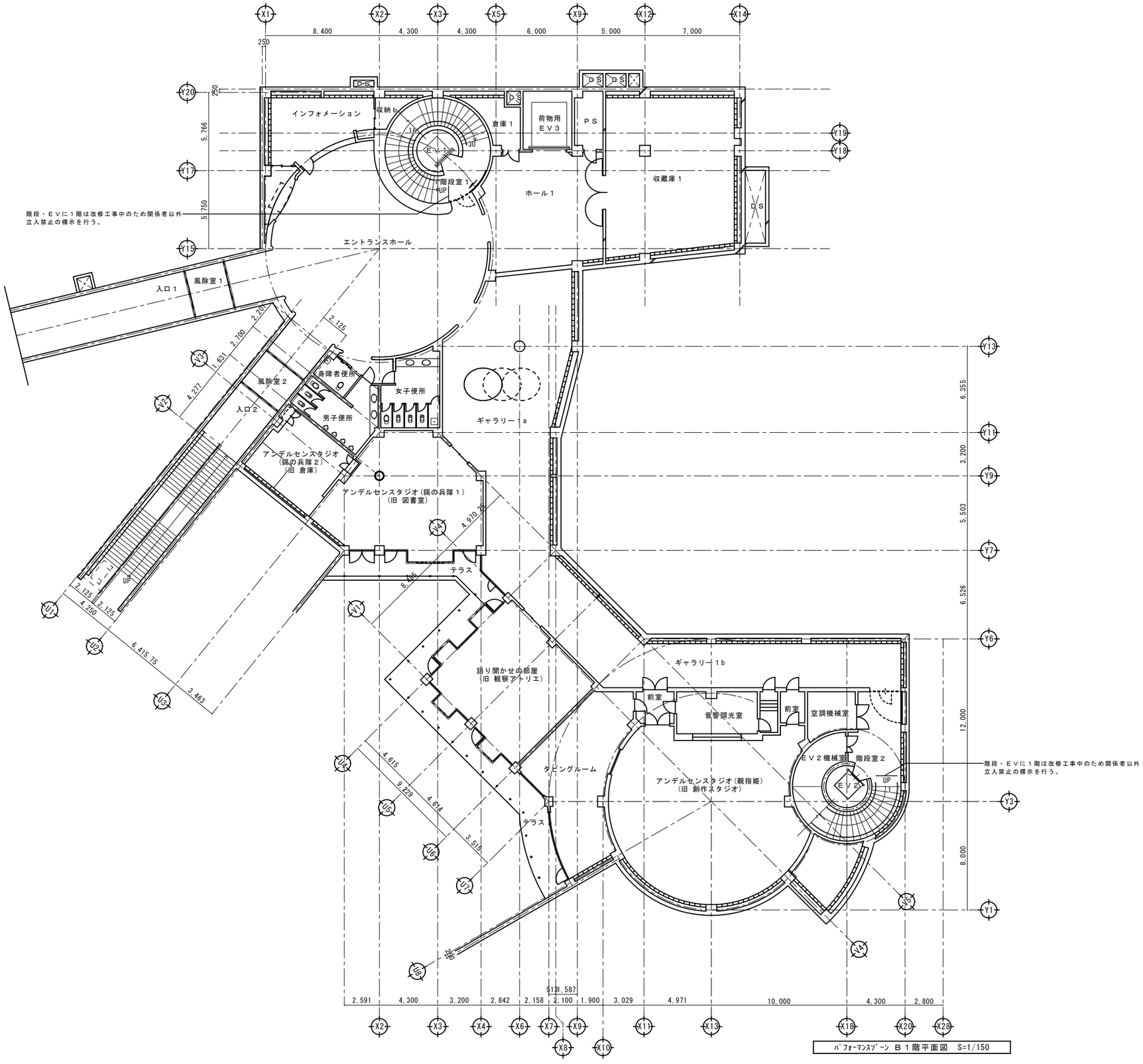
令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	漆喰工事材料配合・施工手順図（参考図）
縮　　尺	A1:1/1 (A3:1/2)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 47　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



特記事項（仮設工事）
※資材の搬出入・備品の移動の際は、安全に配慮し、
床、壁（コーナー部分）、ＥＶの養生を行うこと。

ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ２階平面図　S=1/150

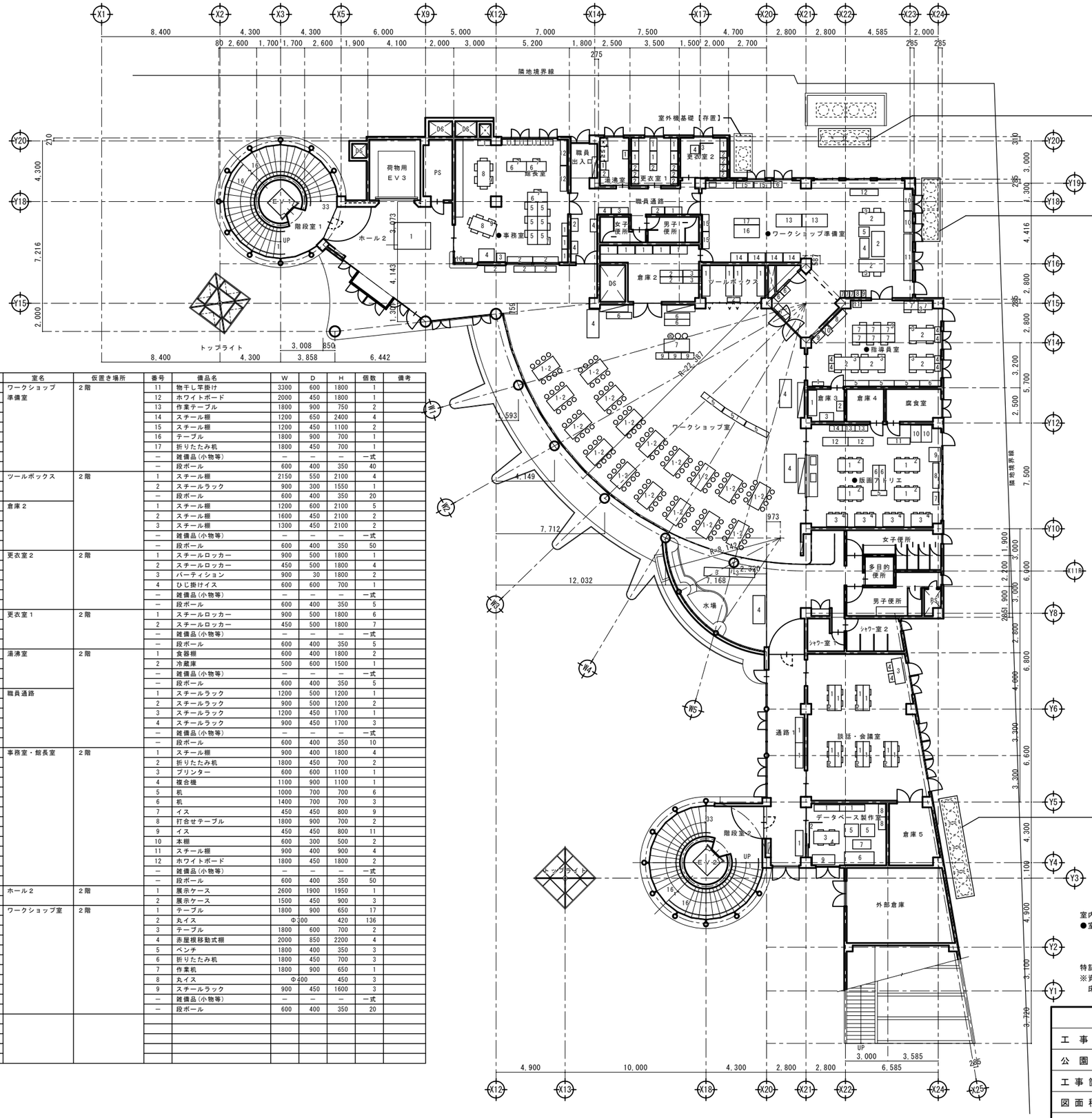
令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工 事 箇 所	船橋市金堀町５２５番ほか
図 面 種 別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ２階平面図
縮　　尺	A1:1/150 (A3:1/300)
図 面 番 号	全 78　葉ノ内第 48　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



パフォーマンスゾーン Ｂ１階平面図 S=1/150

特記事項（仮設工事）
※資材の搬出入・備品の移動の際は、安全に配慮し、
床、壁（コーナー部分）、ＥＶの養生を行うこと。

令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ１階平面図
縮尺	A1:1/150 (A3:1/300)
図面番号	全 78 葉ノ内第 49 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



パフォーマンスゾーン　１階平面図　S=1/150

備品リスト（１階）　※移設・再設置を工事で行う。

室名	仮置き場所	番号	備品名	W	D	H	個数	備考
データベース製作室	２階	1	折りたたみ机	1800	450	700	2	
		2	パーティション	900	30	1800	4	
		3	打合せテーブル	1800	900	700	1	
		4	折りたたみイス	400	100	900	4	
		5	ソファー	1000	900	650	2	
		6	ソファー	2100	900	650	1	
		7	テーブル	1300	650	400	1	
		8	ロッカー	900	500	1800	2	
		9	机	1600	700	700	1	
		―	段ボール	600	400	350	5	
談話・会議室		1	折りたたみ机	1800	450	700	10	
		2	イス	400	400	800	25	
		3	授乳用ベッド	1800	700	600	1	
		4	ひじ掛けイス	600	600	700	2	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
倉庫５		1	折りたたみ机	1800	450	700	10	
		2	掲示板（移動式）	1800	550	2250	3	
		3	折りたたみイス	400	100	900	20	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	20	
通路１		1	掲示板（移動式）	1800	550	2250	3	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
版画アトリエ		1	作業机	1800	900	650	4	
		2	イス	300	300	420	24	
		3	作業机	1500	900	650	4	
		4	イス	300	300	420	12	
		5	作業台	1100	350	500	1	
		6	作業台	1800	450	350	2	
		7	スチールラック	900	450	1550	1	
		8	折りたたみ机	1800	450	700	1	
		9	版画作業台	800	1000	800	1	
		10	版画作業台	750	1200	900	2	
		11	折りたたみ机	1600	450	700	1	
		12	折りたたみ机	1800	600	700	2	
		13	棚	900	400	900	2	
		14	スチール引出し	900	400	950	1	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	20	
倉庫３		1	テーブル	1800	600	700	1	
		2	スチール台	700	500	1200	1	
		3	印刷機	1000	600	1100	1	
		―	段ボール	600	400	350	3	
倉庫４		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	5	
腐食室		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	5	
指導員室	２階	1	スチール棚	800	270	1800	1	
		2	作業机	1800	900	700	4	
		3	イス	450	450	800	24	
		4	そで机	550	400	700	6	
		5	スチール棚	1800	400	1800	3	
		6	スチール棚	1500	400	1800	1	
		7	机	1000	600	700	8	
		8	ミニキッチン	1500	450	2000	1	養生
		9	食器棚	900	400	1800	1	
		10	冷蔵庫	500	600	1500	1	
		11	スチール棚	600	450	1800	1	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	40	
ワークショップ準備室		1	スチールラック	1200	450	1850	1	
		2	作業机	1800	900	750	3	
		3	イス	450	450	800	4	
		4	ブロッター	1400	650	1300	1	
		5	プリンターラック	700	750	1400	1	
		6	スチール引出し	600	450	900	3	
		7	スチール引出し	300	450	900	3	
		8	スチールロッカー	450	500	1800	1	
		9	スチールロッカー	300	500	2000	1	
		10	スチール引出し	1500	600	900	2	

室名	仮置き場所	番号	備品名	W	D	H	個数	備考
ワークショップ準備室	２階	11	物干し竿掛け	3300	600	1800	1	
		12	ホワイトボード	2000	450	1800	1	
		13	作業テーブル	1800	900	750	2	
		14	スチール棚	1200	650	2400	4	
		15	スチール棚	1200	450	1100	2	
		16	テーブル	1800	900	700	1	
		17	折りたたみ机	1800	450	700	1	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	40	
ツールボックス	２階	1	スチール棚	2150	550	2100	4	
		2	スチールラック	900	300	1550	1	
		―	段ボール	600	400	350	20	
倉庫２		1	スチール棚	1200	600	2100	5	
		2	スチール棚	1600	450	2100	2	
		3	スチール棚	1300	450	2100	2	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	50	
更衣室２	２階	1	スチールロッカー	900	500	1800	1	
		2	スチールロッカー	450	500	1800	4	
		3	パーティション	900	30	1800	2	
		4	ひじ掛けイス	600	600	700	1	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	5	
更衣室１	２階	1	スチールロッカー	900	500	1800	6	
		2	スチールロッカー	450	500	1800	7	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	5	
湯沸室	２階	1	食器棚	600	400	1800	2	
		2	冷蔵庫	500	600	1500	1	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	5	
職員通路		1	スチールラック	1200	500	1200	1	
		2	スチールラック	900	500	1200	2	
		3	スチールラック	1200	450	1700	1	
		4	スチールラック	900	450	1700	3	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	10	
事務室・館長室	２階	1	スチール棚	900	400	1800	4	
		2	折りたたみ机	1800	450	700	2	
		3	プリンター	600	600	1100	1	
		4	複合機	1100	900	1100	1	
		5	机	1000	700	700	6	
		6	机	1400	700	700	3	
		7	イス	450	450	800	9	
		8	打合せテーブル	1800	900	700	2	
		9	イス	450	450	800	11	
		10	本棚	600	300	500	2	
		11	スチール棚	900	400	900	4	
		12	ホワイトボード	1800	450	1800	2	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	50	
ホール２	２階	1	展示ケース	2600	1900	1950	1	
		2	展示ケース	1500	450	900	3	
ワークショップ室	２階	1	テーブル	1800	900	650	17	
		2	丸イス	Φ300		420	136	
		3	テーブル	1800	600	700	2	
		4	赤屋根移動式棚	2000	850	2200	4	
		5	ベンチ	1800	400	350	3	
		6	折りたたみ机	1800	450	700	3	
		7	作業机	1800	900	650	1	
		8	丸イス	Φ400		450	3	
		9	スチールラック	900	450	1600	3	
		―	雑備品（小物等）	―	―	―	一式	
		―	段ボール	600	400	350	20	

※廊下部分に仮置きする場合は、通路幅1,500程度を確保すること。

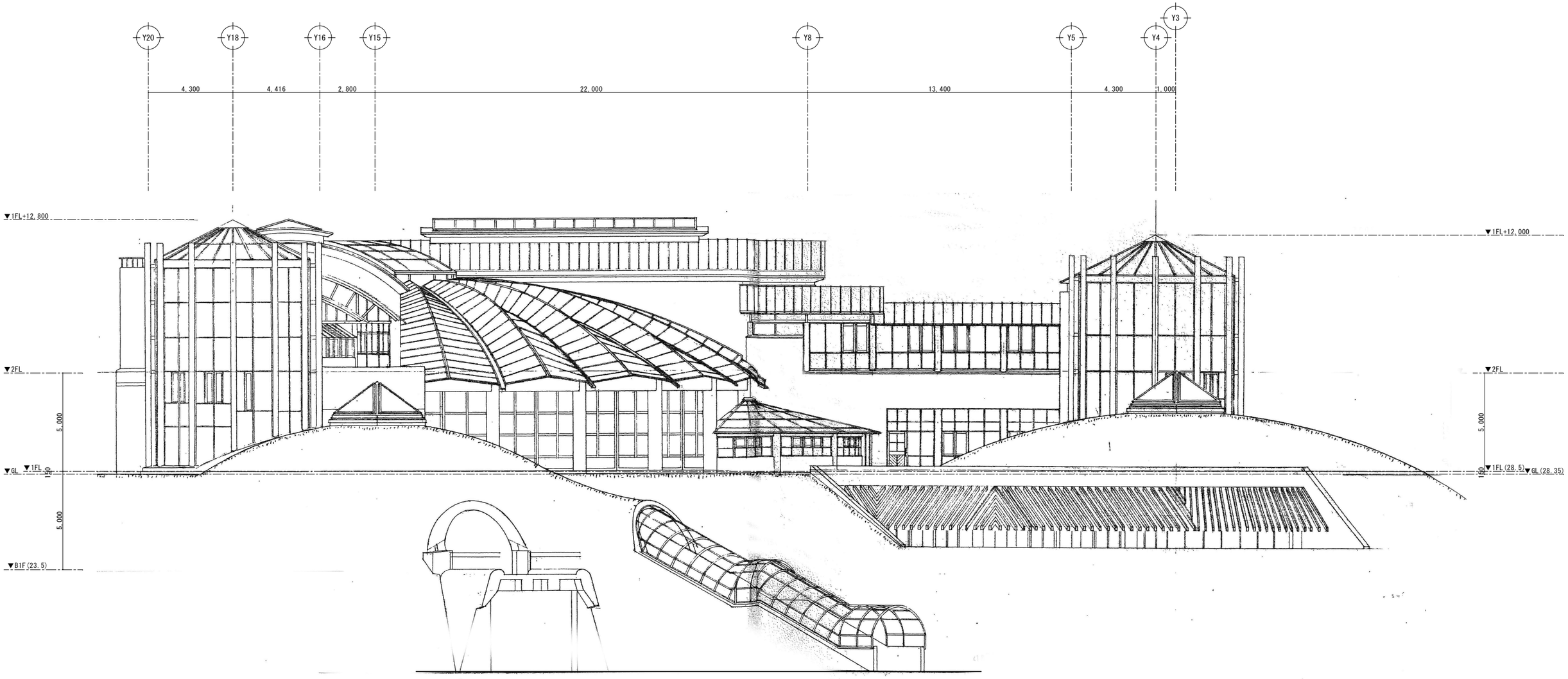
特記事項（備品移設作業）
・事前調査を行い、移設する備品の分類と、養生について、作業計画書を作成すること。
・移設場所及び再設置する位置について、現地打合せを行い、作業計画書に反映すること。
・取外し・再取付け作業、地震時の転倒防止固定を行うこと。
・移設備品に埃が入らないように養生を行うこと。
・建具、流し台等、移設できない備品の養生を行うこと。
・段ボールへの梱包の際は、元の位置へ復旧できるように番号を記載し整理すること。
・上記については、監督員、子ども美術館と打合せの上、作業計画書を作成し承諾の上で作業を行うこと。

室内空気中の化学物質の濃度測定
●室名：測定対象室を示す。
※該当室の中央で測定を行うこと。

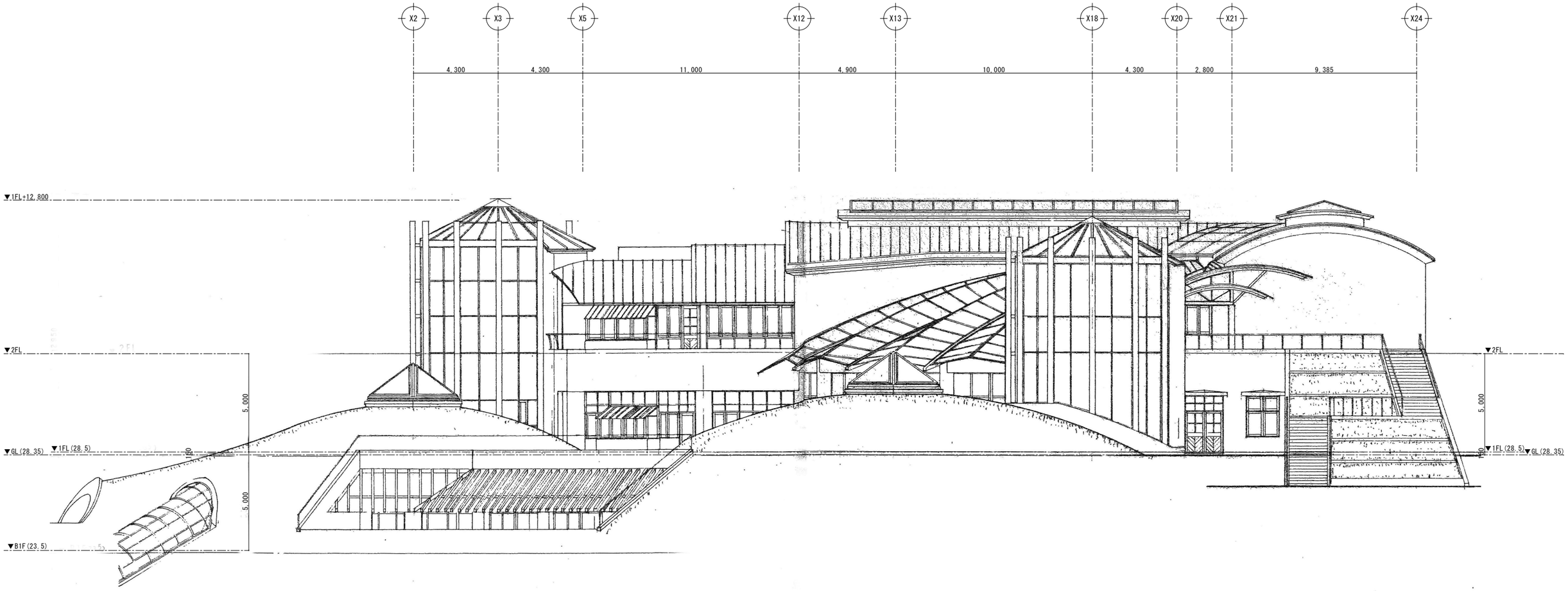
特記事項（仮設工事）
※資材の搬出入・備品の移動の際は、安全に配慮し、床、壁（コーナー部分）、ＥＶの養生を行うこと。

令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽﾞｰﾝ　１階平面図
縮尺	A1:1/150 (A3:1/300)
図面番号	全 78　葉ノ内第 50　号

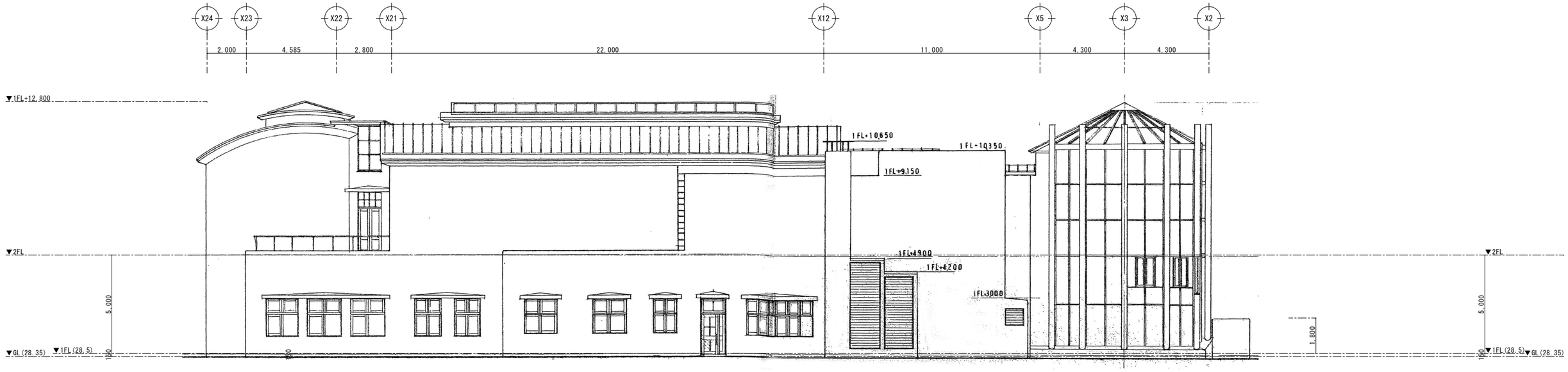
船橋市建設局都市整備部公園緑地課

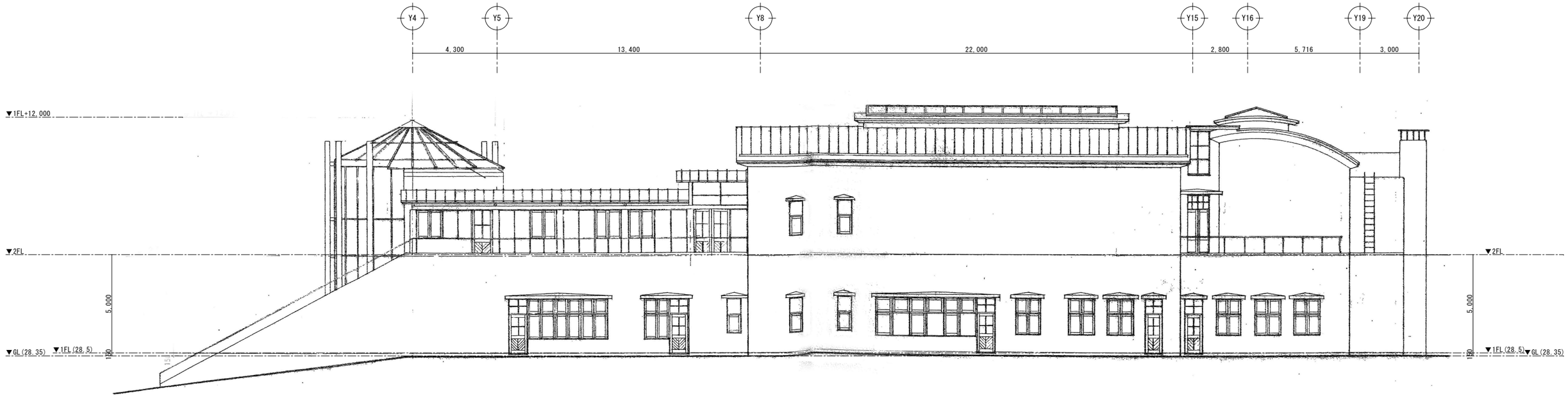


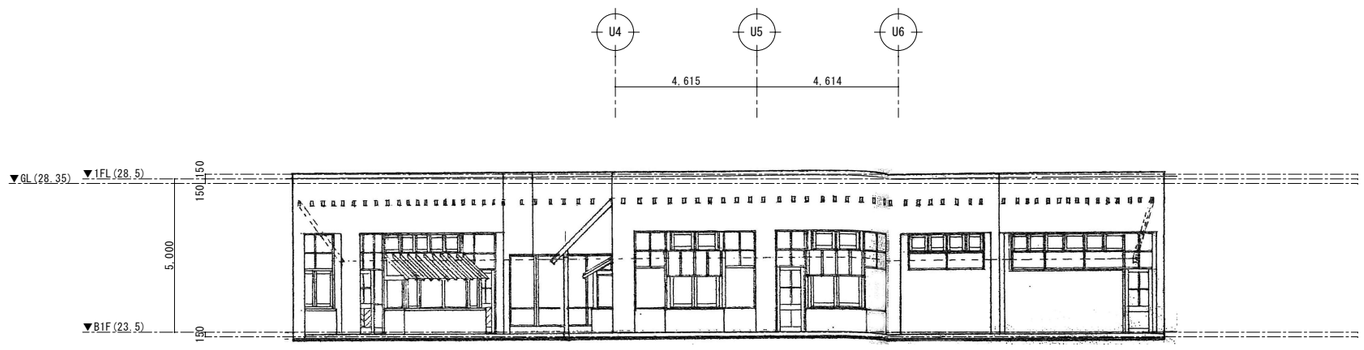
令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ 立面図（１）
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78 葉ノ内第 51 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ 立面図（２）
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 52 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

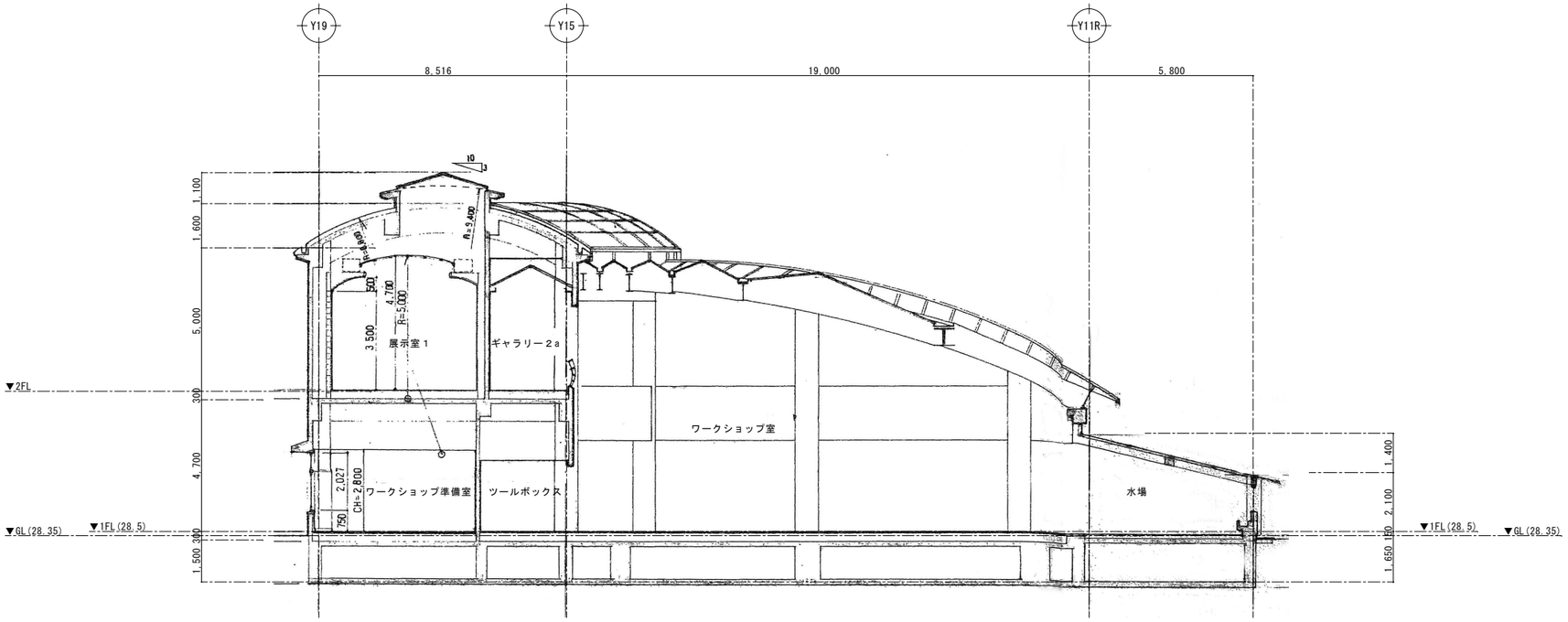




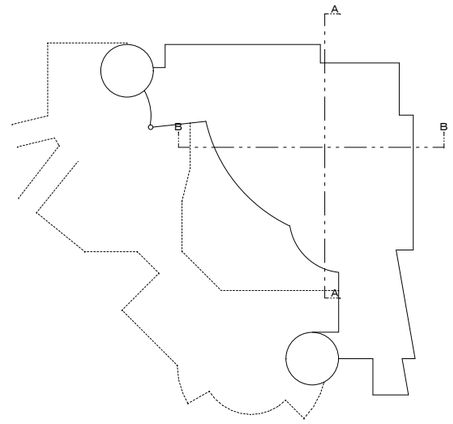


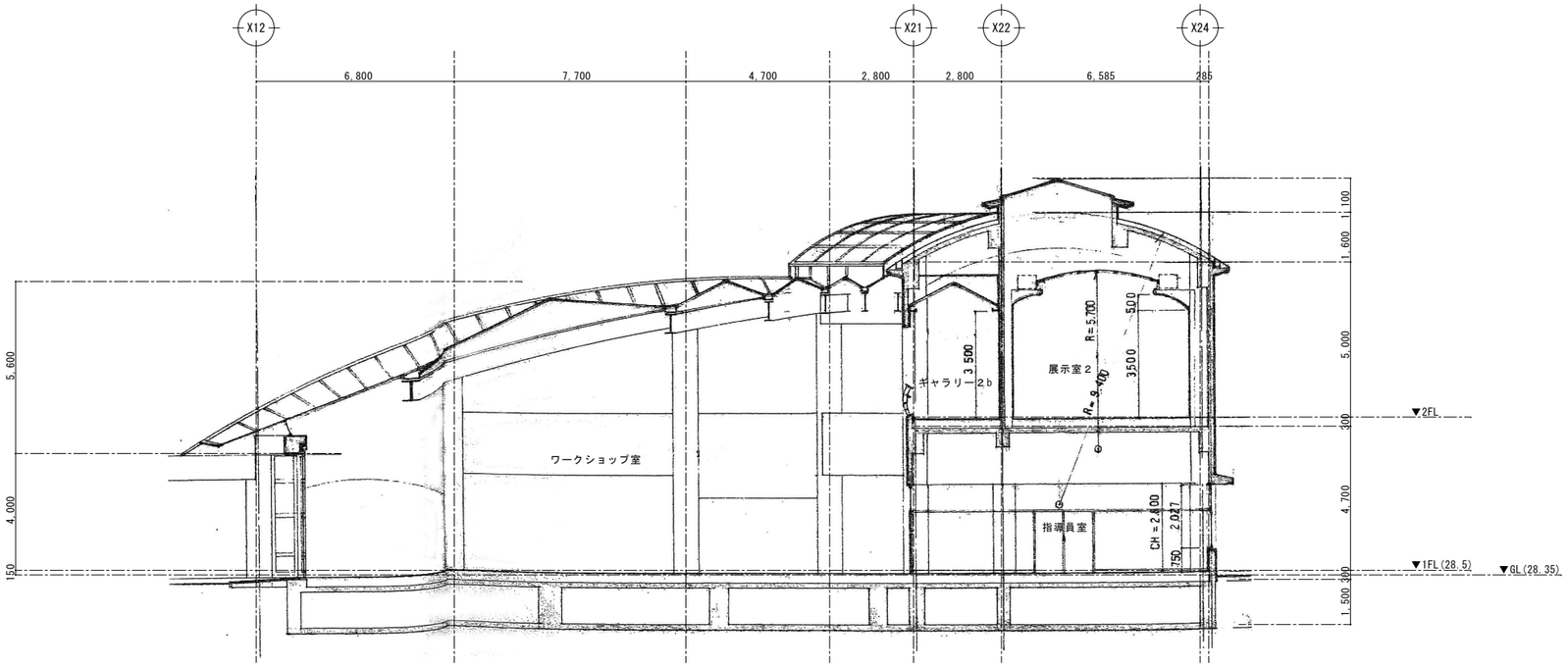
Ｂ１階ルーバー内立面図　S=1/100

令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ 立面図(３)
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 53 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



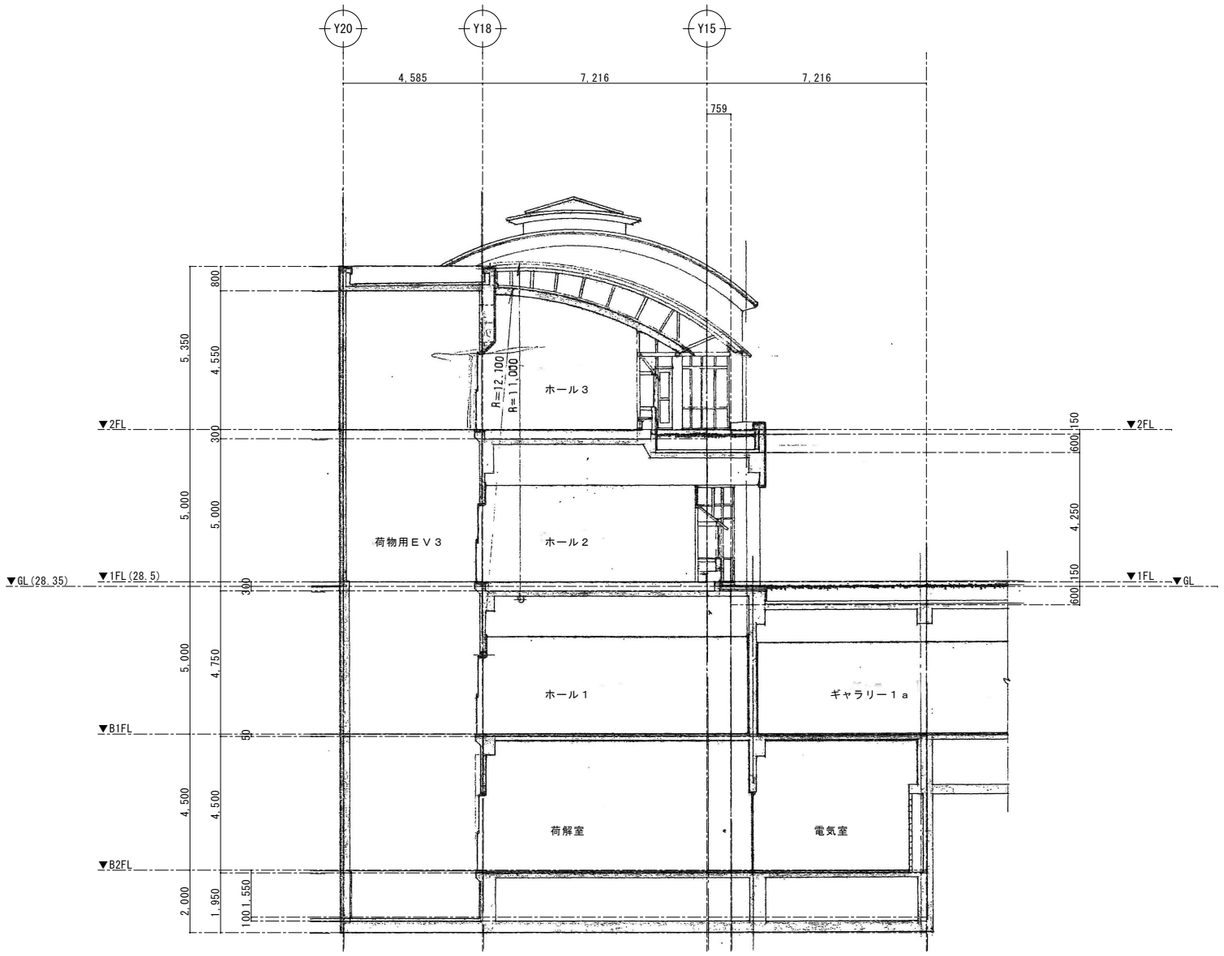
Ａ断面図　S=1/100



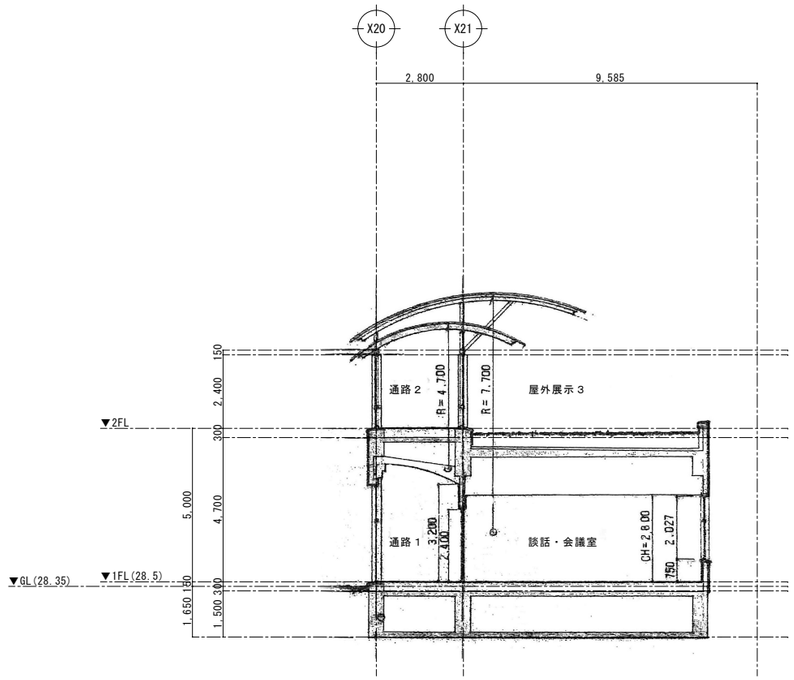


Ｂ断面図　S=1/100

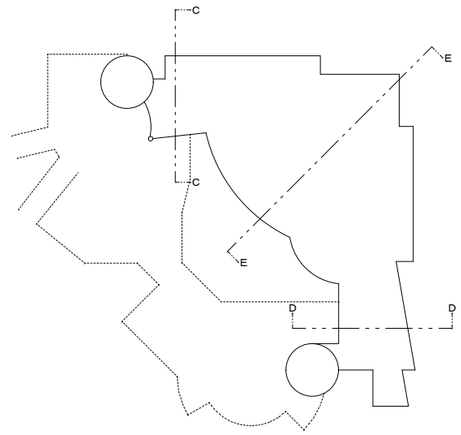
令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ 断面図（１）
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全　78　葉ノ内第　54　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

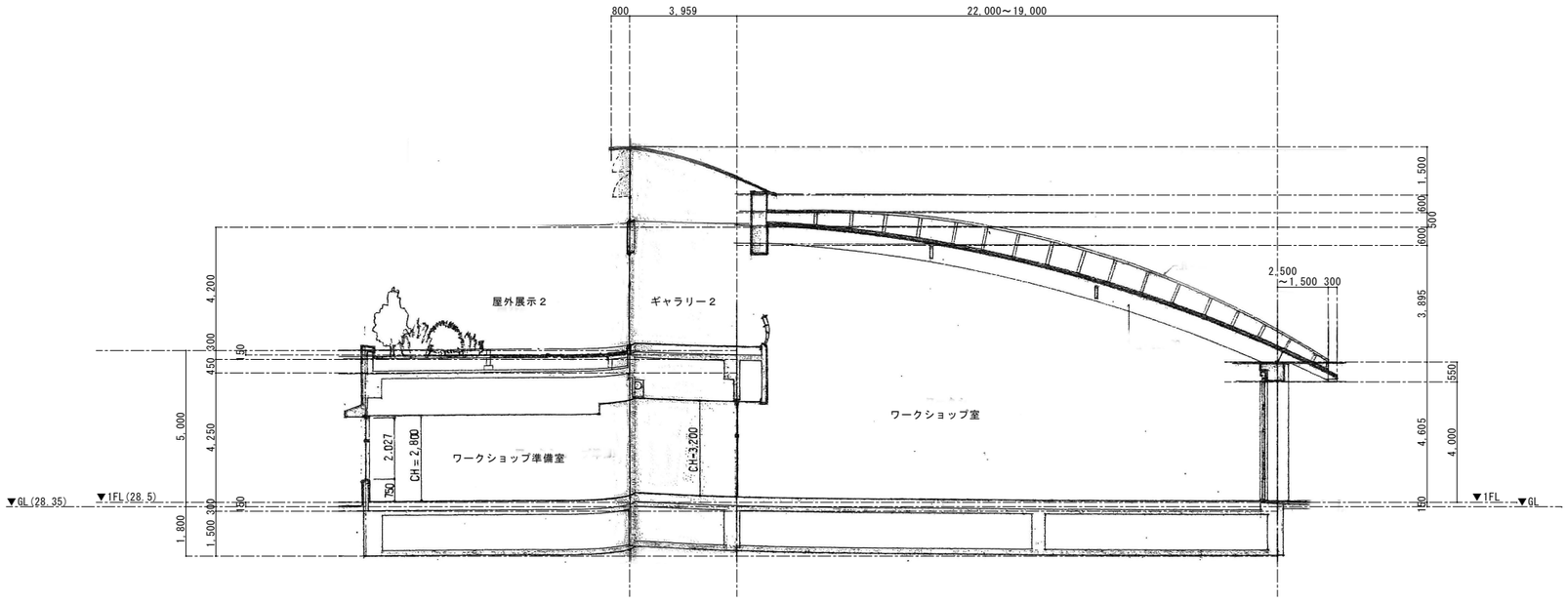


Ｃ断面図　S=1/100



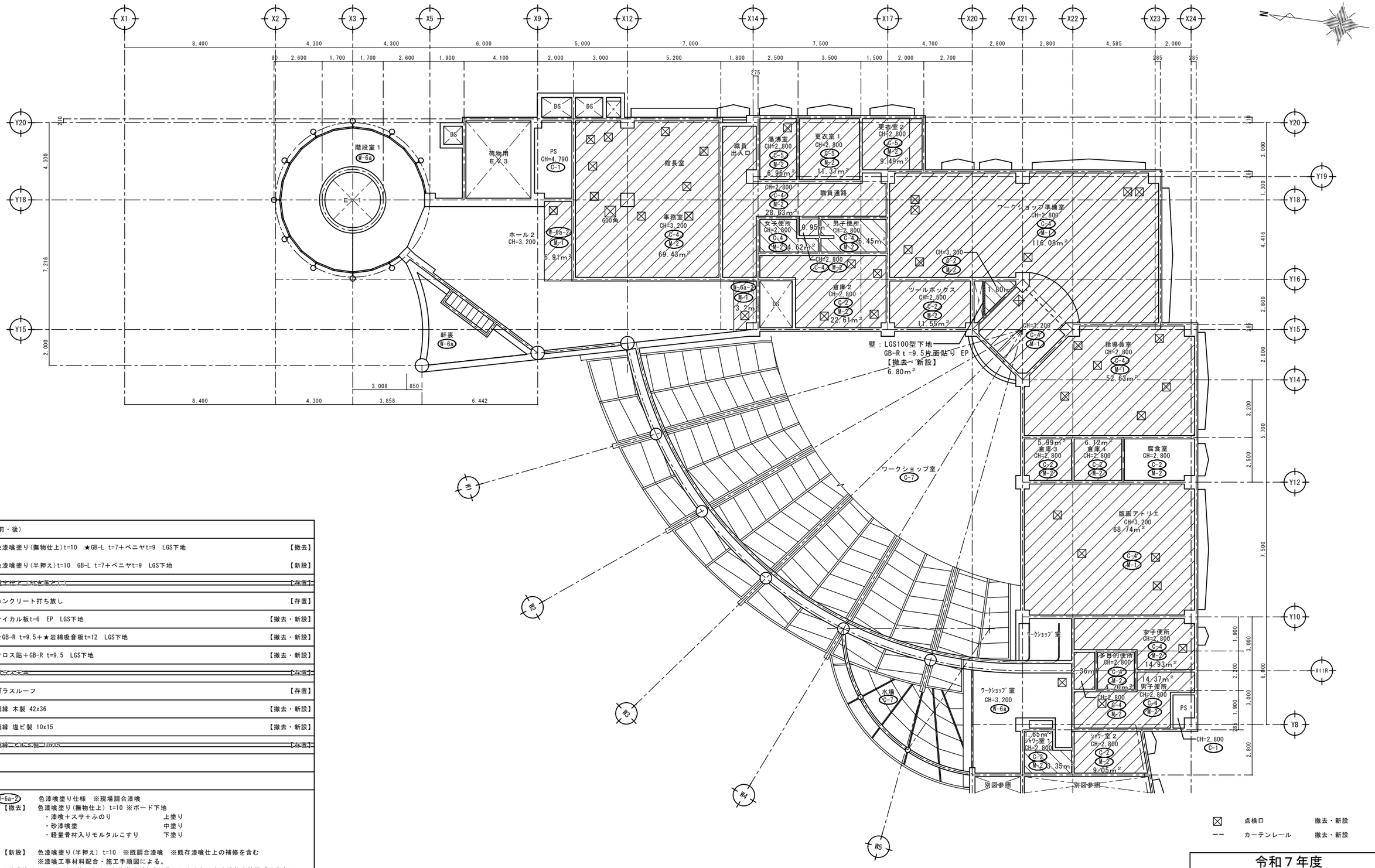
Ｄ断面図　S=1/100





Ｅ断面図　S=1/100

令和７年度	
工　事　名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公　園　名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ 断面図(２)
縮　　尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全　78　葉ノ内第　55　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



凡例（改修前・後）		
W-6a-2	色漆喰塗り(撫物仕上)t=10　★GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地	【撤去】
	色漆喰塗り(半押え)t=10　GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地	【新設】
~~W-8~~	~~縦下地ドーマかき落とし~~	~~【存置】~~
C-1	コンクリート打ち放し	【存置】
C-2	ケイカル板t=6　EP　LGS下地	【撤去・新設】
C-4	★GB-R t=9.5＋★岩綿吸音板t=12　LGS下地	【撤去・新設】
C-5	クロス貼＋GB-R t=9.5　LGS下地	【撤去・新設】
~~C-6~~	~~ガラス天井~~	~~【存置】~~
C-7	ガラスルーフ	【存置】
M-1	廻縁 木製 42x36	【撤去・新設】
M-2	廻縁 塩ビ製 10x15	【撤去・新設】
~~M-3~~	~~廻縁ニアロニミ製 100x65~~	~~【存置】~~

備考

W-6a-2　色漆喰塗り仕様　※現場調合漆喰

【撤去】　色漆喰塗り(撫物仕上) t=10 ※ボード下地
- ・漆喰＋スサ＋ふのり　上塗り
- ・砂漆喰塗　中塗り
- ・軽量骨材入りモルタルこすり　下塗り

【新設】　色漆喰塗り(半押え) t=10　※既調合漆喰　※既存漆喰仕上の補修を含む
※漆喰工事材料配合・施工手順図による。

※漆喰塗りについては、竣工当時、久住章氏が左官の施工にかかわった本建物を特徴づけるものである。そのため、現状の仕上げ状況を確認し、現状の仕上げと同等の仕上りとなるよう、細心の注意を払い施工を行うこと。
※見積問合せ先　西谷工業株式会社(左官工事 前施工)　担当：印南
TEL：03-5968-0787、FAX：03-5383-1510

★：アスベスト含有建材として撤去

※GB-L：石膏ラスボード　GB-Rに押型加工を施した石膏プラスター塗壁下地用ボード

二重取消線：図面内に該当する仕上が無いものを示す。

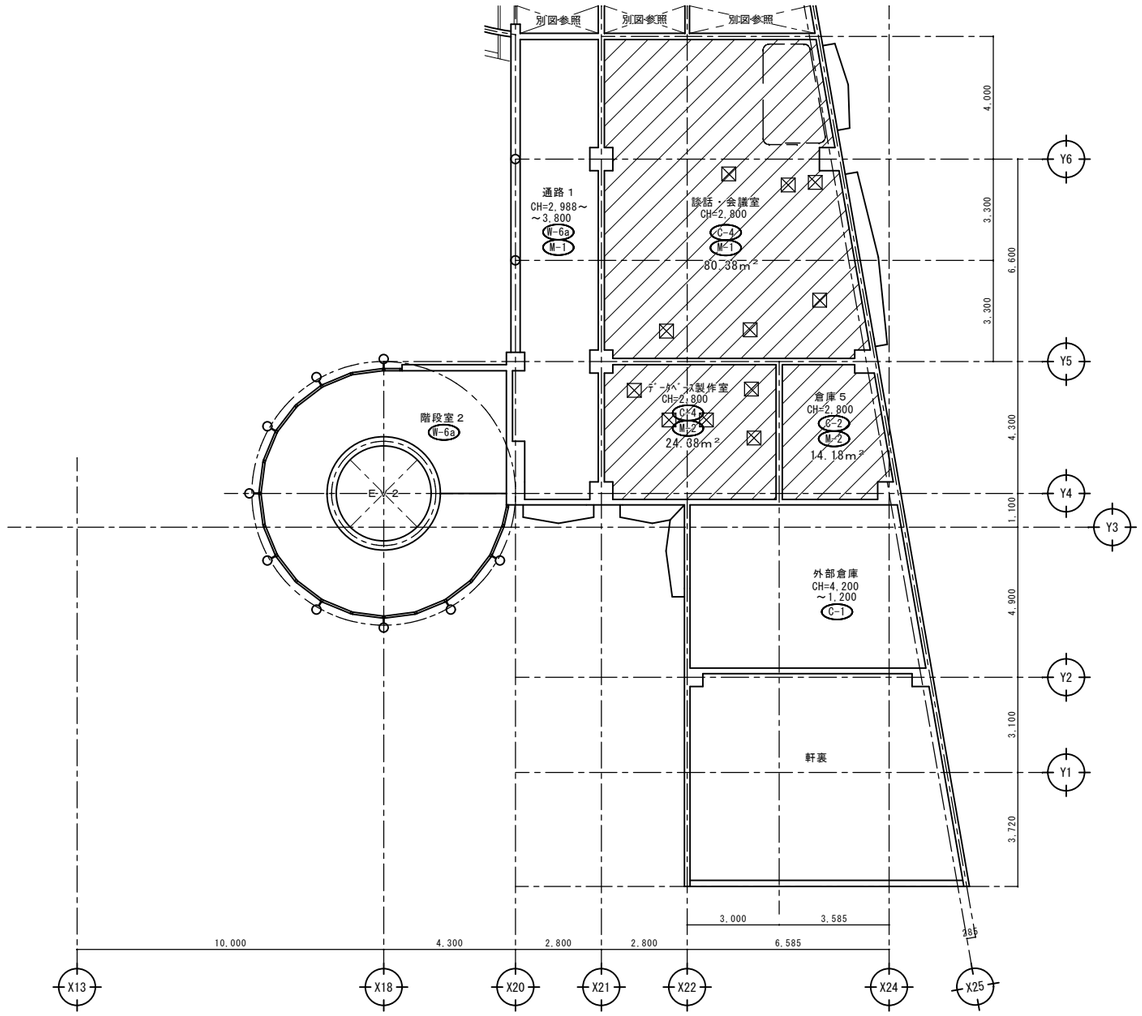
☒	点検口	撤去・新設
ー ー	カーテンレール	撤去・新設

ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ 1階天井伏図（1）（改修前・後）　S=1/100

■斜線ハッチ範囲：天井改修範囲（■赤線ハッチ：空調ファンコイル改修に伴う天井改修範囲、■オレンジ線ハッチ：換気扇等改修に伴う天井改修範囲）
■仮設計画：天井改修範囲には、棚足場を設ける。
■建具木製額縁・カーテンボックスは存置とする。

令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ 1階天井伏図(1)(改修前･後)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 56　号

船橋市建設局都市整備部公園緑地課



凡例（改修前・後）		
W-6a	色漆喰塗り(撫物仕上)t=10　GB-L t=7＋ベニヤt=9　LGS下地（曲げ加工）	【存置】
~~M-3~~	~~縦横木仕上こつかき落とし~~	~~【存置】~~
C-1	コンクリート打ち放し	【存置】
C-2	ケイカル板t=6　EP　LGS下地	【撤去・新設】
C-4	★GB-R t=9.5＋★岩綿吸音板t=12　LGS下地	【撤去・新設】
~~O-5~~	~~グロス貼ゴムBRCFSG5~~	~~【存置】~~
~~O-6~~	~~ガラス天井~~	~~【存置】~~
~~O-7~~	~~ガラスルーフ~~	~~【存置】~~
M-1	廻縁 木製 42x36	【撤去・新設】
M-2	廻縁 塩ビ製 10x15	【撤去・新設】
~~M-3~~	~~廻縁ニアクロミ製 100x65~~	~~【存置】~~
	★：アスベスト含有建材として撤去	

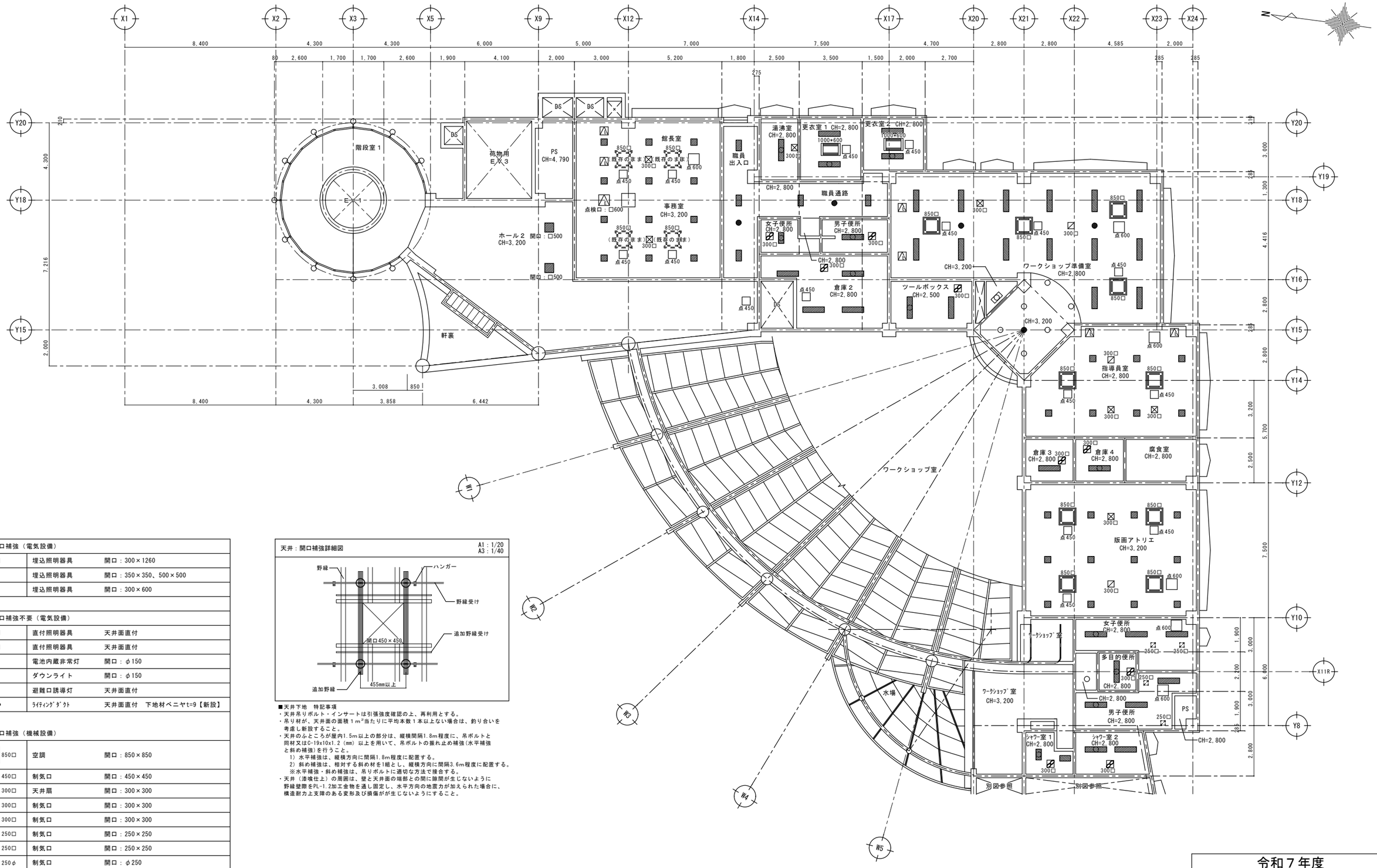
二重取消線：図面内に該当する仕上が無いものを示す。

ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ　１階天井伏図（２）（改修前・後）　S=1/100

■斜線ハッチ範囲：天井改修範囲（■赤線ハッチ：空調ファンコイル改修に伴う天井改修範囲、■オレンジ線ハッチ：換気扇等改修に伴う天井改修範囲）
■仮設計画：天井改修範囲には、棚足場を設ける。
■建具木製額縁・カーテンボックスは存置とする。

⊠	点検口	撤去・新設
ー ー	カーテンレール	撤去・新設

令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ　１階天井伏図(2)(改修前･後)
縮尺	A1:1/100 (A3:1/200)
図面番号	全 78　葉ノ内第 57　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



天井開口補強（電気設備）		
	埋込照明器具	開口：300×1260
	埋込照明器具	開口：350×350、500×500
	埋込照明器具	開口：300×600
天井開口補強不要（電気設備）		
	直付照明器具	天井面直付
	直付照明器具	天井面直付
●	電池内蔵非常灯	開口：φ150
○	ダウンライト	開口：φ150
	避難口誘導灯	天井面直付
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ	天井面直付　下地材ベニヤt=9【新設】
天井開口補強（機械設備）		
850□	空調	開口：850×850
450□	制気口	開口：450×450
300□	天井扇	開口：300×300
300□	制気口	開口：300×300
300□	制気口	開口：300×300
250□	制気口	開口：250×250
250□	制気口	開口：250×250
○ 250φ	制気口	開口：φ250
	空調	開口：150×2000
	天井点検口（電気分）	450×450（アルミ製）　【新設】
点600□	天井点検口（機械分）	600×600（アルミ製）　【新設】
点450□	天井点検口（機械分）	450×450（アルミ製）　【新設】

※割り付けについては別途工事と十分に調整すること。

天井：開口補強詳細図　A1：1/20　A3：1/40

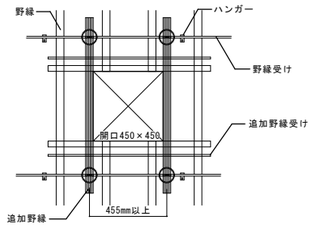
■天井下地　特記事項
・天井吊りボルト・インサートは引張強度確認の上、再利用とする。
・吊り材が、天井面の面積１ｍ²当たりに平均本数１本以上ない場合は、釣り合いを考慮し新設すること。
・天井のふところが屋内1.5m以上の部分は、縦横間隔1.8m程度に、吊ボルトと同材又はC-19x10x1.2（mm）以上を用いて、吊ボルトの振れ止め補強（水平補強と斜め補強）を行うこと。
　1）水平補強は、縦横方向に間隔1.8m程度に配置する。
　2）斜め補強は、相対する斜め材を1組とし、縦横方向に間隔3.6m程度に配置する。
　※水平補強・斜め補強は、吊りボルトに適切な方法で接合する。
・天井（湿域仕上）の周囲は、壁と天井面の端部との間に隙間が生じないように野縁壁際をPL-1.2加工金物を通し固定し、水平方向の地震力が加えられた場合に、構造耐力上支障のある変形及び損傷がが生じないようにすること。

ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ　１階天井伏図（開口補強）（１）（改修後）　S=1/100

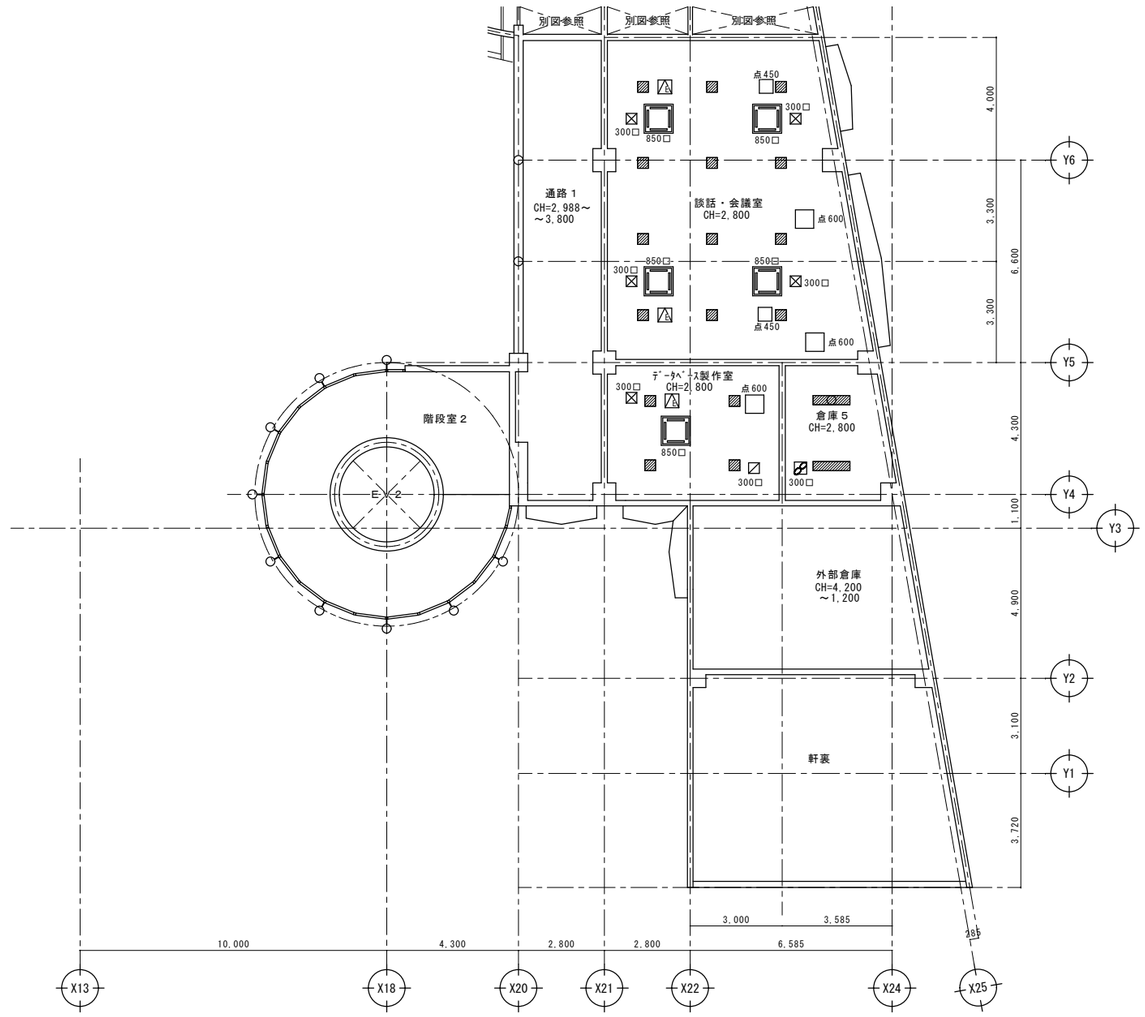
令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ　１階天井伏図（開口補強）（１）（改修後）
縮尺	A1:1/100（A3:1/200）
図面番号	全 78　葉ノ内第 58　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

天井：開口補強詳細図

A1：1/20
A3：1/40



■天井下地　特記事項
・天井吊りボルト・インサートは引張強度確認の上、再利用とする。
・吊り材が、天井面の面積１ｍ²当たりに平均本数１本以上ない場合は、釣り合いを考慮し新設すること。
・天井のふところが屋内1.5m以上の部分は、縦横間隔1.8m程度に、吊ボルトと同材又は0-19x10x1.2（mm）以上を用いて、吊ボルトの振れ止め補強(水平補強と斜め補強)を行うこと。
　1）水平補強は、縦横方向に間隔1.8m程度に配置する。
　2）斜め補強は、相対する斜め材を1組とし、縦横方向に間隔3.6m程度に配置する。
　※水平補強・斜め補強は、吊りボルトに適切な方法で接合する。

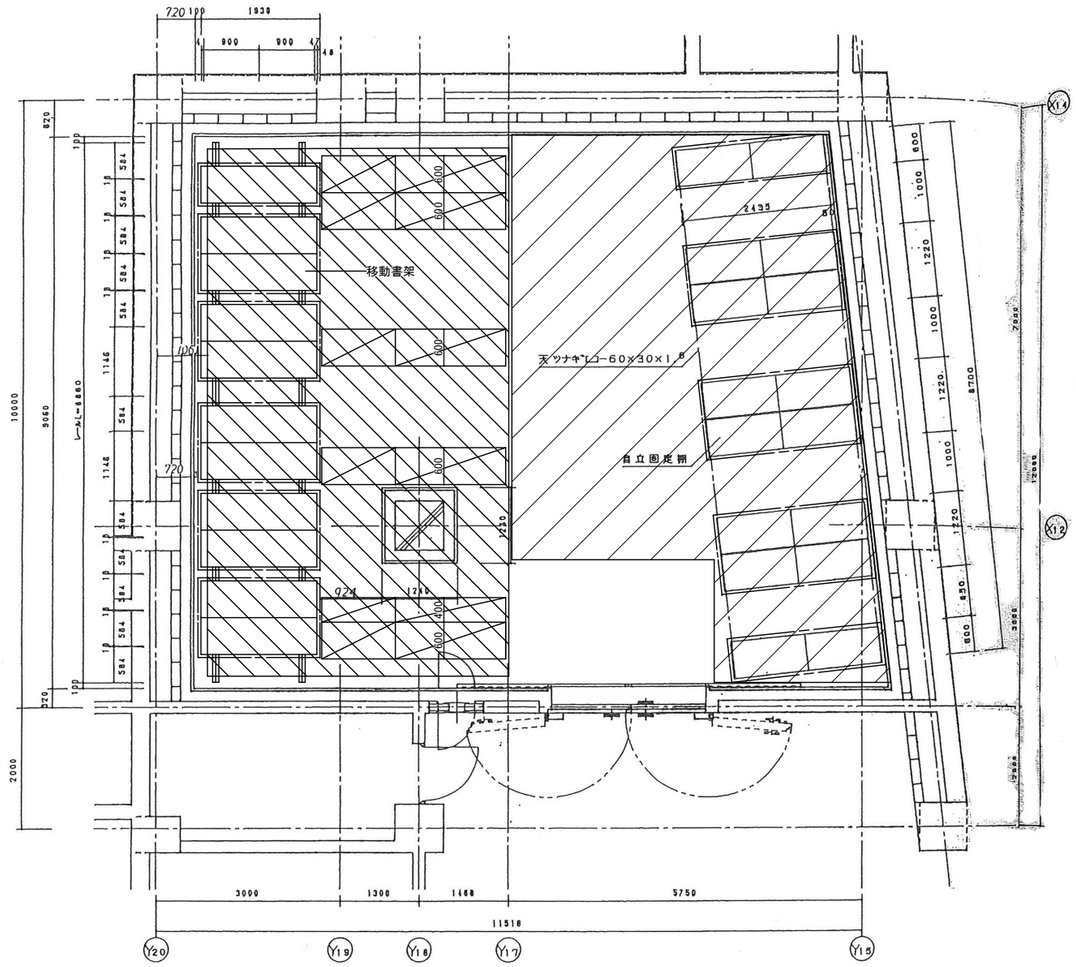


天井開口補強（電気設備）		
	埋込照明器具	開口：300×1260
	埋込照明器具	開口：350×350
	埋込照明器具	開口：300×600
天井開口補強不要（電気設備）		
	直付照明器具	天井面直付
	直付照明器具	天井面直付
●	電池内蔵非常灯	開口：φ150
○	ダウンライト	開口：φ150
	避難口誘導灯	天井面直付
	ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾀﾞｸﾄ	天井面直付　下地材ベニヤt=9【新設】
天井開口補強（機械設備）		
850□	空調	開口：850×850
450□	制気口	開口：450×450
300□	天井扇	開口：300×300
300□	制気口	開口：300×300
300□	制気口	開口：300×300
250□	制気口	開口：250×250
250□	制気口	開口：250×250
250φ	制気口	開口：φ250
	空調	開口：150×2000
	天井点検口（電気分）	450×450（アルミ製）　【新設】
点600□	天井点検口（機械分）	600×600（アルミ製）　【新設】
点450□	天井点検口（機械分）	450×450（アルミ製）　【新設】

※割り付けについては別途工事と十分に調整すること。

ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ　１階天井伏図(開口補強)(２)(改修後)　S=1/100

令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ　１階天井伏図(開口補強)(2)(改修後)
縮尺	A1:1/100（A3:1/200）
図面番号	全 78　葉ノ内第 59　号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	

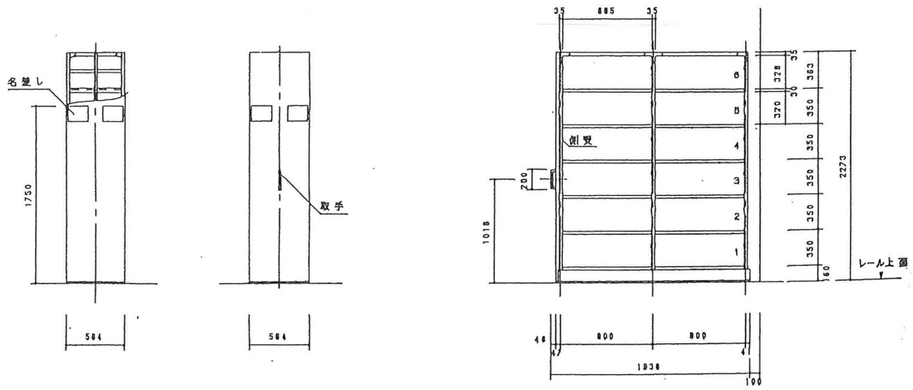


ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ１階収蔵庫１ 平面図 S=1/50

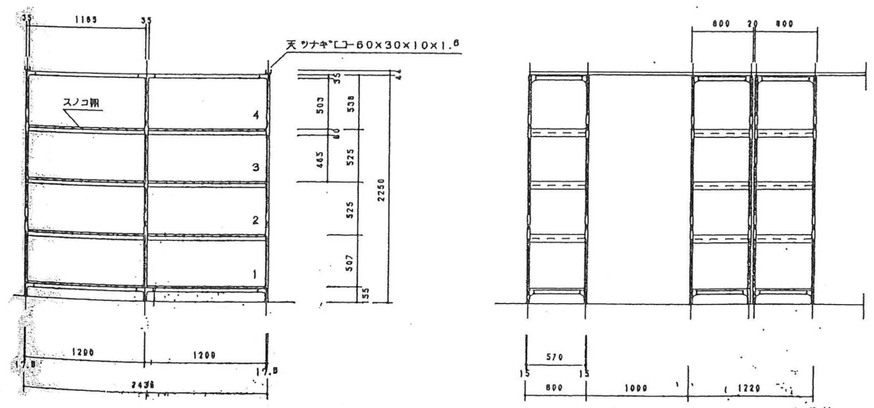
項目	記事	
間口（W）	内法	900, 1200
	全間口	1936, 2435
奥行（D）	単式	584
	複式	800
全高（H）	2273（レール面より） 2250	
棚段数	中6, 4段	
横梁荷重	夏積載kg（片面1段当り）	
通路幅	1140	
レール仕様	耐震型埋込式レール FB/KSUS304	
レール長サ	L=8860×2	
オプション	側受，自立ユニットスノコ棚板（木製）	

棚品番	台数	延連数	棚段数
KSU372-307W	10	40	240
KSU372-307WI	1	4	24
計	11台	44連	264段
KU472-6058	8台	16連	64段

棚品番	棚自重	横梁荷重	自重＋荷重
KSU372-307W	202	720	922×10台
KSU372-307WI	180	720	900× 1台
		30Kg/段トシテ	
総重量	10120kg		
レール荷重	789kg/m		



ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ１階収蔵庫１ 移動書架 立面図 S=1/30



ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ１階収蔵庫１ 自立固定棚 立面図 S=1/30

ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝB1階収蔵庫1移動書架･自立固定棚詳細図S=1/50,1/30

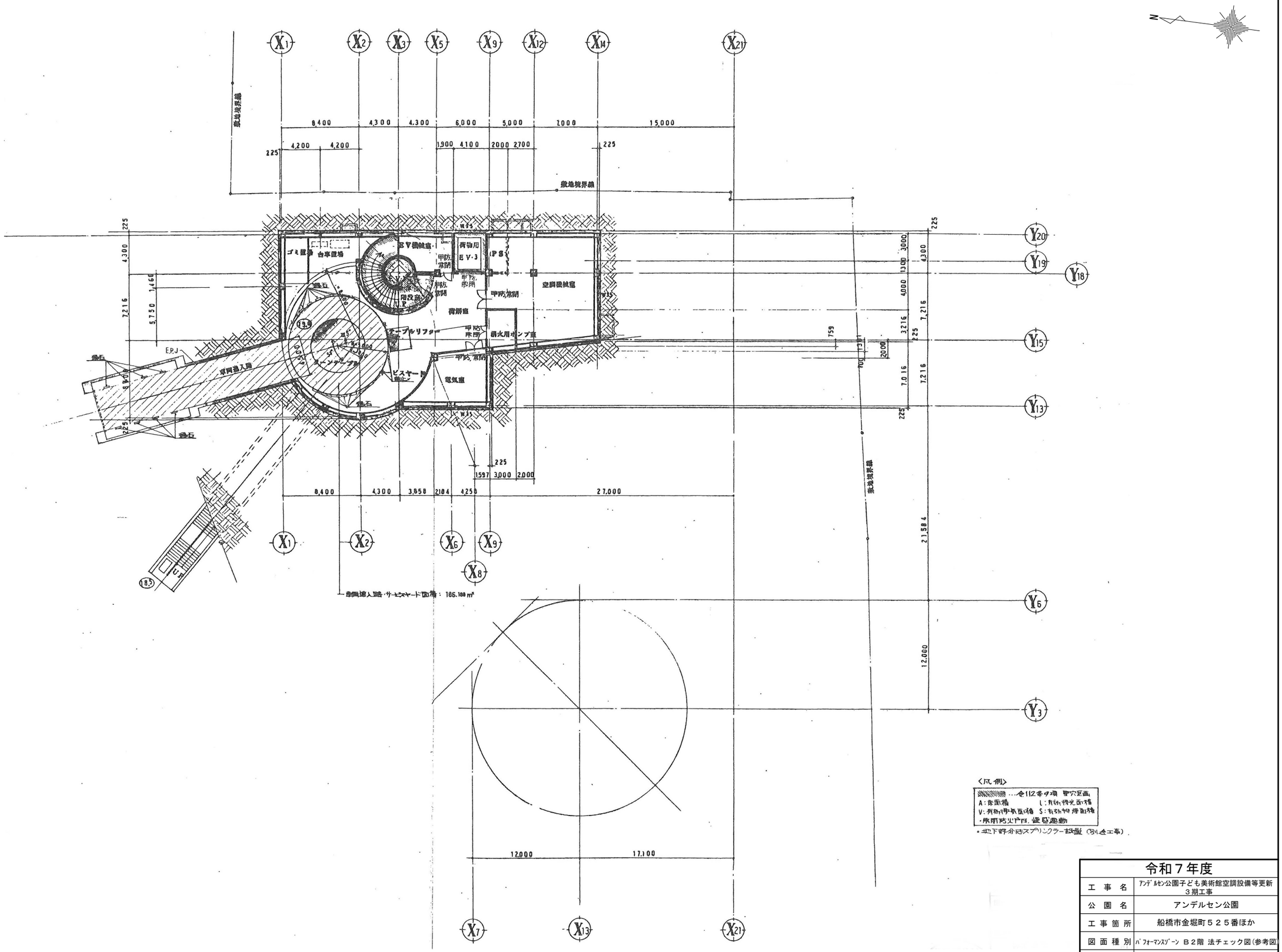
：養生（移動書架・自立固定棚廻り）
※棚の中に埃が入らないように目止めすること。

：養生（存置する収蔵品廻り）
※埃が入らないように目止めすること。

：枠組足場（建わくH=1700＋調整わくH=600）
※移動書架・自立固定棚廻りは単管足場を用いる。

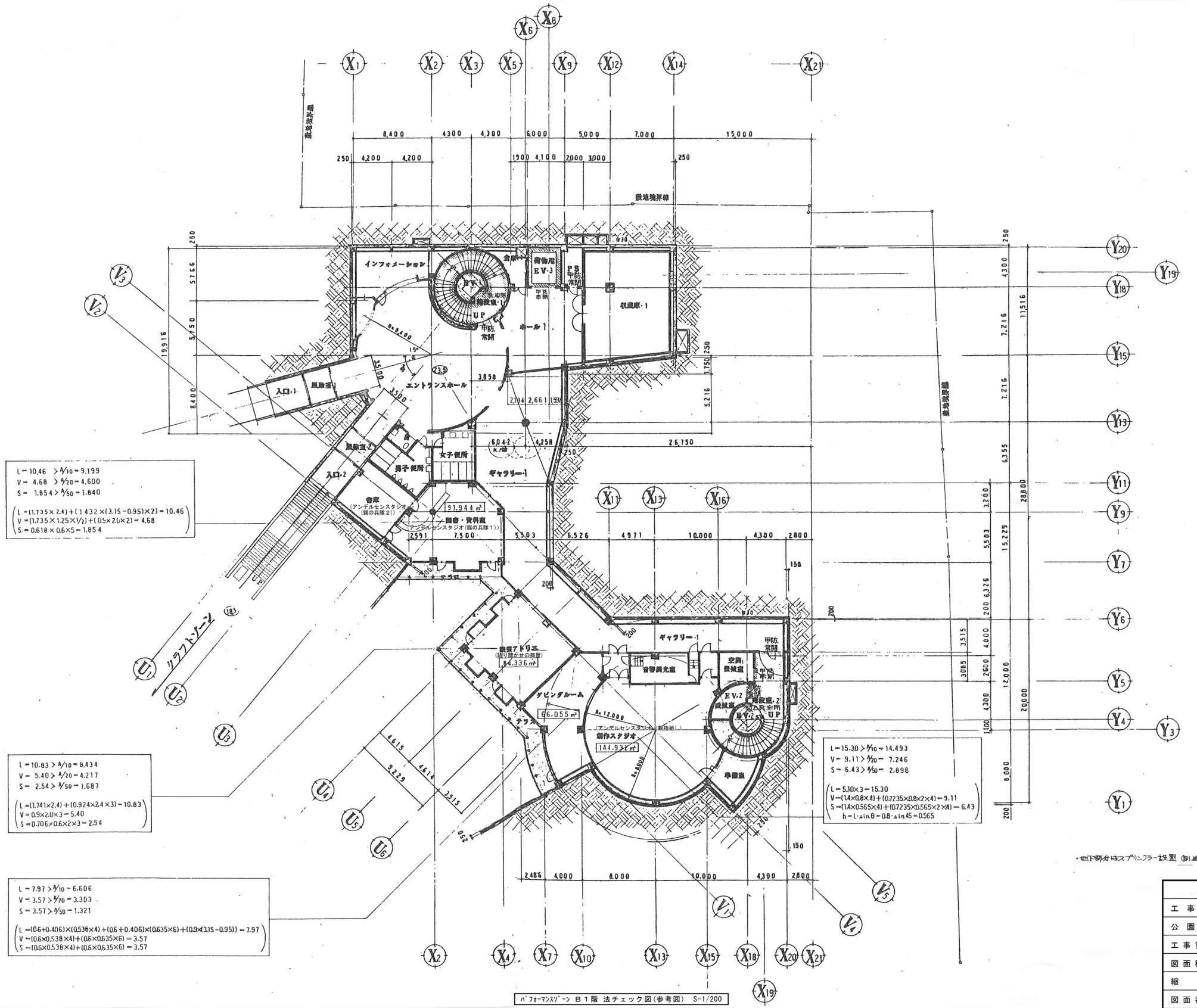
：棚足場の範囲を示す。

令和７年度	
工事名	ｱﾝﾃﾞﾙｾﾝ公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事場所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽｿﾞｰﾝ Ｂ１階収蔵庫１ 移動書架･自立固定棚詳細図
縮尺	A1:1/50、30 (A3:1/100、60)
図面番号	全 78 葉ノ内第 60 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



パフォーマンスゾーン B２階 法チェック図（参考図） S=1/200

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン B２階 法チェック図（参考図）
縮尺	A1:1/200 (A3:1/400)
図面番号	全 78 葉ノ内第 61 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	



パフォーマンスゾーン B1階 法チェック図(参考図) S=1/200

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン B１階 法チェック図(参考図)
縮尺	A1:1/200 (A3:1/400)
図面番号	全 78 葉ノ内第 62 号

船橋市建設局都市整備部公園緑地課

L = 7.99 > 8/10 = 7.391
V = 4.24 > 4/20 = 3.696
S = 2.88 > 8/50 = 1.478

(L = (0.684 + 1.05) × (4.676 − 0.066) = 7.99
V = (1.25 × 1.05 × 2) + (0.592 × 0.684 × 4) = 4.24
S = (0.615 × 0.684 × 3) + (0.592 × 0.684 × 4) = 2.88)

S = 8.30 > 8/50 = 7.654

(S = ((0.8 + 0.9 + 1.0 + 1.1)/4 − 0.2) × ((0.85 + 1.01666)/2 − 0.1205 − 0.1205) × 16 = 8.30)

L = 20.43 > 8/10 = 12.410
V = 9.24 > 8/20 = 6.205
S = 4.04 > 8/50 = 2.482

(L = 1.25 × 1.8 × 5 + 1.7 × 1.8 × 3 = 20.43
V = 1.25 × 1.05 × 2 + 1½ × 1.05 × 3 = 9.24
S = 0.592 × 0.684 × 2 × 5 = 4.04)

L = 6.12 > 8/10 = 5.606
V = 4.42 > 8/20 = 2.803
S = 1.61 > 8/50 = 1.121

(L = 1.25 × 1.8 × 2 + 0.9 × (2.75 − 0.95) = 6.12
V = 1.25 × 1.05 × 2 + 0.9 × 2.0 = 4.42
S = 0.592 × 0.684 × 2 × 2 = 1.61)

L = 10.28 > 8/10 = 7.253
V = 4.98 > 8/20 = 3.626
S = 3.37 > 8/50 = 1.451

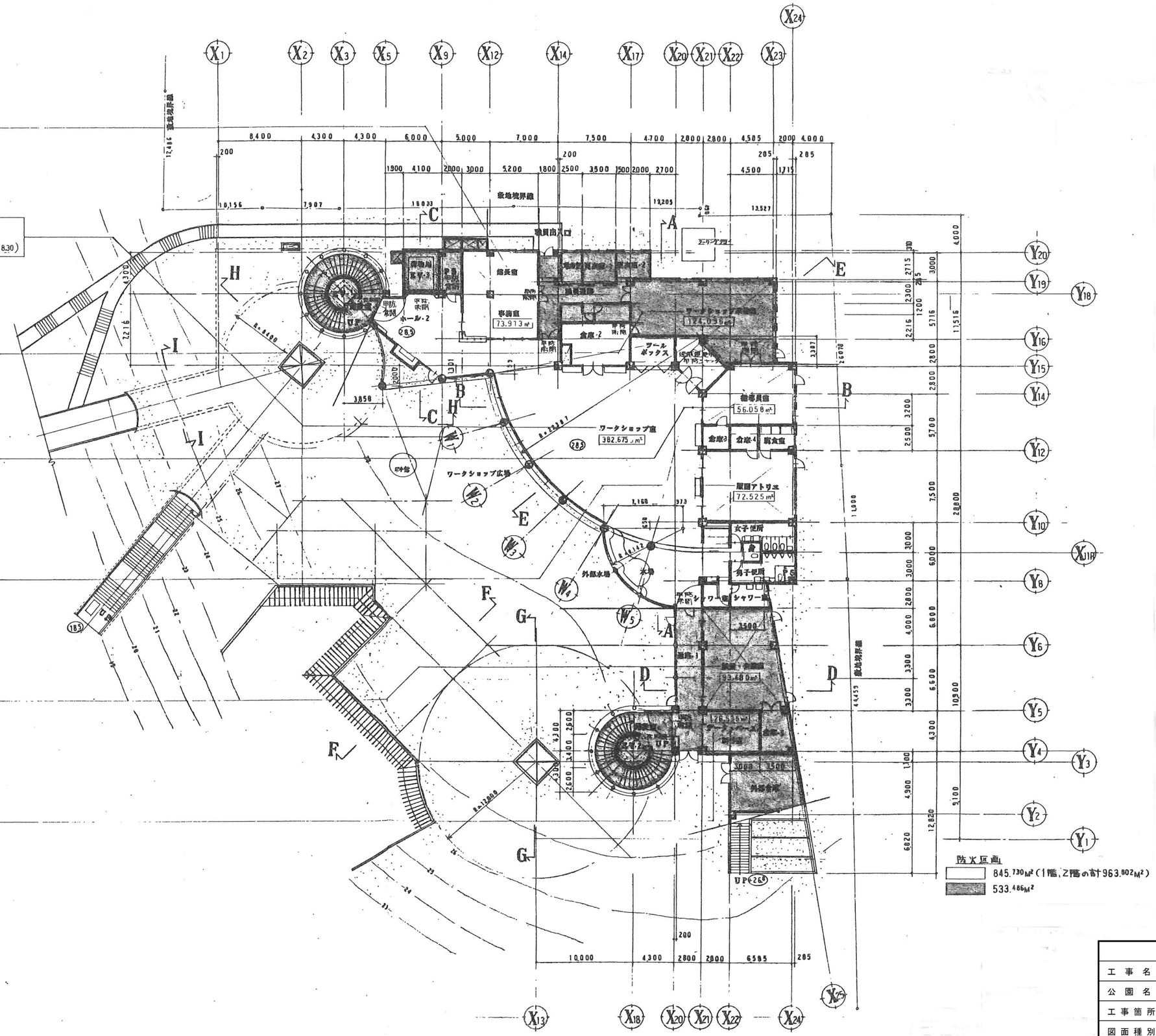
(L = 1.7 × 2.017 × 3 = 10.28
V = 1½ × 1.25 × 3 + 0.9 × 2.0 = 4.98
S = 0.817 × 0.684 × 2 × 3 = 3.37)

L = 10.00 > 8/10 = 8.348
V = 6.25 > 8/20 = 4.147
S = 3.23 > 8/50 = 1.670

(L = 1.25 × 2.0 × 4 = 10.00
V = 1.25 × 1.25 × 4 = 6.25
S = 0.592 × 0.684 × 2 × 4 = 3.23)

L = 3.40 > 8/10 = 2.653
V = 2.12 > 8/20 = 1.327
S = 1.11 > 8/50 = 0.531

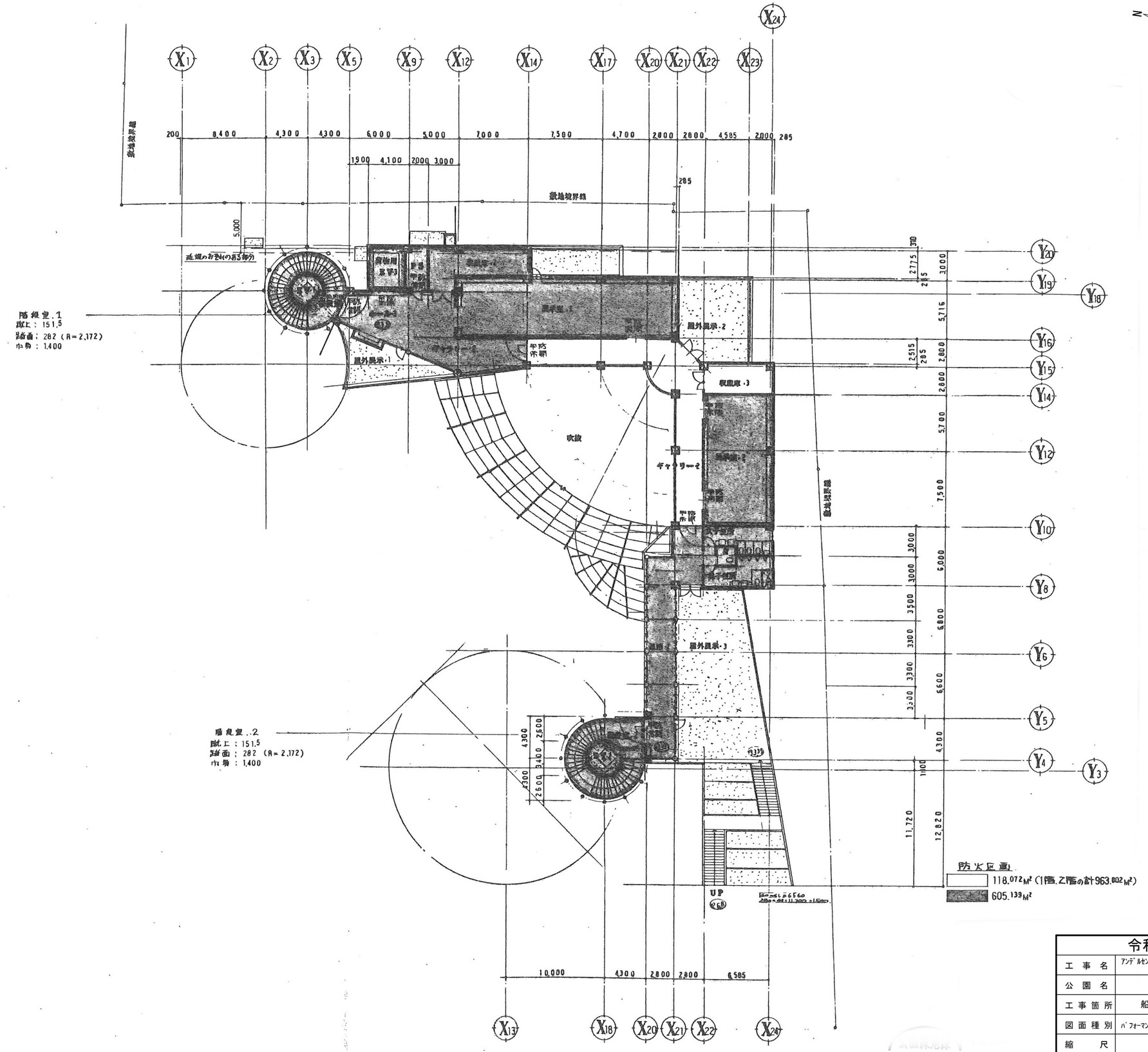
(L = 1.7 × 2.0 = 3.40
V = 1.7 × 1.25 = 2.12
S = 0.817 × 0.684 × 2 = 1.11)



パフォーマンスゾーン 1階 法チェック図（参考図） S=1/200

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン 1階 法チェック図（参考図）
縮尺	A1:1/200 (A3:1/400)
図面番号	全 78 葉ノ内第 63 号

船橋市建設局都市整備部公園緑地課



パフォーマンスゾーン 2階 法チェック図（参考図） S=1/200

令和７年度	
工事名	アンデルセン公園子ども美術館空調設備等更新３期工事
公園名	アンデルセン公園
工事箇所	船橋市金堀町５２５番ほか
図面種別	パフォーマンスゾーン ２階 法チェック図（参考図）
縮尺	A1:1/200 (A3:1/400)
図面番号	全 78 葉ノ内第 64 号
船橋市建設局都市整備部公園緑地課	